

**江戸川区子ども・子育て支援事業計画
策定のためのニーズ調査
報告書**

平成26(2014)年3月

江 戸 川 区

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 報告書を読むにあたっての注意	2
4. 標本誤差	4
第2章 調査結果	5
1. 基本属性	5
(1) 調査回答者	5
(2) 子どもの年齢	5
(3) 子どもの人数と末子の年齢	6
(4) 家族形態	7
(5) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無	9
(6) 居住地域	11
(7) 住宅形態	12
(8) 子どもの主たる養育者	14
2. 保護者の就労状況	15
(1) 父親の就労状況	15
(2) 母親の就労状況	19
(3) 両親の就労形態による家族類型	25
(4) 育児休業の取得状況	27
(5) 育児休業取得者の状況と意向	29
(6) 仕事をしながら子育てをするために企業などに充実・強化してほしいこと	36
3. 教育・保育サービスの利用状況と利用意向	37
(1) 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況	37
(2) 教育・保育サービスの利用意向	48
(3) 病児・病後児保育の利用状況と利用意向	57
(4) 不定期の教育・保育サービスの利用状況と利用意向	62
(5) 宿泊付き保育サービスの利用状況	67
(6) 子育てひろばの利用状況と利用意向	70
(7) 学童クラブの利用意向	75
4. 江戸川区での子育てや子育て環境について	79
(1) 子育てに対する感じ方	79
(2) 子育てについて気軽に相談できる人の有無	81
(3) 同じくらいの子どもを持つ親どうしの付き合いの程度	82
(4) 地域に期待する子育てへの支援活動	84

(5) 希望する子育て支援情報の入手先	86
(6) 今後の江戸川区での子育て意向	88
(7) 子育てのために重視する環境	90
(8) 江戸川区の子育て環境に対する評価	91
5. 自由回答	99
第3章 資料（調査票）	105

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、平成24年に成立した子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で子育て支援の充実を図るため、区民の教育・保育サービス等の利用状況や利用意向など、平成26年度に策定する「江戸川区子ども・子育て支援事業計画」に必要な基礎資料を得るために実施したものである。

2. 調査の概要

本調査の概要は、以下のとおりである。

図表1-1 調査の概要

調査対象者	<ul style="list-style-type: none">・0～6歳の就学前の子どものいる保護者・抽出元：住民基本台帳（平成25年9月30日現在）
調査方法	<ul style="list-style-type: none">・郵送配付・郵送回収・ハガキによる督促1回
調査期間	<ul style="list-style-type: none">・平成25年10月10日～10月31日
対象者数及び回収結果	<ul style="list-style-type: none">・A：対象者数：3,000票・B：有効回収数：1,688票・C：有効回収率：56.3% <p>※$C = B / A \times 100$</p>

3. 報告書を読むにあたっての注意

- ・「回答者数」について

図表中の「回答者数」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答比率（％）の母数をあらわしている。

- ・ 図表の単位について

本報告書に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り「％」（回答比率）をあらわしている。

また、回答比率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100％にならないことがある。

- ・ 図表における選択肢等の記載について

図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。簡略化していない選択肢は、「第3章 資料」の調査票を参照のこと。

- ・ 単純集計について

回答結果の全体の傾向を捉えるため、単純集計を行い、その特徴等を記述している。

単純集計のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を回答比率（％）の大きなものから小さなものへと並び換えて表示している場合がある。

- ・ クロス集計について

クロス集計表の記載にあたり、分析の柱となる項目（例えば、子どもの年齢別、居住地域別など）の「無回答」は掲載を省略している。したがって、分析の柱となる項目の回答者数の合計は、全体と一致しない場合がある。

- ・ 前回調査との比較について

必要に応じて、平成21年度に実施した江戸川区次世代育成支援のための基礎調査（以下「前回調査」という）結果との比較を行っている。

・「子どもの年齢」の表記について

本調査のクロス集計の分析の柱の1つである「子どもの年齢」は、平成25年4月1日現在年齢であり、「問2 子どもの生年月」を、下表のとおり分類して表記したものである。

報告書における表記	問2 子どもの生年月
0 歳	平成24年4月～
1 歳	平成23年4月～平成24年3月
2 歳	平成22年4月～平成23年3月
3 歳	平成21年4月～平成22年3月
4 歳	平成20年4月～平成21年3月
5 歳	平成19年4月～平成20年3月

・「居住地域」の表記について

本調査における「居住地域」は、「問6 居住地域」で得た回答を、下表のとおり分類して表記したものである。

報告書における表記	問6 居住地域
区民課地域	中央、松島、松江、東小松川、西小松川町、西一之江、一之江、春江町4丁目、西瑞江4丁目、江戸川4丁目、興宮町、大杉、松本、上一色、本一色
小松川地域	小松川、平井
葛西北地域	一之江町、二之江町、春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、船堀1～7丁目、宇喜田町、東葛西1～3丁目、西葛西1丁目、北葛西1～5丁目、中葛西1・2丁目
葛西南地域	東葛西4～9丁目、西葛西2～8丁目、南葛西1～7丁目、中葛西3～8丁目、清新町1・2丁目、臨海町1・2丁目、臨海町4～6丁目
小岩地域	東小岩、西小岩、南小岩、北小岩
東部地域	春江町2・3丁目、東瑞江、西瑞江2・3丁目、江戸川1～3丁目、篠崎町3～6丁目、東篠崎、南篠崎町、下篠崎町、谷河内2丁目、瑞江
鹿骨地域	春江町1丁目、鹿骨町、鹿骨、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎、新堀、北篠崎、上篠崎、谷河内1丁目、東松本

・集計及び分析結果の掲載順序について

集計及び分析結果の掲載順序は目次のとおりであり、調査票の問番号の順序とは一致しない。

4. 標本誤差

本調査は、対象となる母集団の中から、無作為に選ばれた一部の人（標本）について調査を行う「標本調査」である。標本調査では、標本から母集団における数値を推定する際に誤差がともなう。

調査で生じた標本誤差（b）はおおよそ下表のとおりである。標本誤差（b）の値は、母集団数（N）、比率算出の基数（n）、及び回答の比率（P）によって異なる。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

図表1-2 標本誤差

回答 比率 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,688	±1.4%	±1.9%	±2.1%	±2.3%	±2.3%
1,000	±1.8%	±2.4%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
800	±2.1%	±2.7%	±3.1%	±3.4%	±3.4%
600	±2.4%	±3.2%	±3.6%	±3.9%	±4.0%
400	±2.9%	±3.9%	±4.5%	±4.8%	±4.9%

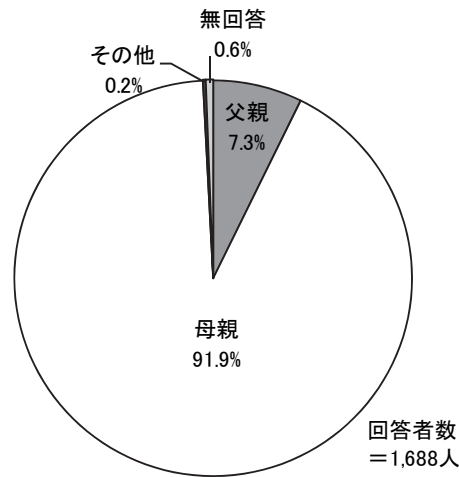
第2章 調査結果

1. 基本属性

(1) 調査回答者

問1 この調査に回答いただく方は、あて名のお子さんからみて、どなたですか。(1つに○)

図表2-1 調査回答者(単数回答)

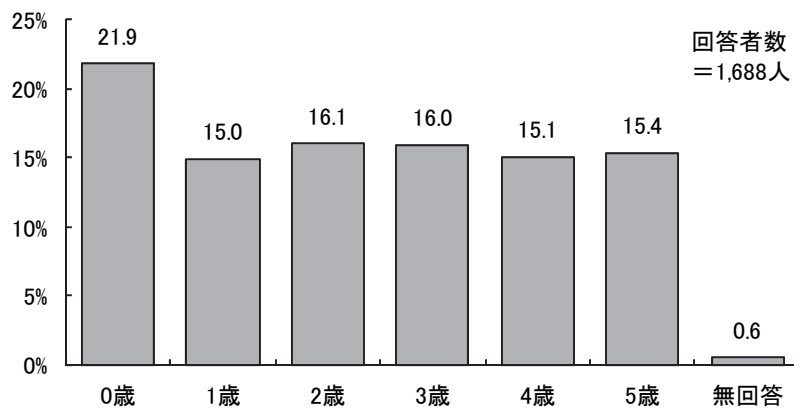


調査回答者は、「母親」が91.9%を占め、「父親」は7.3%となっている。

(2) 子どもの年齢

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。(数字を記入)

図表2-2 子どもの年齢(単数回答)

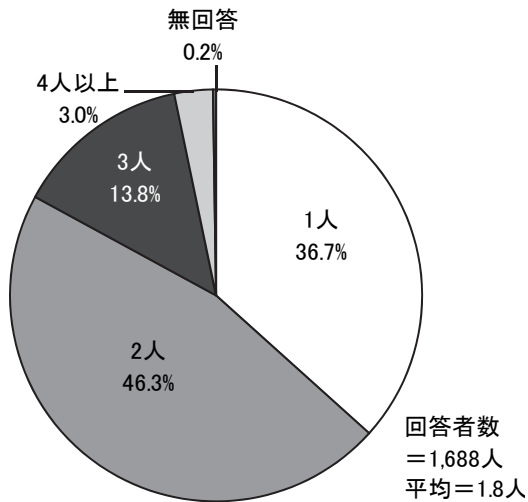


子どもの生年月から平成25年4月1日現在の年齢をみると、「0歳」は2割台、「1歳」～「5歳」は各1割台となっている。

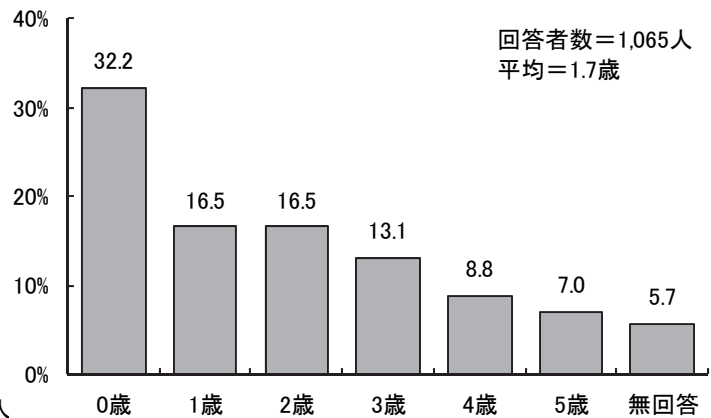
(3)子どもの人数と末子の年齢

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。(数字を記入)
 ※2人以上の場合は、一番小さいお子さんの生年月を記入してください。

図表2-3 子どもの人数(単数回答)



図表2-4 末子の年齢(単数回答)



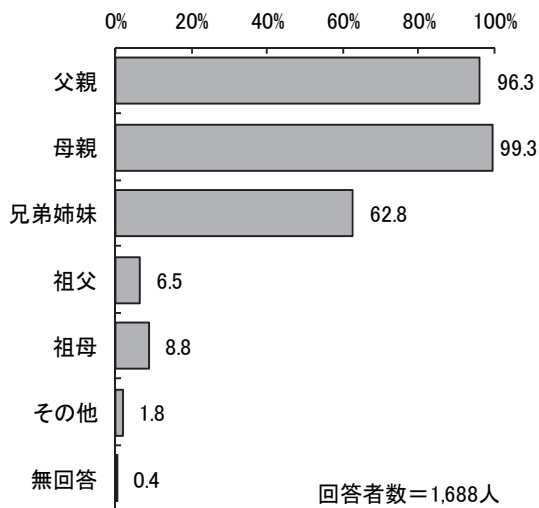
子どもの人数は、「2人」が46.3%、次いで「1人」が36.7%であり、平均1.8人となっている。子どもが2人以上の場合の末子の年齢(平成25年4月1日現在年齢)は、「0歳」が32.2%、次いで「1歳」と「2歳」が各16.5%であり、平均1.7歳となっている。

(4) 家族形態

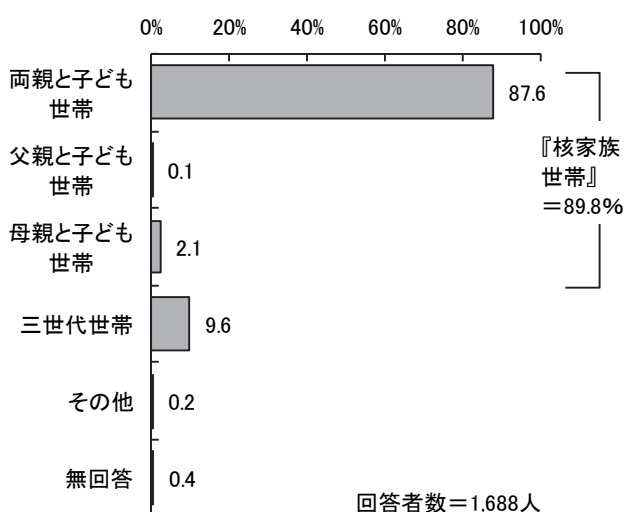
問4 現在、あて名のお子さんといっしょに暮らしているご家族は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

※単身赴任により一時的に別居している方も、同居家族としてお答えください。

図表2-5 同居者(複数回答)



図表2-6 家族形態(単数回答)



※:『核家族世帯』=「両親と子ども世帯」+「父親と子ども世帯」+「母親と子ども世帯」

同居者は、「父親」96.3%、「母親」99.3%、「兄弟姉妹」62.8%などとなっている。

ここから家族形態をみると、「両親と子ども世帯」が87.6%であり、これに「父親と子ども世帯」0.1%と「母親と子ども世帯」2.1%をあわせた『核家族世帯』が89.8%と約9割を占める。「三世代世帯」は9.6%であった。

表2-7 家族形態

		回答者数(人)	両親と子ども世帯	父親と子ども世帯	母親と子ども世帯	三世代世帯	その他	無回答	『核家族世帯』
全体		1,688	87.6	0.1	2.1	9.6	0.2	0.4	89.8
居住地域別	区民課地域	368	87.5	0.0	1.6	10.6	0.3	0.0	89.1
	小松川地域	126	88.1	0.0	0.8	11.1	0.0	0.0	88.9
	葛西北地域	231	87.9	0.0	0.4	11.7	0.0	0.0	88.3
	葛西南地域	393	91.3	0.0	1.3	7.4	0.0	0.0	92.6
	小岩地域	183	85.2	0.0	3.8	9.8	1.1	0.0	89.0
	東部地域	207	86.0	0.5	3.4	9.7	0.5	0.0	89.9
	鹿骨地域	149	86.6	0.0	4.7	8.7	0.0	0.0	91.3

※:『核家族世帯』=「両親と子ども世帯」+「父親と子ども世帯」+「母親と子ども世帯」

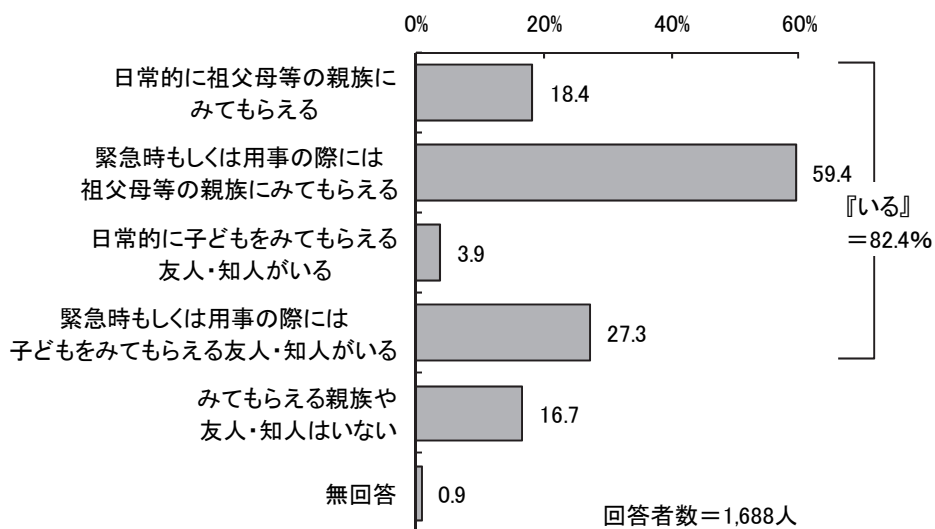
※:網掛けは全体を上回る数値

居住地域別にみると、区民課地域、小松川地域及び葛西北地域では「三世代世帯」が1割台となっている。反対に、葛西南地域は「三世代世帯」の割合はもっとも低い地域であり、「両親と子ども世帯」の割合がもっとも高い。

(5)子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問5 日ごろ、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-8 子どもをみてもらえる親族・知人の有無(複数回答)



※:『いる』=100% - 「みてもらえる親族や友人・知人はいない」 - 「無回答」

子どもをみてもらえる親族・知人の有無をみると、「みてもらえる親族や友人・知人はいない」は16.7%であり、みてもらえる親族や友人・知人が『いる』(100%から「みてもらえる親族や友人・知人はいない」と「無回答」を除いた割合)が82.4%を占める。日常的にみてもらえる割合は、祖父母等の親族が18.4%、友人・知人は3.9%となっている。

図表2-9 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

		回答者数(人)	日常的に祖父母等の親族にみても らえる	緊急時もしくは用事の際には祖父 母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友 人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子ど もをみてもらえる友人・知人がいる	みてもらえる親族や友人・知人はい ない	無回答	『いる』
全 体		1,688	18.4	59.4	3.9	27.3	16.7	0.9	82.4
居住地域別	区民課地域	368	20.7	64.9	3.8	26.6	13.9	0.0	86.1
	小松川地域	126	21.4	61.9	3.2	27.8	11.9	0.0	88.1
	葛西北地域	231	19.0	54.1	3.9	23.4	21.6	0.0	78.4
	葛西南地域	393	11.5	55.7	2.0	27.7	20.4	0.3	79.3
	小岩地域	183	21.9	66.7	4.9	25.7	10.9	1.1	88.0
	東部地域	207	18.4	60.9	5.8	31.9	17.9	0.0	82.1
	鹿骨地域	149	23.5	55.0	5.4	32.9	17.4	0.0	82.6

※:『いる』=100%−「みてもらえる親族や友人・知人はいない」−「無回答」

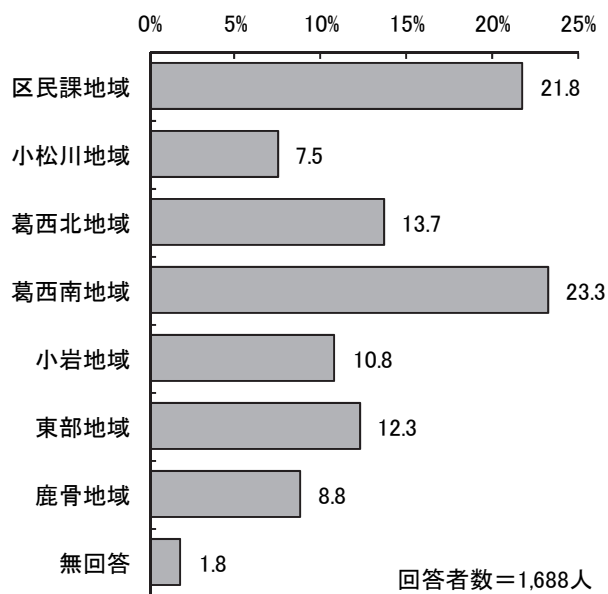
※:網掛けは全体を上回る数値

居住地域別にみると、区民課地域、小松川地域及び小岩地域は子どもをみてもらえる親族や友人・知人が『いる』が9割近くと、他の地域に比べて高い割合となっている。反対に、葛西北地域及び葛西南地域は子どもをみてもらえる親族や友人・知人が『いる』は7割台と他地域に比べて低く、「みてもらえる親族や友人・知人はいない」が2割台を占める。

(6) 居住地域

問6 現在のお住まいの地域は、どこですか。記入例を参考に、町名を記入してください。

図表2-10 居住地域(単数回答)

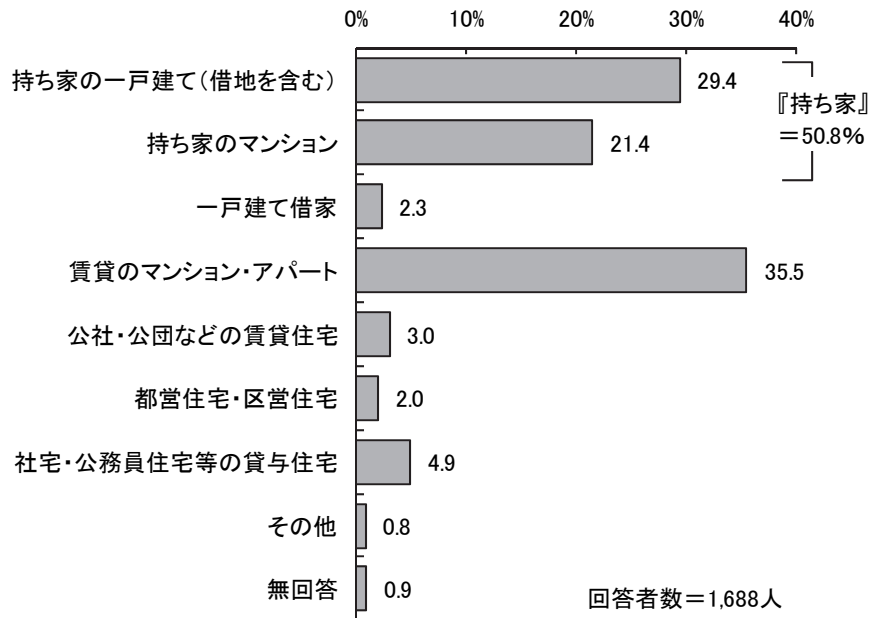


居住地域は、「葛西南地域」23.3%、「区民課地域」21.8%、「葛西北地域」13.7%、「東部地域」12.3%、「小岩地域」10.8%、「鹿骨地域」8.8%、「小松川地域」7.5%の順であり、「葛西南地域」と「小松川地域」では15.8ポイントの差がある。

(7)住宅形態

問7 現在のお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

図表2-11 住宅形態(単数回答)



※:『持ち家』=「持ち家の一戸建て(借地を含む)」+「持ち家のマンション」

住宅形態は、「賃貸のマンション・アパート」35.5%がもっとも高い。次いで「持ち家の一戸建て(借地を含む)」29.4%、「持ち家のマンション」21.4%の順であり、これらをあわせた『持ち家』居住者が50.8%と約半数を占める。

図表2-12 住宅形態

		回答者数(人)	持ち家の一戸建て(借地を含む)	持ち家のマンション	一戸建て借家	賃貸のマンション・アパート	公社・公団などの賃貸住宅	都営住宅・区営住宅	社宅・公務員住宅等の貸与住宅	その他	無回答	『持ち家』
全 体		1,688	29.4	21.4	2.3	35.5	3.0	2.0	4.9	0.8	0.9	50.8
居住地域別	区民課地域	368	38.6	19.0	3.0	33.4	0.5	0.8	4.1	0.5	0.0	57.6
	小松川地域	126	23.8	35.7	3.2	18.3	4.0	7.1	6.3	1.6	0.0	59.5
	葛西北地域	231	24.7	25.1	1.3	37.7	3.9	2.2	4.8	0.4	0.0	49.8
	葛西南地域	393	8.9	24.2	0.3	48.1	7.4	2.3	7.6	0.8	0.5	33.1
	小岩地域	183	49.2	16.9	2.7	27.3	0.0	0.0	3.3	0.5	0.0	66.1
	東部地域	207	39.1	19.3	3.9	27.5	1.9	3.4	3.4	1.4	0.0	58.4
	鹿骨地域	149	38.3	12.1	4.0	42.3	0.0	0.0	2.7	0.7	0.0	50.4

※:『持ち家』=「持ち家の一戸建て(借地を含む)」+「持ち家のマンション」

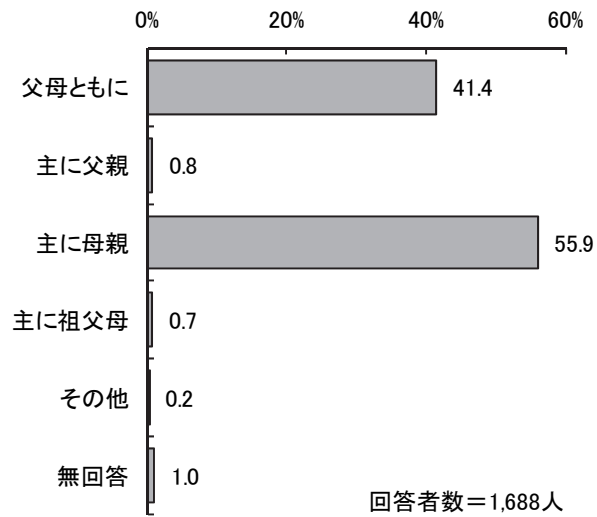
※:網掛けは全体を上回る数値

居住地域別にみると、区民課地域、小岩地域及び東部地域は「持ち家の一戸建て(借地を含む)」、小松川地域は「持ち家のマンション」、葛西北地域、葛西南地域及び鹿骨地域は「賃貸のマンション・アパート」の割合が、それぞれもつとも高い。

(8)子どもの主たる養育者

問8 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。(1つに○)

図表2-13 子どもの主たる養育者(単数回答)



子どもの主たる養育者は、「主に母親」が55.9%と過半数を占め、次いで「父母ともに」41.4%となっている。

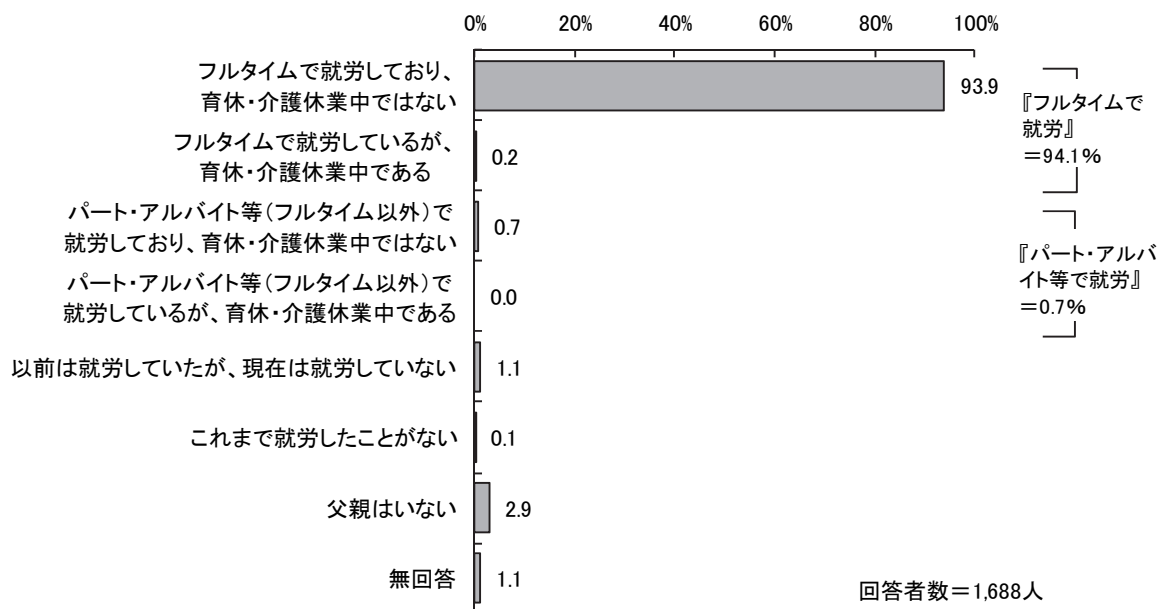
2. 保護者の就労状況

(1) 父親の就労状況

① 就労形態

問9 あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。(1つに○)

図表2-14 就労形態(単数回答)



※:『フルタイムで就労』=「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」+「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」

※:『パート・アルバイト等で就労』=「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない」+「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、育休・介護休業中である」

父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 93.9%を占め、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」0.2%をあわせると、94.1%が『フルタイムで就労』していると回答している。

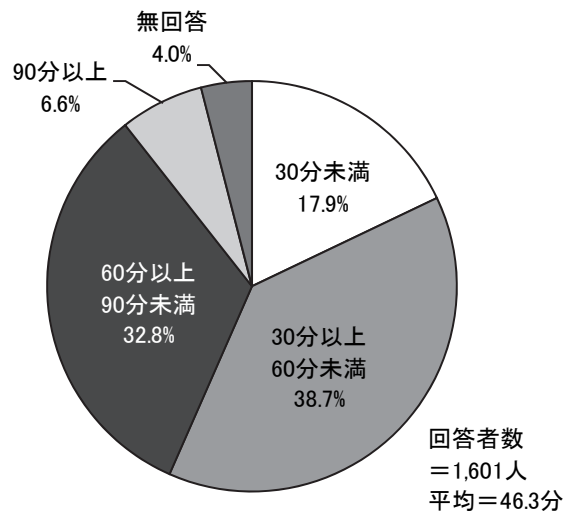
②就労状況

問9-1 「1～4」に○をした方にうかがいます。①1週あたりの「就労日数」・1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、②通勤にかかる時間(片道)をお答えください。(数字を記入)

図表2-15 就労状況

	回答者数	1週あたり 平均就労日数	1日あたり 平均就労時間
全体	1,601人	5.3日	10.3時間
フルタイム	1,589人	5.3日	10.3時間
パート・アルバイト等	12人	5.0日	6.7時間

図表2-16 通勤にかかる時間(片道)(単数回答)



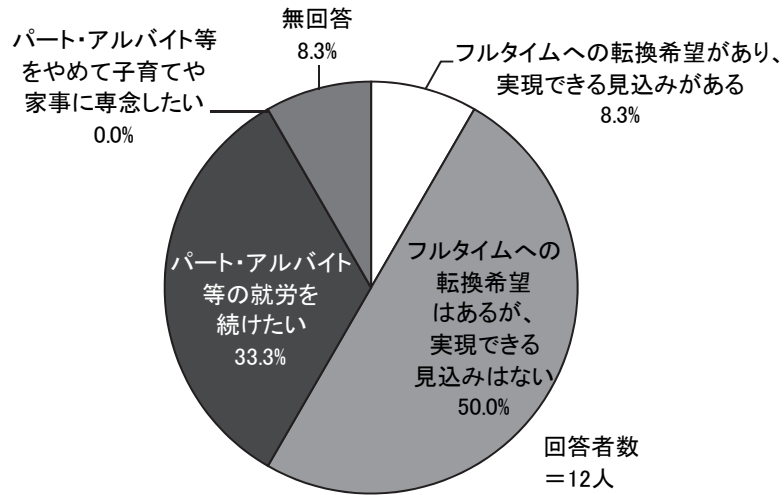
フルタイムで就労している人の就労状況は、1週あたり平均 5.3 日、1日あたり平均 10.3 時間、パート・アルバイト等で就労している人の就労状況は、1週あたり平均 5.0 日、1日あたり平均 6.7 時間となっている。

通勤にかかる時間(片道)は、「30分以上 60分未満」が 38.7%、「60分以上 90分未満」が 32.8% であり、平均 46.3 分となっている。

③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問9-2 「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をした方にうかがいます。
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はありますか。(1つに○)

図表2-17 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望(単数回答)



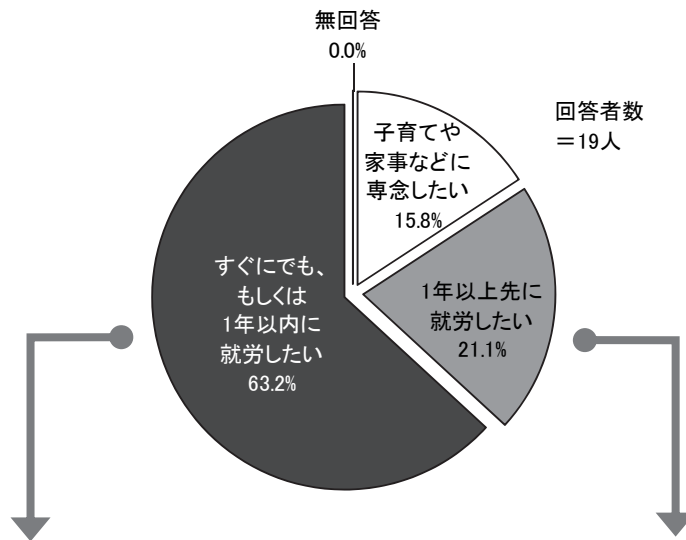
パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は8.3%と1割未満であり、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が50.0%を占める。また、「パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けたい」は33.3%となっている。

④未就労者の就労意向

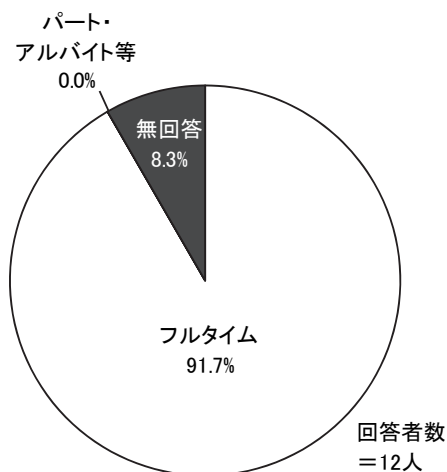
問9-3 「5」または「6」(就労していない)に○をした方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(1つに○、()内は数字を記入)

問9-4 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方は、希望する就労形態をご回答ください。(1つに○、()内は数字を記入)

図表2-18 未就労者の就労意向(単数回答)



図表2-19 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと希望する就労形態(単数回答)



図表2-20 1年以上先に就労したい時期の末子の年齢

回答者数	4人
平均年齢	4.3歳

未就労者の就労意向は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が63.2%を占め、「1年以上先に就労したい」は21.1%、「子育てや家事などに専念したい」は15.8%となっている。

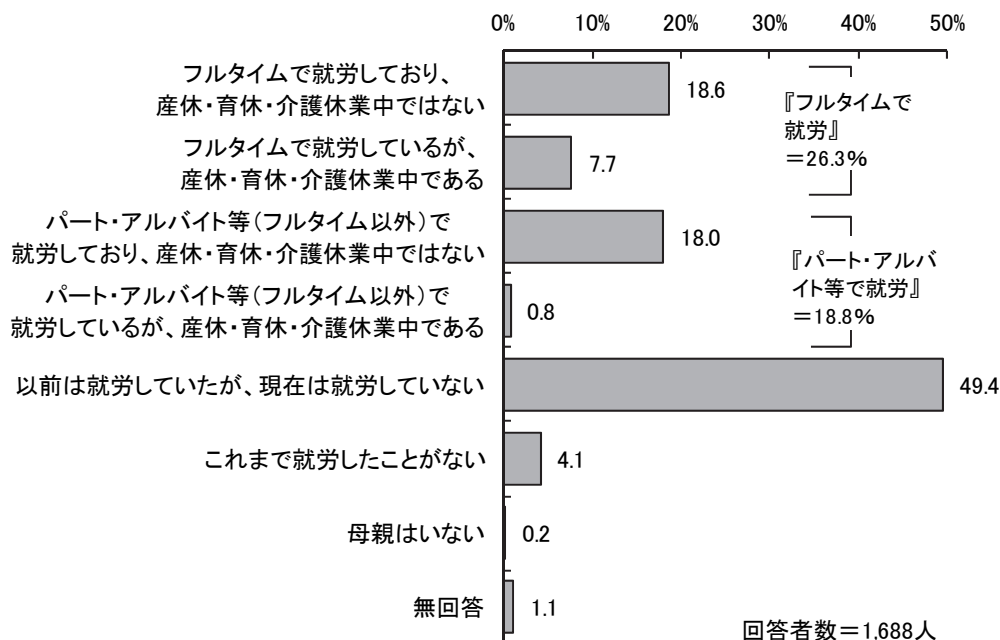
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人が希望する就労形態は、無回答の人を除くすべての人が「フルタイム」と回答している。

(2) 母親の就労状況

① 就労形態

問10 あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。(1つに○)

図表2-21 就労形態(単数回答)

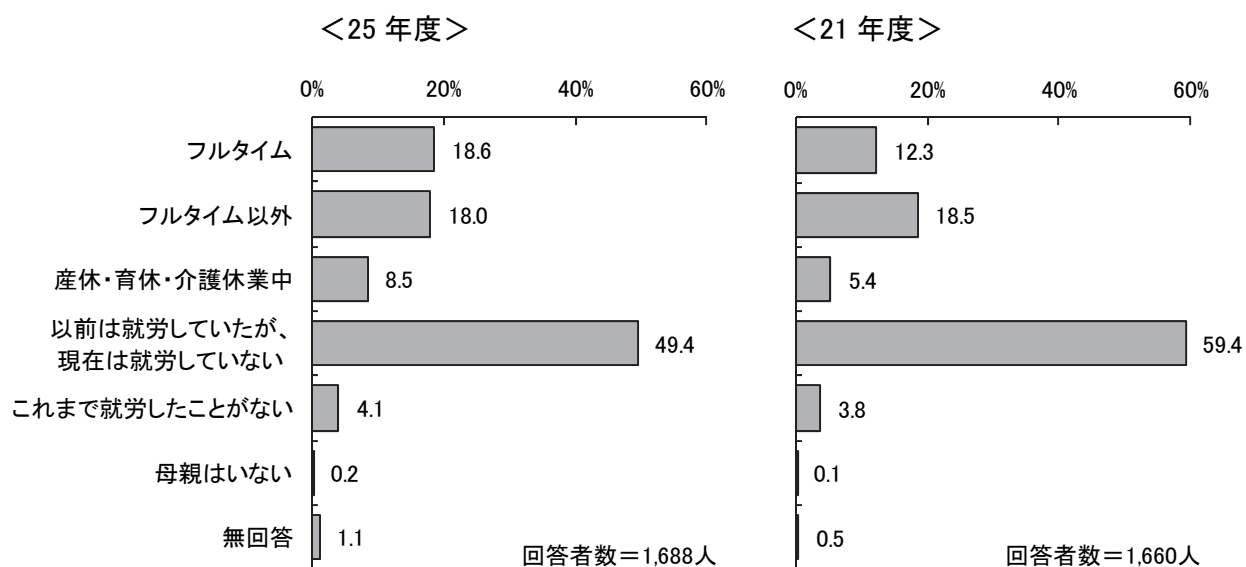


※:『フルタイムで就労』=「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」+「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」

※:『パート・アルバイト等で就労』=「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」+「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」

母親の就労形態は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」49.4%がもっとも高く、「これまで就労したことがない」4.1%をあわせた就労していない人が53.5%を占める。「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」18.6%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」7.7%をあわせた『フルタイムで就労』している人は26.3%、「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」18.0%、「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」0.8%をあわせた『パート・アルバイト等で就労』している人は18.8%となっている。

図表2-22 就労形態類型(単数回答) 前回調査との比較



前回調査と比較すると、「フルタイム」で就労している人の割合が 6.3 ポイント増加し、「以前は就労していたが、現在就労していない」人の割合が 10.0 ポイント減少している。

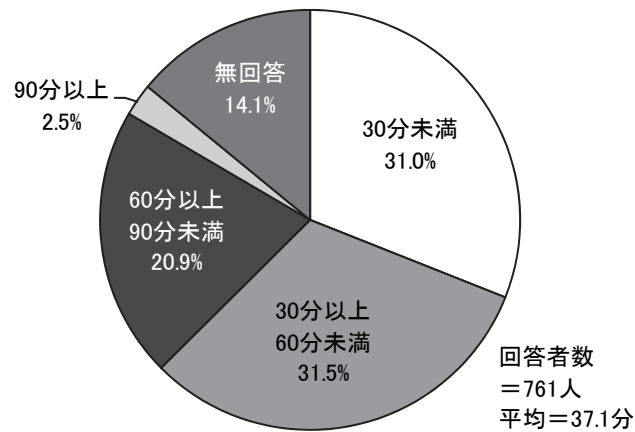
②就労状況

問10-1「1～4」に○をした方にうかがいます。①1週あたりの「就労日数」・1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、②通勤にかかる時間(片道)をお答えください。(数字を記入)

図表2-23 就労状況

	回答者数	1週あたり 平均就労日数	1日あたり 平均就労時間
全体	761人	4.7日	7.0時間
フルタイム	444人	5.1日	7.9時間
パート・アルバイト等	317人	4.0日	5.4時間

図表2-24 通勤にかかる時間(片道)(単数回答)



フルタイムで就労している人の就労状況は、1週あたり平均5.1日、1日あたり平均7.9時間、パート・アルバイト等で就労している人の就労状況は、1週あたり平均4.0日、1日あたり平均5.4時間となっている。

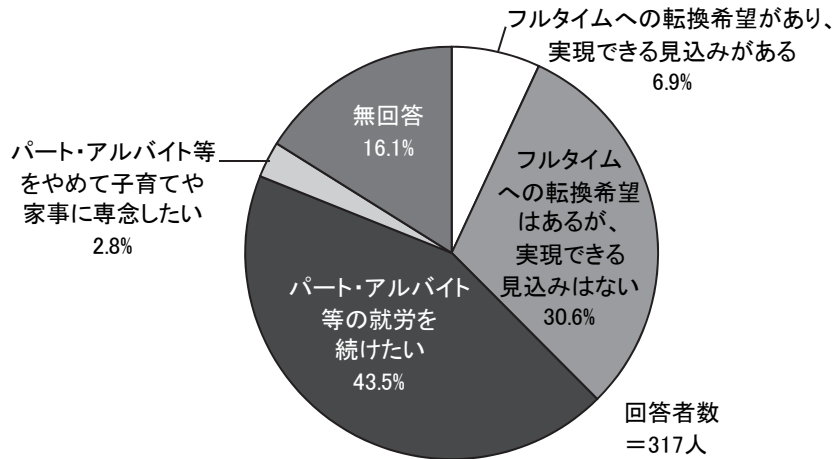
通勤にかかる時間(片道)は、「30分以上60分未満」31.5%、「30分未満」31.0%の順であり、平均37.1分となっている。

③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問10-2 「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をした方にうかがいます。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はありますか。(1つに○)

図表2-25 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望(単数回答)



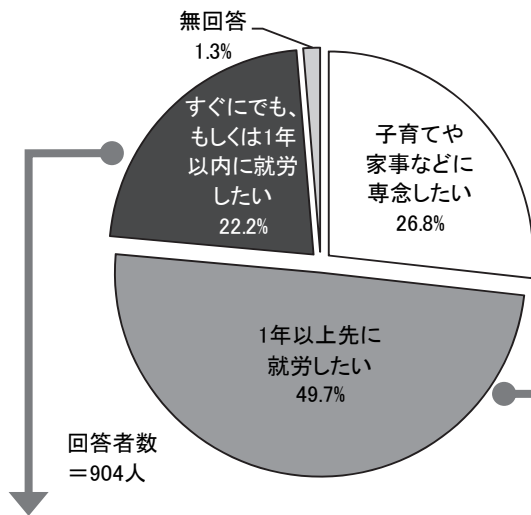
パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」43.5%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」30.6%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」6.9%などとなっている。

④未就労者の就労意向

問10-3 「5」または「6」（就労していない）に○をした方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。（1つに○、（ ）内は数字を記入）

問10-4 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方は、希望する就労形態をご回答ください。（1つに○、（ ）内は数字を記入）

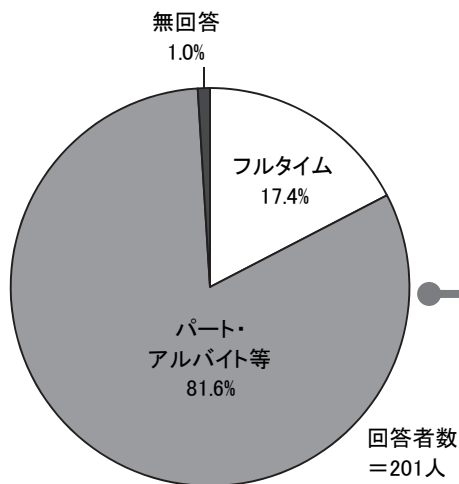
図表2-26 未就労者の就労意向(単数回答)



図表2-27 1年以上先に就労したい時期の末子の年齢

回答者数	449人
平均年齢	5.4歳

図表2-28 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと希望する就労形態(単数回答)



図表2-29 パート・アルバイト等の就労希望日数・就労希望時間

回答者数	164人
1週あたり平均就労希望日数	3.7日
1日あたり平均就労希望時間	4.8時間

未就労者の就労意向は、「1年以上先に就労したい」が49.7%と約半数を占め、次いで「子育てや家事などに専念したい」26.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」22.2%となっている。

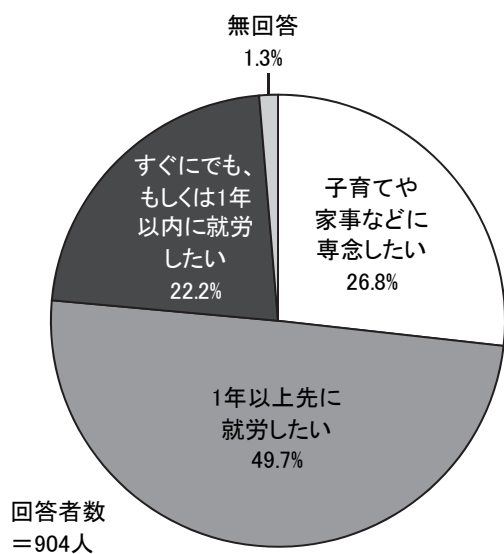
1年以上先に就労したい人の就労したい時期の末子の年齢は、平均5.4歳となっている。

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」81.6%、「フルタイム」17.4%となっている。

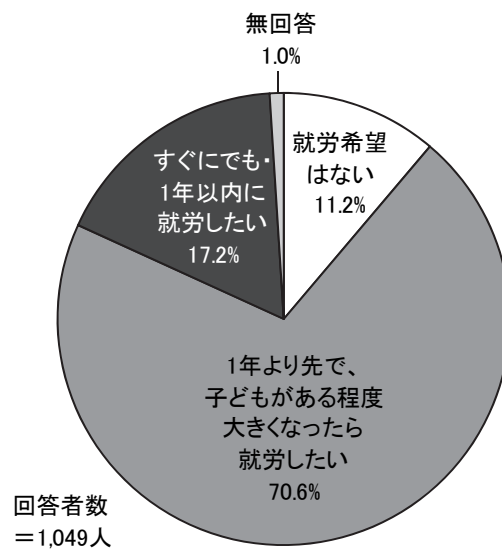
パート・アルバイト等希望者の就労希望日数・時間は、1週あたり平均3.7日、1日あたり4.8時間となっている。

図表2-30 未就労者の就労意向(単数回答) 前回調査との比較

<25年度(再掲)>



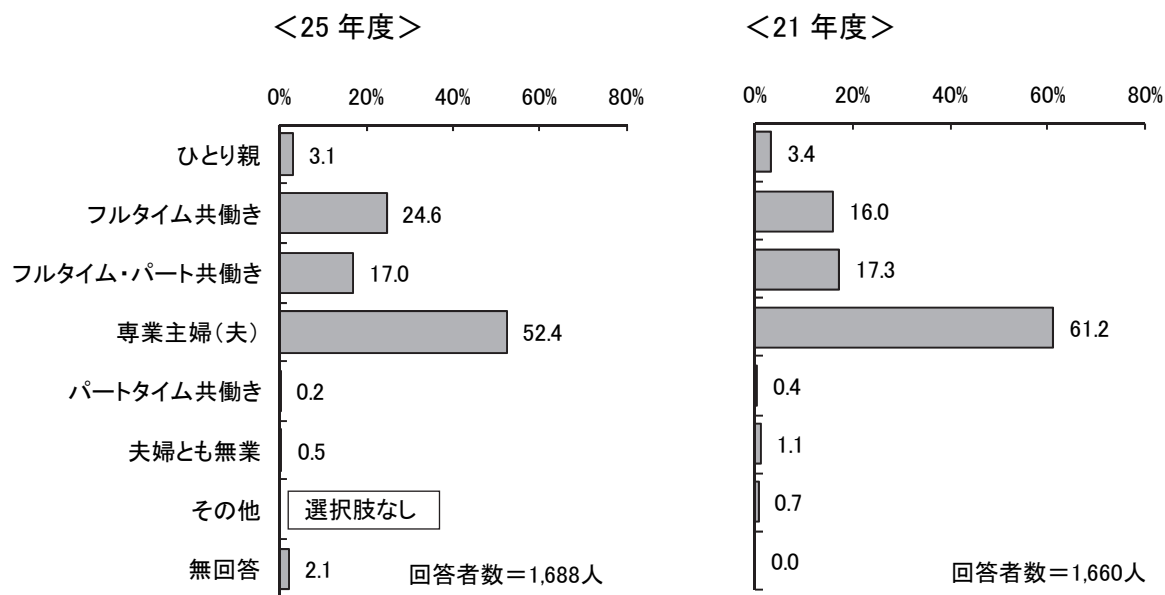
<21年度>



前回調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい」(前回調査「就労希望はない」) 15.6ポイント、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(前回調査「すぐにも・1年以内に就労したい」)は5.0ポイント増加し、「1年以上先に就労したい」(前回調査「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」)が20.9ポイント減少している。

(3) 両親の就労形態による家族類型

図表2-31 両親の就労形態による家族類型(単数回答) 前回調査との比較



両親の就労形態からみた家族類型は、「専業主婦(夫)」家庭が52.4%と過半数を占める。次いで、「フルタイム共働き」が24.6%、「フルタイム・パート共働き」が17.0%となっている。

前回調査と比較すると、「フルタイム共働き」が8.6ポイント増加し、「専業主婦(夫)」が8.8ポイント減少している。

図表2-32 両親の就労形態による家族類型

		回答者数(人)	ひとり親	フルタイム共働き	フルタイム・パート共働き	専業主婦(夫)	パートタイム共働き	夫婦とも無業	無回答
全 体		1,688	3.1	24.6	17.0	52.4	0.2	0.5	2.1
子どもの年齢別	0 歳	369	1.1	32.5	9.5	54.7	0.0	0.0	2.2
	1 歳	253	2.0	28.1	11.5	55.7	0.4	0.4	2.0
	2 歳	271	4.4	24.7	12.9	54.6	0.0	1.1	2.2
	3 歳	270	3.7	21.1	21.9	49.6	0.0	1.1	2.6
	4 歳	255	4.3	22.4	25.5	45.1	0.8	0.8	1.2
	5 歳	260	3.8	15.8	23.5	53.8	0.4	0.0	2.7
居住地域別	区民課地域	368	1.9	23.1	14.9	57.6	0.5	0.0	1.9
	小松川地域	126	1.6	28.6	24.6	42.1	0.0	1.6	1.6
	葛西北地域	231	3.0	26.8	14.7	53.2	0.0	1.3	0.9
	葛西南地域	393	2.5	27.0	15.3	52.9	0.5	0.8	1.0
	小岩地域	183	6.0	26.2	23.0	43.7	0.0	0.5	0.5
	東部地域	207	3.4	23.2	18.8	52.7	0.0	0.0	1.9
	鹿骨地域	149	4.7	18.1	14.8	59.1	0.0	0.0	3.4

※:網掛けは全体を上回る数値

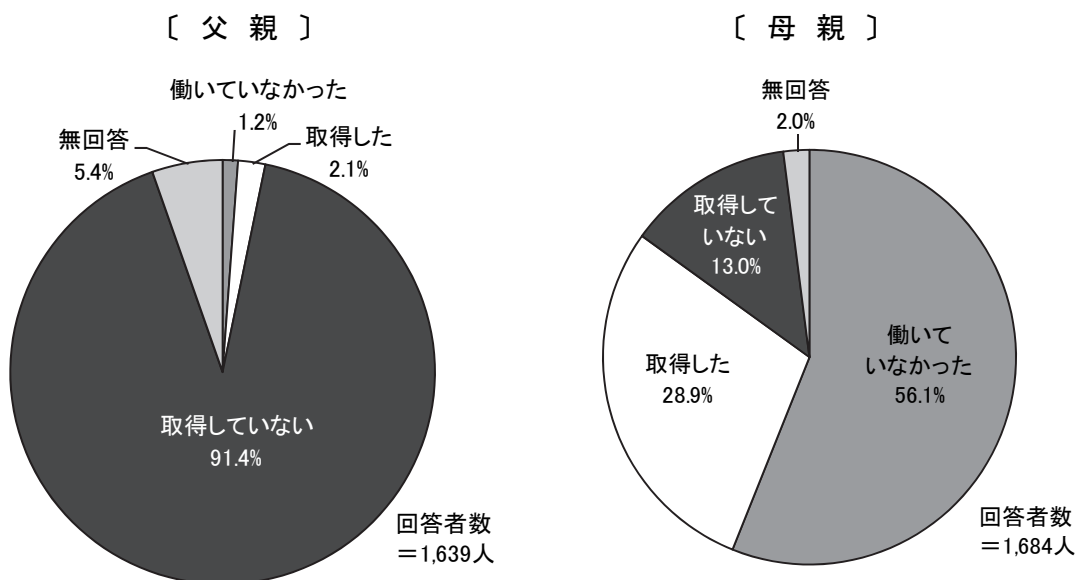
子どもの年齢別にみると、「フルタイム共働き」は子どもが0歳の家庭がもっとも高い32.5%である。子どもの年齢が高くなるにつれてこの割合は減少し、「フルタイム・パート共働き」の割合が増加している。「専業主婦(夫)」は子どもが0~2歳の家庭では5割台から3・4歳の家庭では4割台となるが、5歳の家庭では再び5割台となっている。

居住地域別にみると、「専業主婦(夫)」は区民課地域及び鹿骨地域で6割弱を占め、他の地域に比べて高い。「フルタイム共働き」は小松川地域、葛西北地域、葛西南地域及び小岩地域、「フルタイム・パート共働き」は小松川地域及び小岩地域において、それぞれ他に比べて高い割合となっている。

(4) 育児休業の取得状況

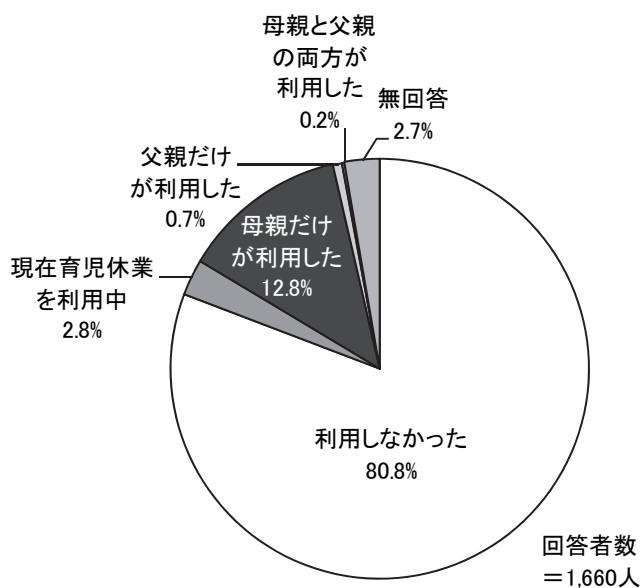
問24 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、1つに○をしてください。取得していない方はその理由を下の表からいくつでも選んで番号を記入してください。

図表2-33 育児休業の取得状況(単数回答)



図表2-34 前回調査での育児休業の取得状況(単数回答)

<21年度>

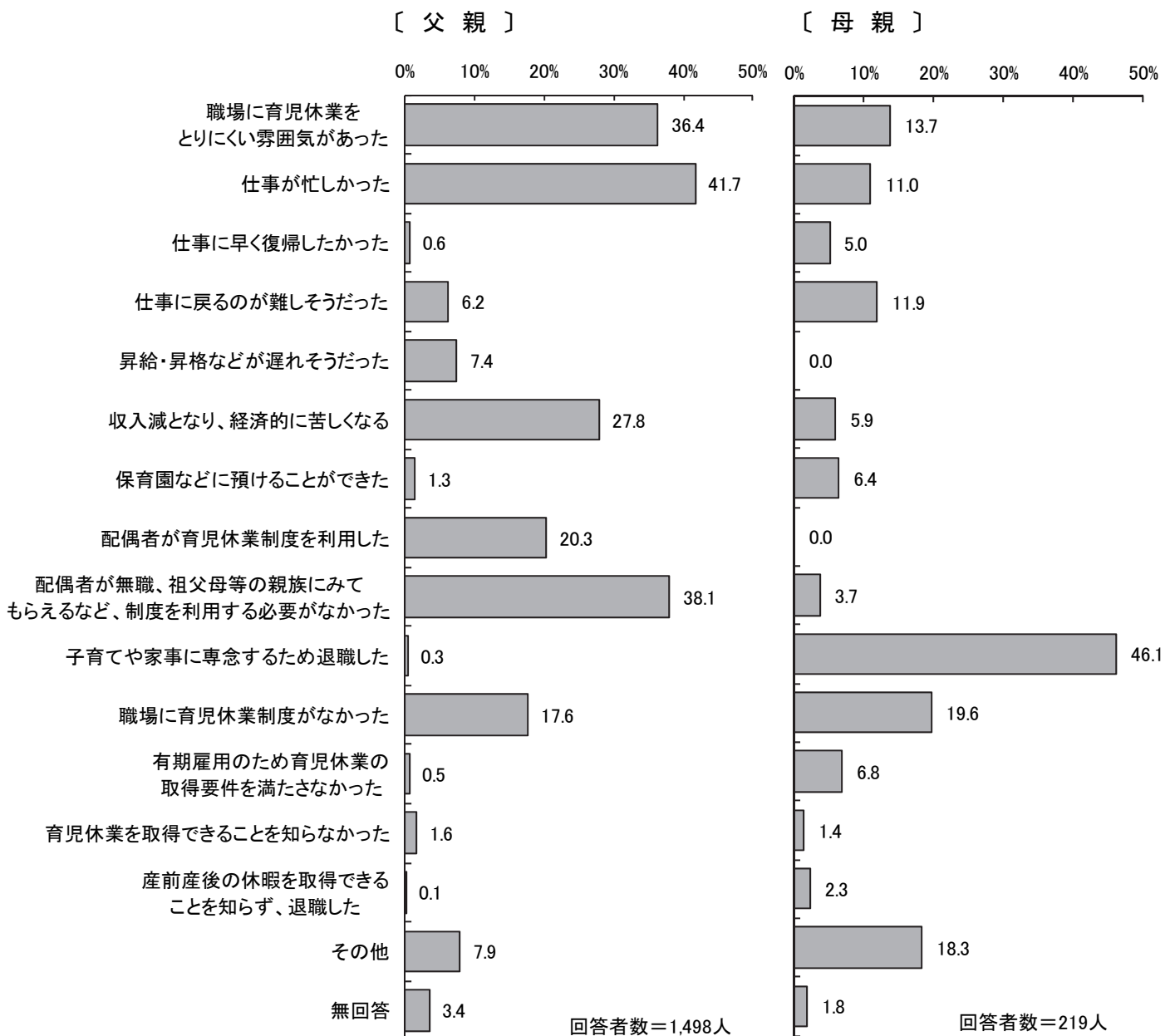


育児休業の取得状況を見ると、父親は「取得していない」が 91.4%を占め、「取得した」は 2.1%、「働いていなかった」は 1.2%となっている。

母親は「働いていなかった」が 56.1%と過半数を占める。次いで「取得した」が 28.9%と、「取得していない」の 13.0%を 15.9ポイント上回っている。

今回調査では、「取得した」は父親と母親あわせて 31.0%で、前回調査の 16.5%（「現在育児休業を利用中」「母親だけが利用した」「父親だけが利用した」「母親と父親の両方が利用した」を合わせた割合）より大きく増えている。

図表2-35 育児休業を取得しなかった理由(複数回答)



父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」41.7%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」38.1%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」36.4%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」27.8%、「配偶者が育児休業制度を利用した」20.3%の順となっている。

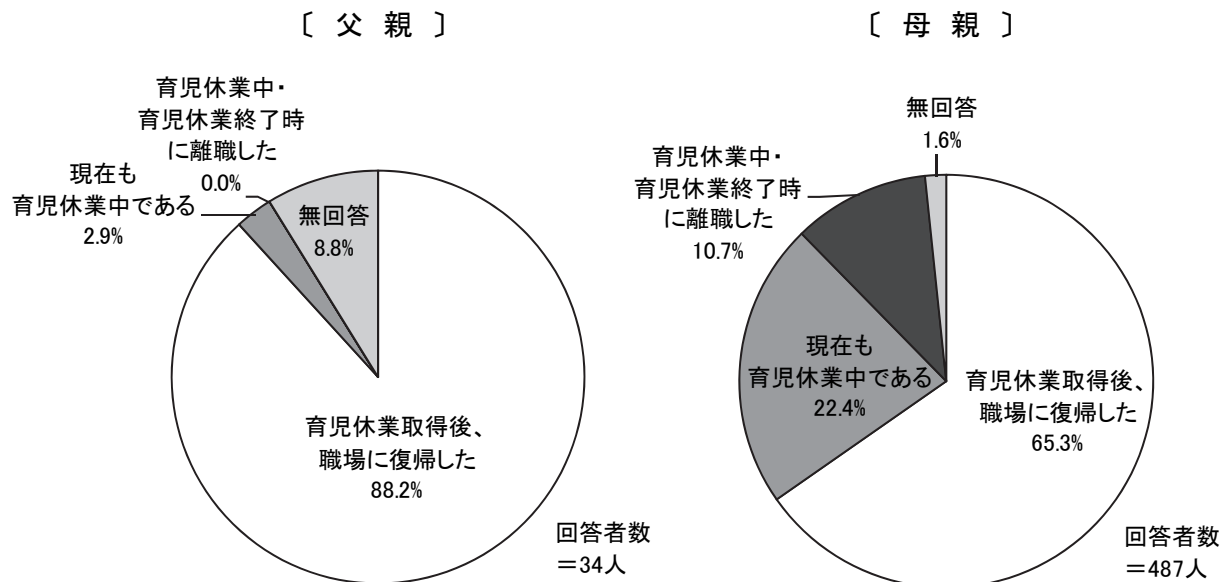
母親については、「子育てや家事に専念するため退職した」を46.1%と半数近くがあげている。次いで、「職場に育児休業制度がなかった」19.6%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」13.7%、「仕事に戻るのが難しそうだった」11.9%、「仕事が忙しかった」11.0%などとなっており、父親とは大きく理由が異なっている。

(5) 育児休業取得者の状況と意向

① 育児休業取得後の職場復帰状況

問25 問24で「2. 取得した(取得中である)」に○をした方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。父親、母親それぞれについてお答えください。(1つに○)

図表2-36 育児休業取得後の職場復帰状況(単数回答)



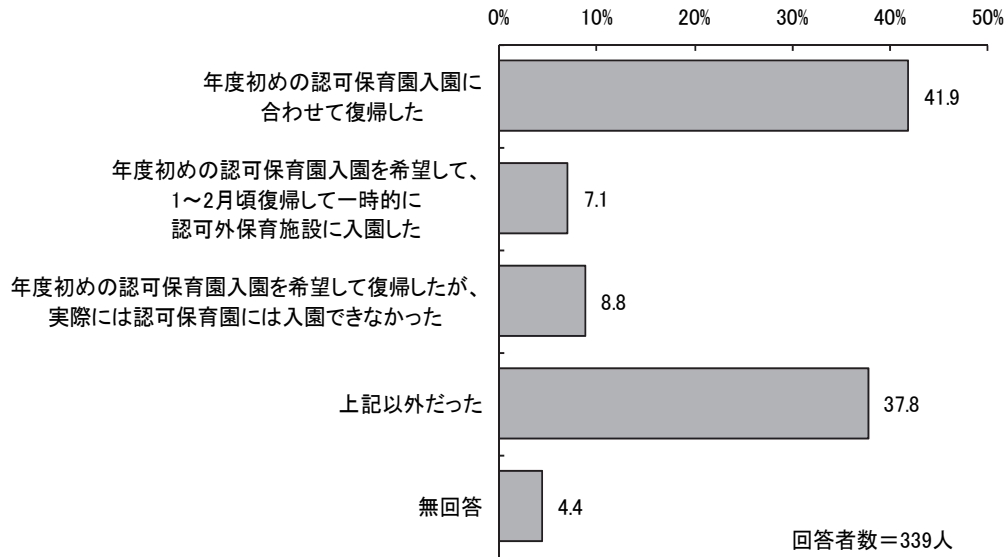
育児休業を取得した(取得中である)と回答した人に職場の復帰状況をたずねたところ、父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が88.2%を占め、「現在も育児休業中である」は2.9%、「育児休業中・育児休業終了時に離職した」と回答した人はいなかった。

母親については、「育児休業取得後、職場に復帰した」65.3%、「現在も育児休業中である」22.4%であり、「育児休業中・育児休業終了時に離職した」は10.7%となっている。

②職場復帰のタイミング

問25-1 「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したタイミングと状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

図表2-37 職場復帰のタイミング(単数回答)



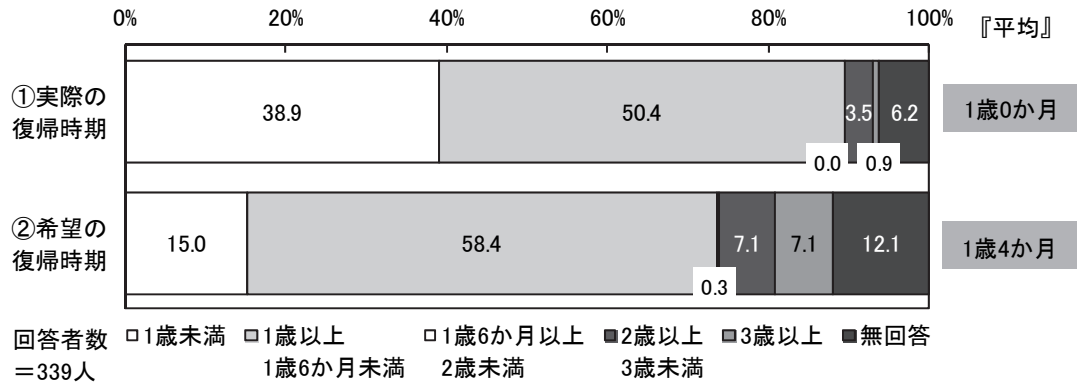
父母のどちらかが育児休業取得後、職場に復帰したと回答した人に、職場に復帰したタイミングと状況をたずねたところ、「年度初めの認可保育園入園に合わせて復帰した」41.9%がもっとも高い。「年度初めの認可保育園入園を希望して、1~2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入園した」は7.1%、「年度初めの認可保育園入園を希望して復帰したが、実際には認可保育園には入園できなかった」は8.8%であり、「上記以外だった」は37.8%となっている。

③職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望

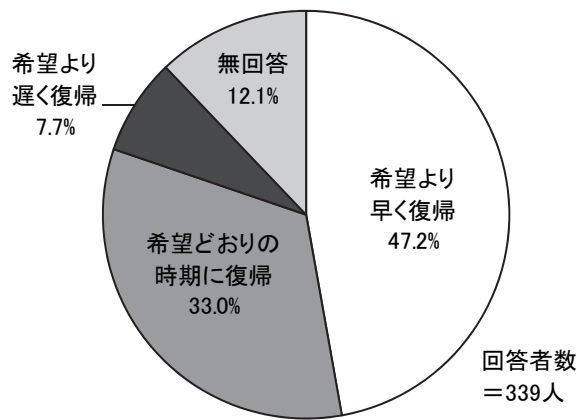
問25-2 育児休業からは、①「実際」にお子さんが何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また、②お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月の時までとりたかったですか。

(数字を記入)

図表2-38 職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望(各単数回答)



図表2-39 職場復帰時期(単数回答)



育児休業からの①実際の復帰時期は、「1歳以上1歳6か月未満」が50.4%、「1歳未満」38.9%の順であり、平均1歳0か月となっている。

②希望の復帰時期は、「1歳未満」が15.0%と①実際の復帰時期よりも23.9ポイント低く、「1歳以上1歳6か月未満」が58.4%と6割近くを占める。平均は1歳4か月であり、①実際の復帰時期よりも4か月遅い。

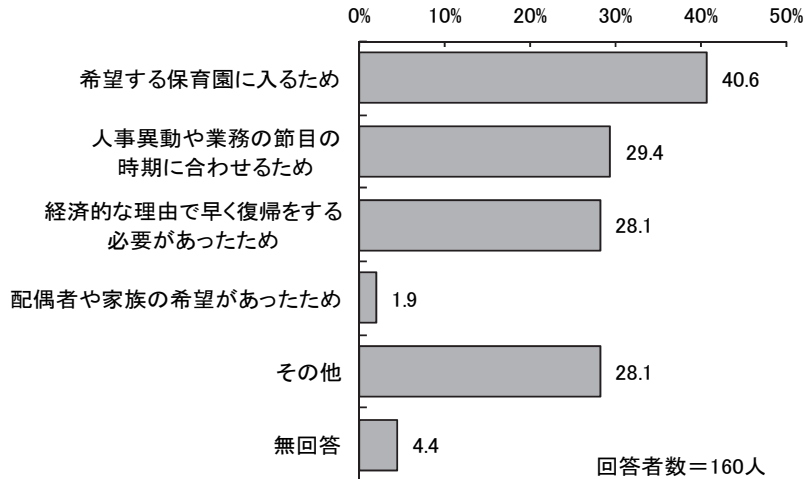
復帰時期は、「希望より早く復帰」が47.2%と半数近く、「希望どおりの時期に復帰」は33.0%、「希望より遅く復帰」は7.7%となっている。

④希望より早く・遅く復帰した理由

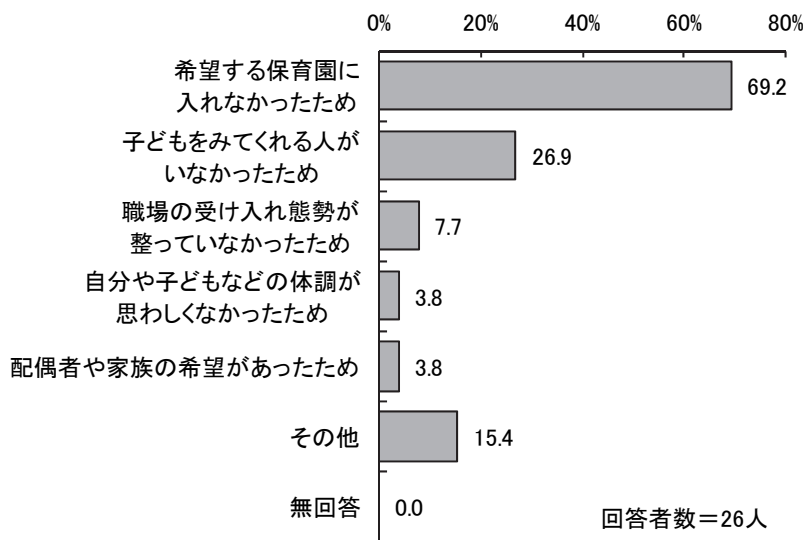
問25-3 「希望」より早く復帰した方(①実際の復帰時期が②希望の復帰時期より早い方)にうかがいます。希望より早く復帰した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

問25-4 「希望」より遅く復帰した方(①実際の復帰時期が②希望の復帰時期より遅い方)にうかがいます。希望より遅く復帰した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-40 希望より早く復帰した理由(複数回答)



図表2-41 希望より遅く復帰した理由(複数回答)



希望より早く復帰した人の理由は、「希望する保育園に入るため」が40.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が29.4%、「経済的な理由で早く復帰をする必要があったため」が28.1%などとなっている。

希望より遅く復帰した人の理由は、「希望する保育園に入れなかったため」が69.2%と約7割となっている。

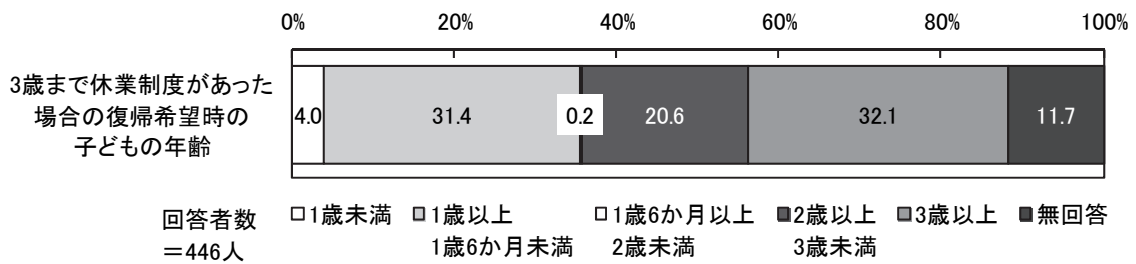
⑤3歳まで休暇取得できる場合の復帰希望時の子どもの年齢

問25-6 問25で父母の両方もしくはどちらかが「1」または「2」に○をした方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があり、また復帰時に必ず利用できるサービスがある場合に、お子さんが何歳何カ月の時まで、休暇の取得を希望しますか。

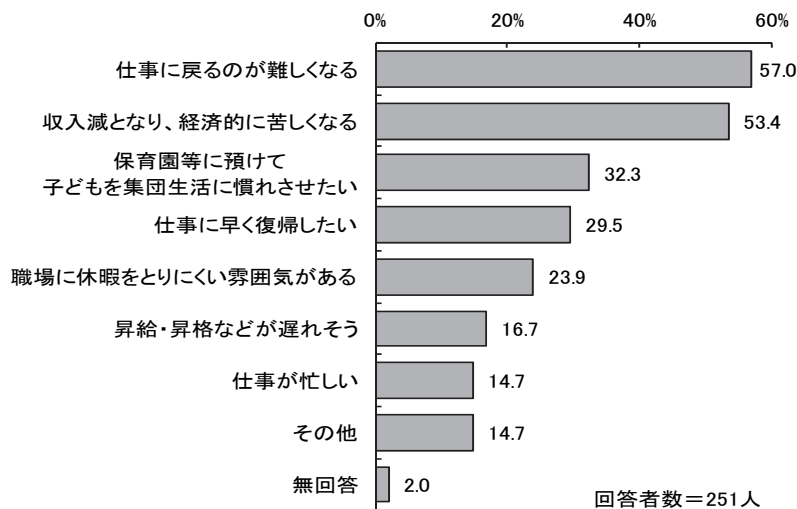
(数字を記入)

問25-7 問25-6で記入した年齢が、3歳未満だった方にうかがいます。お子さんが3歳になるまで休暇を取得しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-42 3歳まで休暇取得できる場合の復帰希望時の子どもの年齢(単数回答)



図表2-43 3歳になるまで休暇を取得しない理由(複数回答)



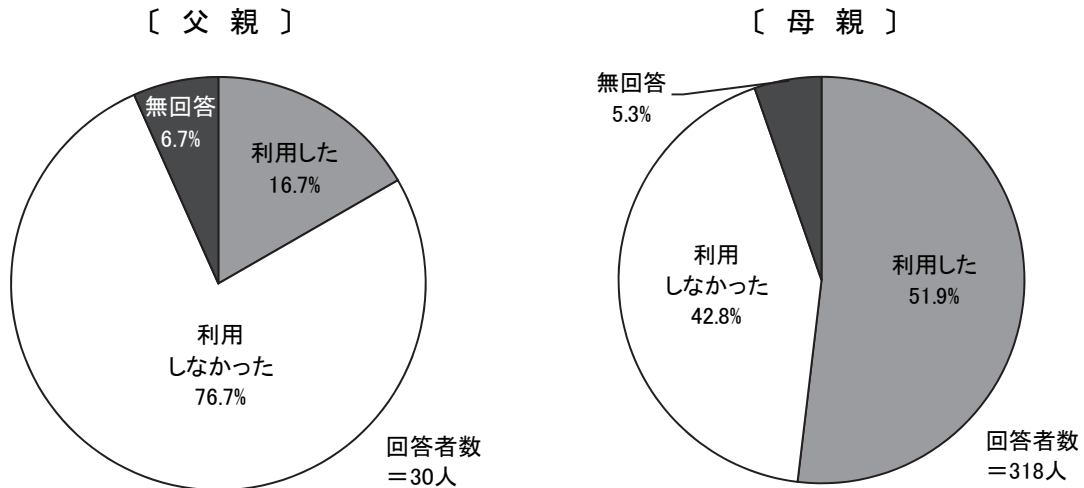
父母の両方もしくはどちらかが、育児休業取得後職場に復帰した、あるいは現在も育児休業中である人に、3歳まで休暇を取得でき、復帰時に必ず利用できるサービスがある場合の復帰希望時期の子どもの年齢をたずねたところ、「3歳以上」32.1%、「1歳以上1歳6か月未満」31.4%、「2歳以上3歳未満」20.6%の順となっている。

3歳未満と回答した人の3歳になるまで休暇を取得しない理由は、「仕事に戻るのが難しくなる」57.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」53.4%、「保育園等に預けて子どもを集団生活に慣れさせたい」32.3%の順となっている。

⑥職場復帰後の短時間勤務制度の利用状況

問25-5 問25で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。父親、母親それぞれについて、1つに○をしてください。利用しなかった方はその理由を下の表からいくつでも選んで番号を記入してください。

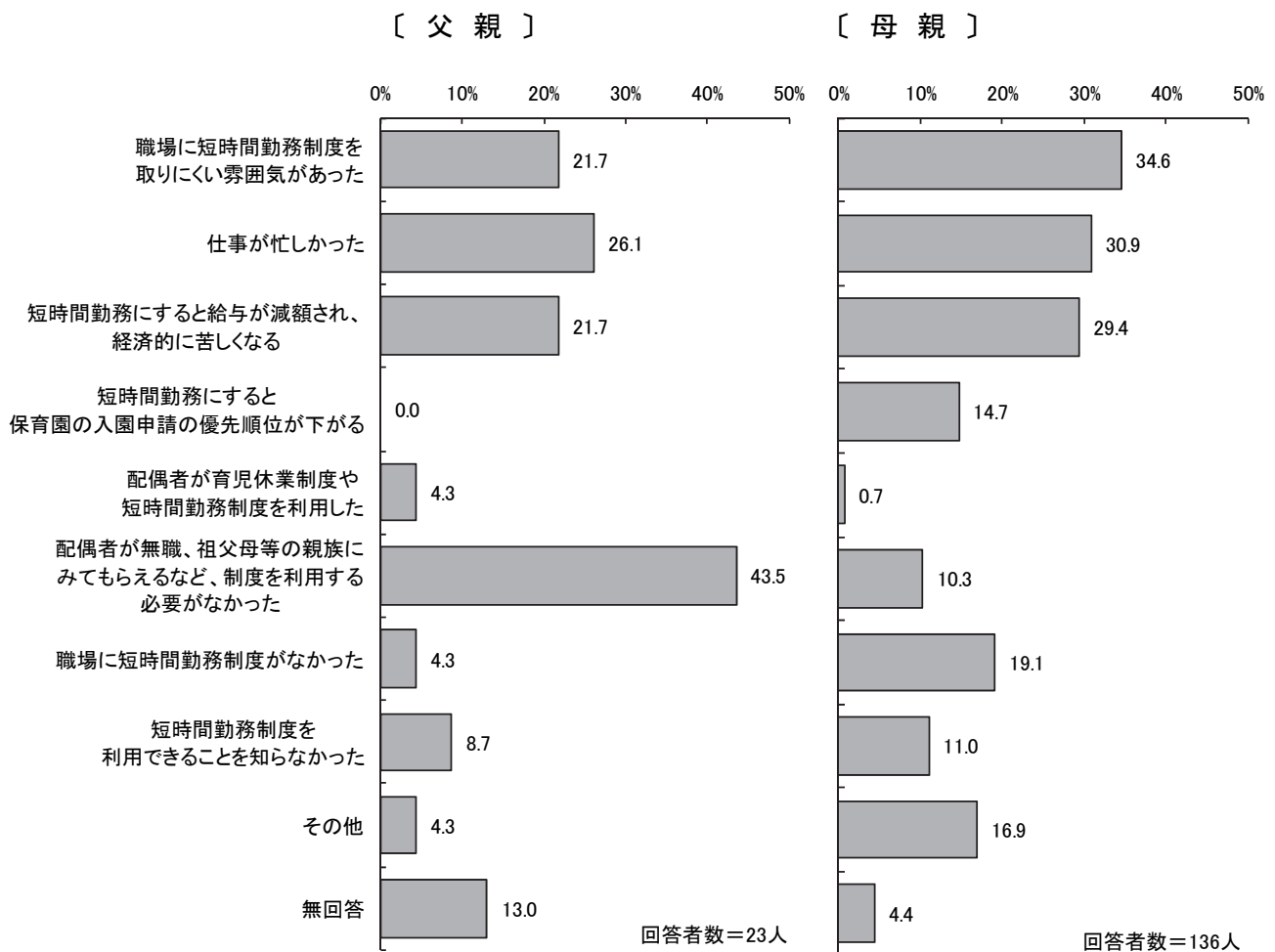
図表2-44 職場復帰後の短時間勤務制度の利用状況(単数回答)



育児休業取得後、職場に復帰した人の短時間勤務制度の利用状況をみると、父親は「利用しなかった」が76.7%を占め、「利用した」は16.7%となっている。

母親は「利用した」が51.9%を占め、「利用しなかった」42.8%を9.1ポイント上回っている。

図表2-45 短時間勤務制度を利用しなかった理由(複数回答)



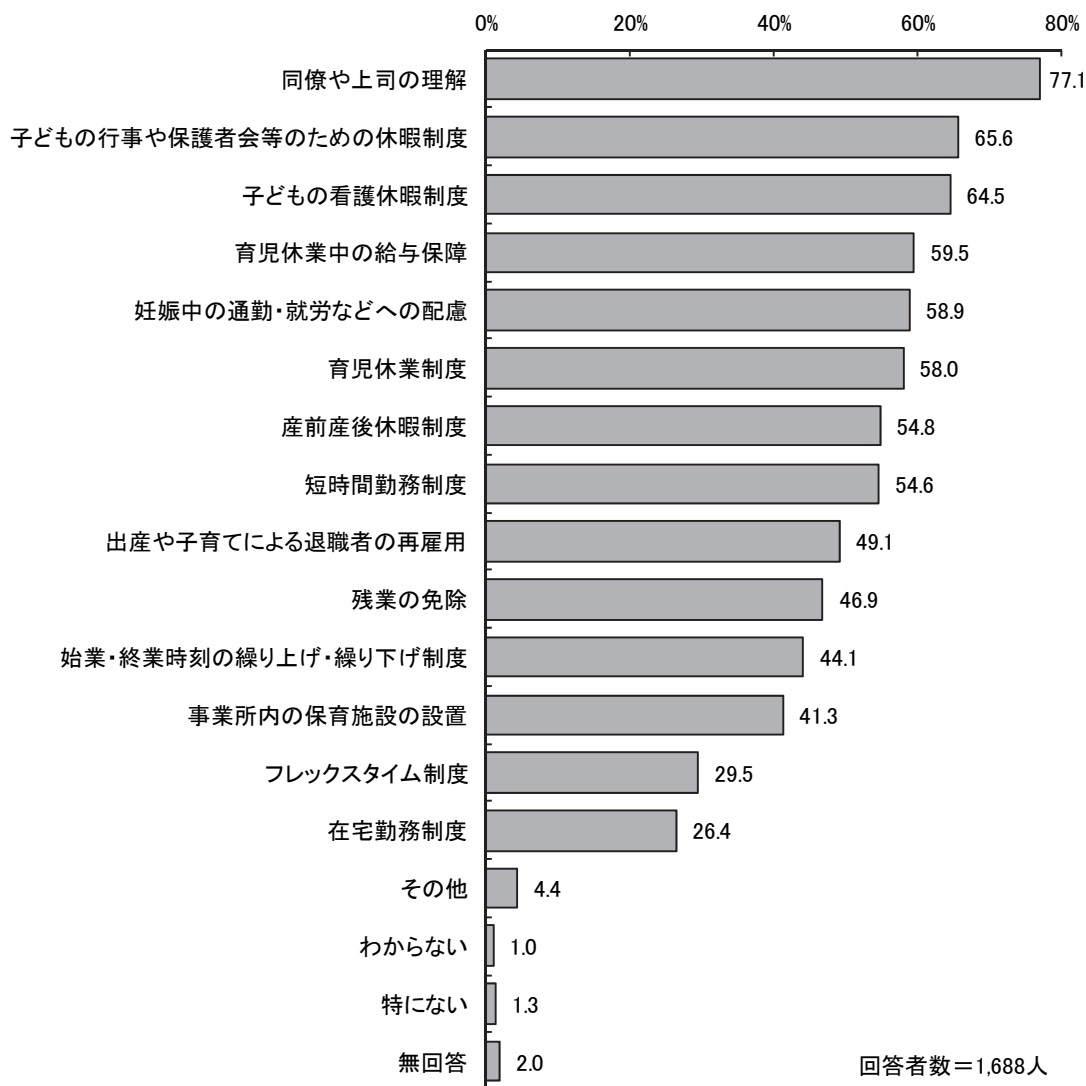
利用しなかった理由は、父親は「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」43.5%、「仕事が忙しかった」26.1%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」各21.7%などとなっている。

母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」34.6%、「仕事が忙しかった」30.9%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」29.4%の順となっている。

(6) 仕事をしながら子育てをするために企業などに充実・強化してほしいこと

問26 仕事をしながら安心して子育てをするために、企業などに充実・強化してほしいことは何ですか。働いていない方も、働いた場合を想定してお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表2-46 仕事をしながら子育てをするために企業などに充実・強化してほしいこと(複数回答)



仕事をしながら子育てをするために企業などに充実・強化してほしいことは、「同僚や上司の理解」77.1%がもっとも高い。次いで、「子どもの行事や保護者会等のための休暇制度」「子どもの看護休暇制度」が6割台、「育児休業中の給与保障」「妊娠中の通勤・就労などへの配慮」「育児休業制度」「産前産後休暇制度」「短時間勤務制度」が5割台となっている。

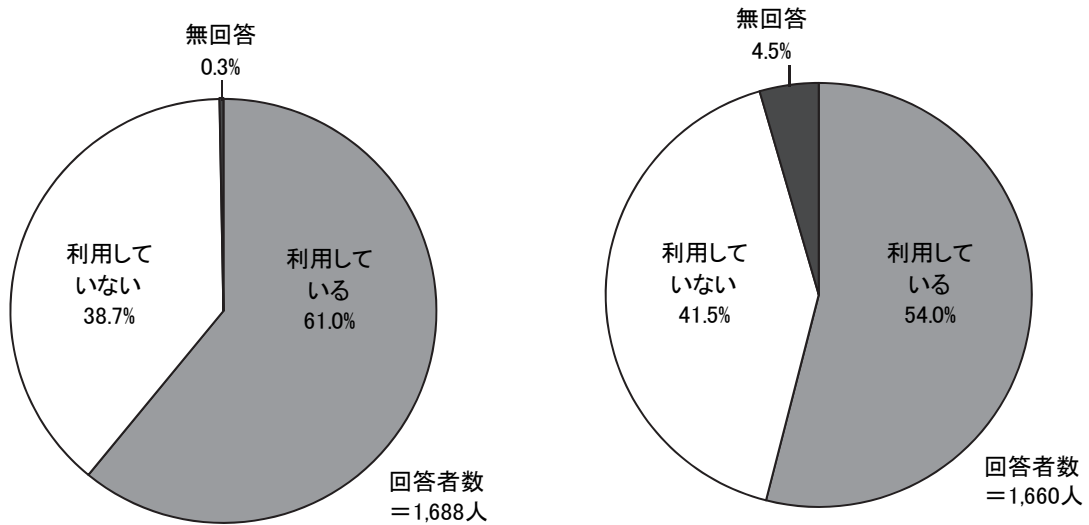
3. 教育・保育サービスの利用状況と利用意向

(1) 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況

①教育・保育サービスの利用状況

問11 あて名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育サービス」を利用していますか。(1つに○)

図表2-47 教育・保育サービスの利用状況(単数回答) 前回調査との比較
<25年度> <21年度>



教育・保育サービスの利用状況は、「利用している」61.0%、「利用していない」38.7%となっている。

前回調査と比較すると、「利用している」が7.0ポイント増加している。

図表2-48 教育・保育サービスの利用状況

		回答者数(人)	利用している	利用していない	無回答
全 体		1,688	61.0	38.7	0.3
子どもの年齢別	0 歳	369	12.5	86.4	1.1
	1 歳	253	34.8	65.2	0.0
	2 歳	271	45.8	53.9	0.4
	3 歳	270	95.6	4.4	0.0
	4 歳	255	97.6	2.4	0.0
	5 歳	260	98.5	1.5	0.0
就労形態による家族類型別	ひとり親	52	86.5	13.5	0.0
	フルタイム共働き	416	73.3	26.7	0.0
	フルタイム・パート共働き	287	85.7	14.3	0.0
	専業主婦(夫)	884	45.9	53.5	0.6
	パートタイム共働き	4	100.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	9	55.6	44.4	0.0
居住地地域別	区民課地域	368	58.4	41.3	0.3
	小松川地域	126	71.4	28.6	0.0
	葛西北地域	231	58.9	41.1	0.0
	葛西南地域	393	58.0	41.7	0.3
	小岩地域	183	67.8	31.7	0.5
	東部地域	207	63.8	35.3	1.0
	鹿骨地域	149	57.0	43.0	0.0

※: 網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、「利用している」割合は、0歳の1割台、1歳の3割台、2歳の4割台、3～5歳の9割台となっている。

就労形態による家族類型別にみると、「利用している」割合は、ひとり親及びフルタイム・パート共働き家庭の8割台、フルタイム共働き家庭の7割台、専業主婦(夫)家庭では4割台となっている。

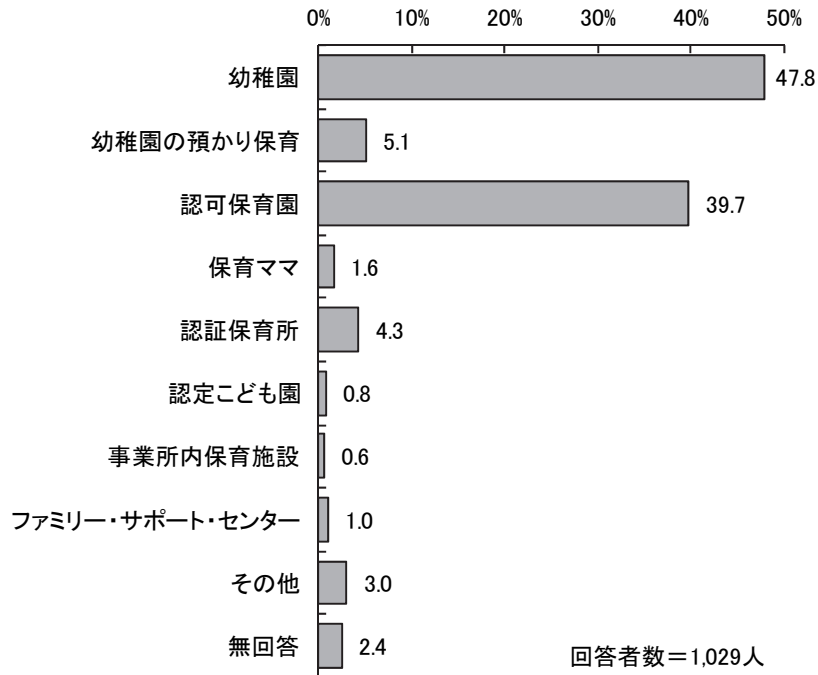
居住地地域別にみると、小松川地域は「利用している」が7割台と、他の地域に比べて高い割合となっている。

②利用している教育・保育サービス

問11-1「1. 利用している」に○をした方にうかがいます。平日にどのような教育・保育サービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているサービスをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図表2-49 利用している教育・保育サービス(複数回答)



利用している教育・保育サービスは、「幼稚園」47.8%、「認可保育園」39.7%、「幼稚園の預かり保育」5.1%、「認証保育所」4.3%などとなっている。

図表2-50 利用している教育・保育サービス

	回答者数(人)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	保育ママ	認証保育所	認定こども園	事業所内保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答	
全体	1,029	47.8	5.1	39.7	1.6	4.3	0.8	0.6	1.0	3.0	2.4	
子どもの年齢別	0歳	46	0.0	0.0	19.6	34.8	28.3	2.2	4.3	2.2	6.5	2.2
	1歳	88	0.0	0.0	70.5	0.0	15.9	0.0	3.4	2.3	5.7	4.5
	2歳	124	14.5	1.6	66.1	0.0	8.9	1.6	0.8	0.8	7.3	0.0
	3歳	258	56.6	4.3	36.4	0.0	1.2	0.8	0.0	1.2	2.3	3.5
	4歳	249	58.2	6.4	37.8	0.0	0.8	0.4	0.0	0.8	1.6	2.0
	5歳	256	69.5	8.2	25.4	0.0	0.4	0.8	0.0	0.4	1.6	2.3
就労形態による家族類型別	ひとり親	45	13.3	4.4	75.6	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	4.4
	フルタイム共働き	305	5.2	2.3	78.4	2.6	7.5	0.7	1.3	1.3	1.6	3.6
	フルタイム・パート共働き	246	36.6	7.7	47.6	2.8	7.3	1.2	0.8	0.0	2.8	1.2
	専業主婦(夫)	406	89.7	5.4	3.2	0.0	0.2	0.7	0.0	1.5	4.2	1.5
	パートタイム共働き	4	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	5	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地域別	区民課地域	215	54.9	4.2	34.9	0.5	3.3	0.0	2.3	0.0	0.5	3.7
	小松川地域	90	36.7	2.2	46.7	1.1	6.7	0.0	0.0	0.0	4.4	5.6
	葛西北地域	136	52.2	8.1	38.2	2.2	2.2	0.0	0.0	2.2	4.4	0.0
	葛西南地域	228	45.2	3.5	42.5	1.8	5.7	0.0	0.0	0.9	3.5	1.3
	小岩地域	124	38.7	5.6	46.0	2.4	4.8	0.8	0.8	0.8	4.0	3.2
	東部地域	132	46.2	5.3	37.9	3.0	6.8	1.5	0.0	2.3	3.8	1.5
	鹿骨地域	85	56.5	8.2	34.1	0.0	0.0	5.9	0.0	1.2	1.2	2.4

※: 網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、利用者の割合は、0歳は「保育ママ」、1・2歳は「認可保育園」がもっとも高い。3～5歳は「幼稚園」であり、3・4歳では5割台、5歳は約7割となっている。

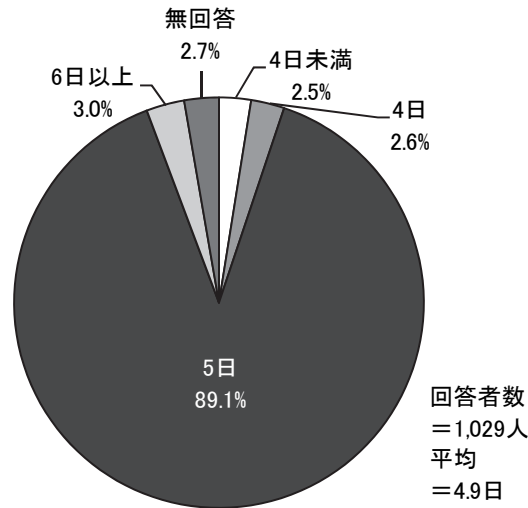
就労形態による家族類型別にみると、ひとり親及びフルタイム共働き家庭は「認可保育園」の利用者の割合が7割台、フルタイム・パート共働き家庭は「認可保育園」が4割台、「幼稚園」が3割台となっている。専業主婦(夫)家庭は約9割が「幼稚園」となっている。

居住地域別にみると、区民課地域、葛西北地域及び鹿骨地域は「幼稚園」、小松川地域、葛西南地域及び小岩地域は「認可保育園」「認証保育所」、東部地域は「保育ママ」「認証保育所」利用者の割合が、それぞれ他の地域に比べて高くなっている。

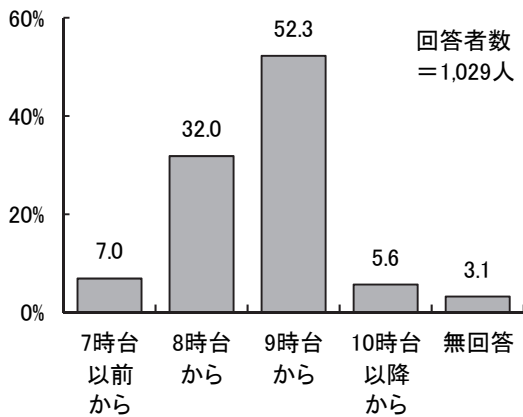
③教育・保育サービスの利用頻度

問11-2 平日に定期的に利用している教育・保育サービスについて、①どのくらい利用していますか。それぞれ1週間あたり何日、1日あたり何時～何時までをお答えください。(数字を記入)

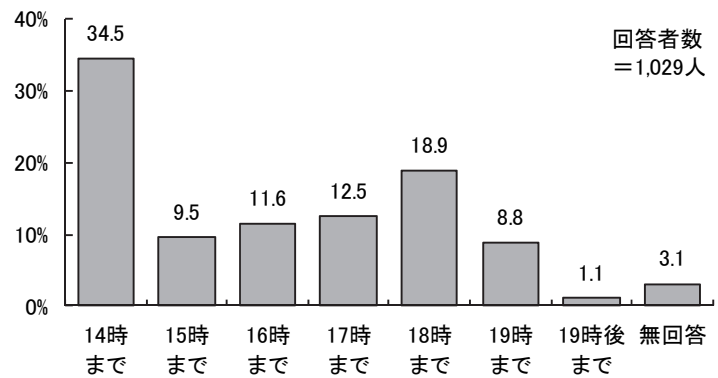
図表2-51 週あたり利用日数(単数回答)



図表2-52 利用開始時間(単数回答)



図表2-53 利用終了時間(単数回答)



教育・保育サービスの週あたり利用日数は「5日」が89.1%を占め、平均4.9日となっている。利用開始時間は「9時台から」52.3%、「8時台から」32.0%などとなっている。利用終了時間は「14時まで」34.5%、「18時まで」18.9%などとなっている。

図表2-54 利用開始時間

		回答者数(人)	7時台以前から	8時台から	9時台から	10時台以降から	無回答
全 体		1,029	7.0	32.0	52.3	5.6	3.1
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	0.4	17.7	68.9	8.1	4.9
	幼稚園の預かり保育	52	1.9	21.2	69.2	0.0	7.7
	認可保育園	409	14.9	42.5	40.3	0.5	1.7
	保育ママ	16	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0
	認証保育所	44	13.6	63.6	22.7	0.0	0.0
	認定こども園	8	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0
	事業所内保育施設	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	10	10.0	40.0	20.0	20.0	10.0
	その他	31	6.5	22.6	22.6	48.4	0.0

※: 網掛けは全体を上回る数値

利用している教育・保育サービス別にみると、幼稚園利用者は「9時台から」が約7割を占める。認可保育園利用者は「8時台から」「9時台から」が各4割台、「7時台以前から」が1割台となっている。

図表2-55 利用終了時間

		回答者数(人)	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	19時後まで	無回答
全 体		1,029	34.5	9.5	11.6	12.5	18.9	8.8	1.1	3.1
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	67.5	18.7	5.1	3.3	0.4	0.2	0.0	4.9
	幼稚園の預かり保育	52	38.5	15.4	7.7	26.9	1.9	1.9	0.0	7.7
	認可保育園	409	0.5	0.2	19.3	21.0	36.7	18.3	2.2	1.7
	保育ママ	16	0.0	0.0	18.8	31.3	50.0	0.0	0.0	0.0
	認証保育所	44	0.0	0.0	11.4	25.0	40.9	20.5	2.3	0.0
	認定こども園	8	0.0	12.5	12.5	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	事業所内保育施設	6	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	10	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0	10.0
	その他	31	54.8	6.5	6.5	6.5	16.1	6.5	3.2	0.0

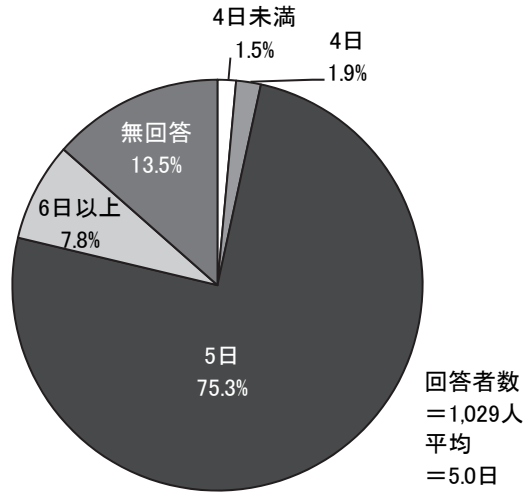
※:網掛けは全体を上回る数値

利用している教育・保育サービス別にみると、幼稚園利用者は「14時まで」が6割台を占め、次いで「15時まで」が2割弱となっている。認可保育園利用者は「18時まで」が3割台でもっとも多く、「17時まで」「16時まで」「19時まで」が約2割となっている。

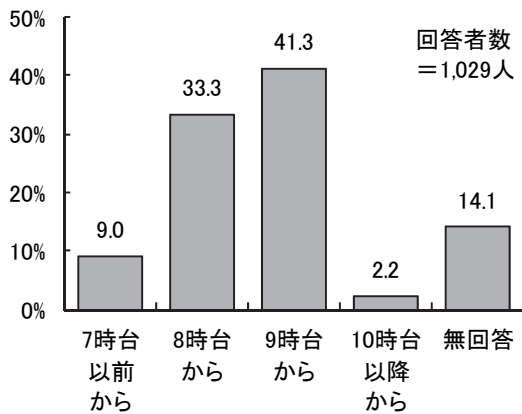
④教育・保育サービスの利用希望頻度

問11-2 平日に定期的に利用している教育・保育サービスについて、②希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれ1週間あたり何日、1日あたり何時～何時までをお答えください。
(数字を記入)

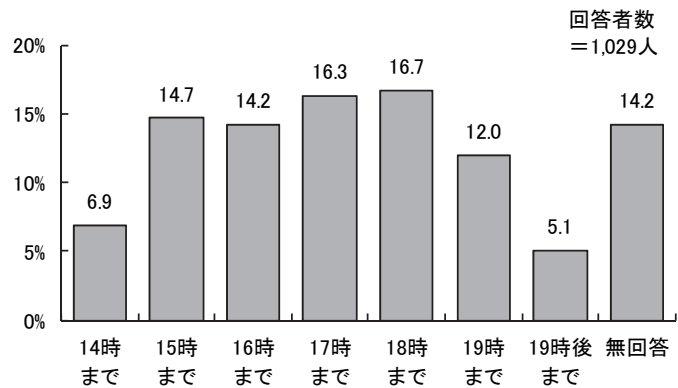
図表2-56 週あたり利用希望日数(単数回答)



図表2-57 希望開始時間(単数回答)



図表2-58 希望終了時間(単数回答)



週あたり利用希望日数は「5日」が75.3%であり、平均5.0日となっている。希望開始時間は「9時台から」41.3%、「8時台から」33.3%などとなっている。希望終了時間は「18時まで」16.7%、「17時まで」16.3%、「15時まで」14.7%、「16時まで」14.2%となっている。

図表2-59 希望開始時間

		回答者数(人)	7時台以前から	8時台から	9時台から	10時台以降から	無回答
全 体		1,029	9.0	33.3	41.3	2.2	14.1
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	0.8	24.0	52.2	3.0	19.9
	幼稚園の預かり保育	52	3.8	25.0	44.2	0.0	26.9
	認可保育園	409	18.3	41.1	33.7	0.0	6.8
	保育ママ	16	6.3	62.5	25.0	0.0	6.3
	認証保育所	44	15.9	56.8	20.5	0.0	6.8
	認定こども園	8	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0
	事業所内保育施設	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	10	10.0	40.0	0.0	20.0	30.0
	その他	31	9.7	22.6	25.8	22.6	19.4

※: 網掛けは全体を上回る数値

利用している教育・保育サービス別にみると、幼稚園利用者は「9時台から」が5割台、「8時台から」が2割台を占める。認可保育園利用者は「8時台から」が4割台、「9時台から」が3割台、「7時台以前から」が約2割となっている。

図表2-60 希望終了時間

		回答者数(人)	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	19時後まで	無回答
全 体		1,029	6.9	14.7	14.2	16.3	16.7	12.0	5.1	14.2
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	11.8	30.1	18.3	13.4	5.3	1.0	0.4	19.7
	幼稚園の預かり保育	52	3.8	19.2	7.7	23.1	15.4	3.8	0.0	26.9
	認可保育園	409	0.2	0.0	11.0	19.6	27.4	23.7	10.8	7.3
	保育ママ	16	0.0	0.0	12.5	25.0	25.0	31.3	0.0	6.3
	認証保育所	44	0.0	0.0	6.8	18.2	43.2	15.9	9.1	6.8
	認定こども園	8	0.0	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0
	事業所内保育施設	6	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	10	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	30.0
	その他	31	32.3	6.5	3.2	6.5	16.1	6.5	9.7	19.4

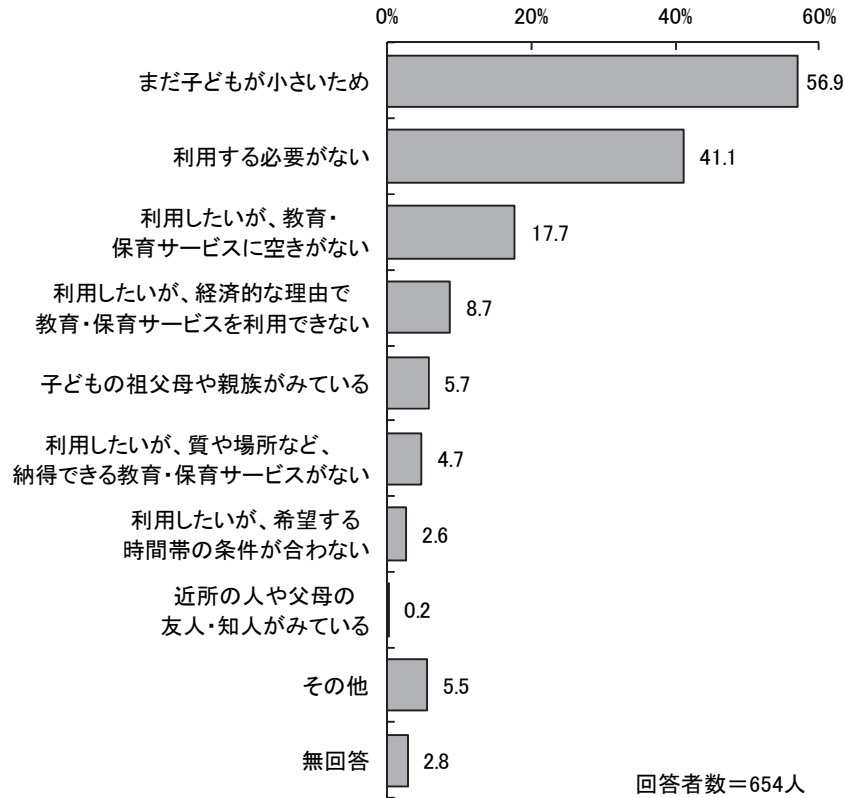
※:網掛けは全体を上回る数値

利用している教育・保育サービス別にみると、幼稚園利用者は「15時まで」30.1%、「16時まで」18.3%、「17時まで」13.4%の順となっている。認可保育園利用者は「18時まで」27.4%に次いで、「19時まで」23.7%、「17時まで」19.6%の順となっている。

⑤教育・保育サービスを利用していない理由

問13 問11で「2. 利用していない」に○をした方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由としてあてはまるものすべてに○をしてください。

図表2-61 教育・保育サービスを利用していない理由(複数回答)



図表2-62 教育・保育サービスの利用を開始したいと考える子どもの年齢

回答者数	372人
平均年齢	2.7歳

教育・保育サービスを利用していない人に理由をたずねたところ、「まだ子どもが小さいため」56.9%、「利用する必要がない」41.1%に次いで、「利用したいが、教育・保育サービスに空きがない」が17.7%となっている。

また、「まだ子どもが小さいため」と回答した人が教育・保育サービスの利用を開始したいと考える子どもの年齢は、平均2.7歳となっている。

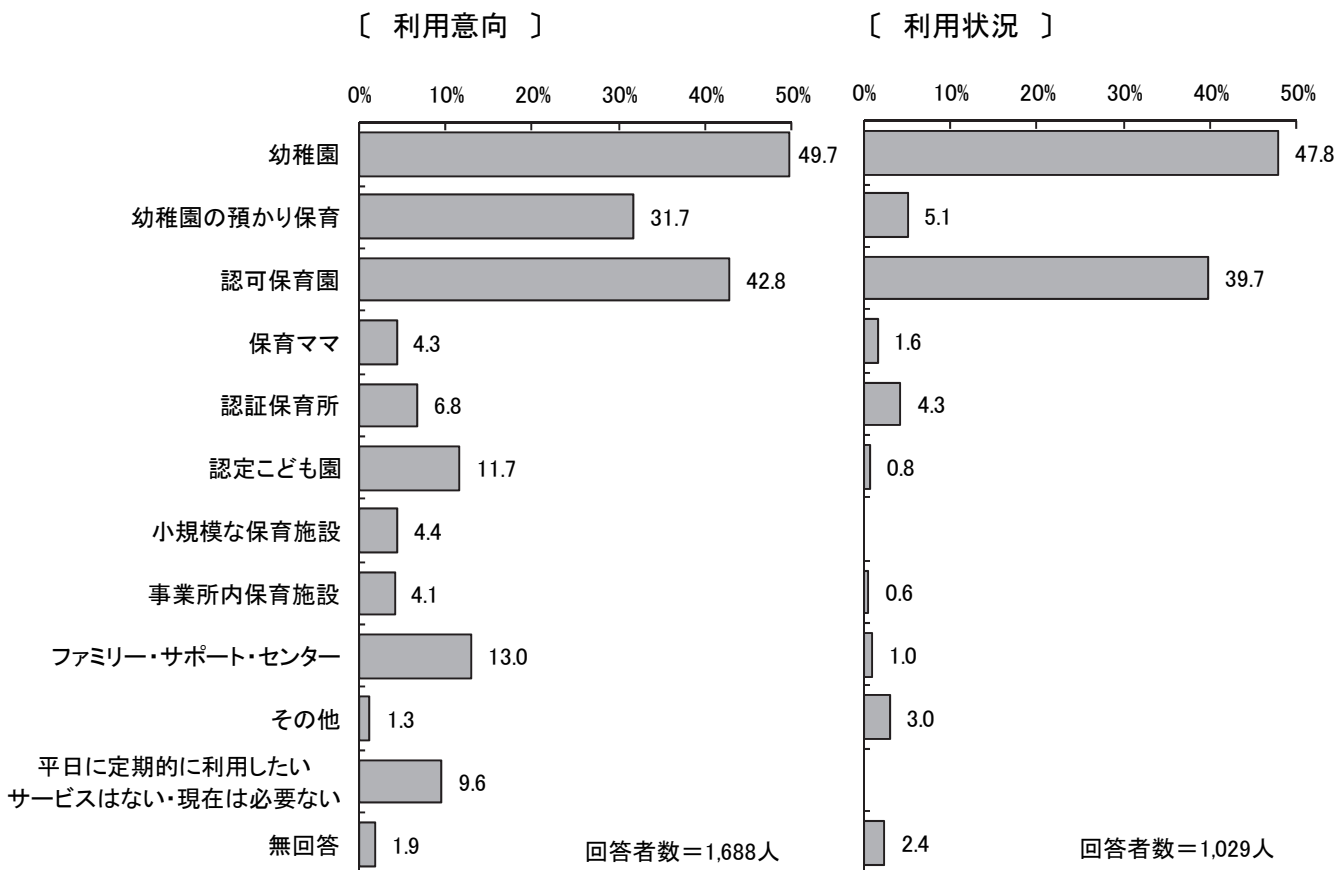
(2)教育・保育サービスの利用意向

①平日の定期的な教育・保育サービスの利用意向

問14 利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育サービスとして、現在、「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図表2-63 平日の定期的な教育・保育サービスの利用意向及び利用状況(複数回答)



平日の定期的な教育・保育サービスの利用意向は、「幼稚園」が49.7%、「認可保育園」が42.8%、「幼稚園の預かり保育」が31.7%、「認定こども園」が11.7%などとなっている。「平日に定期的に利用したいサービスはない・現在は必要ない」は9.6%と約1割であった。

平日利用している教育・保育サービスと比較すると、「幼稚園の預かり保育」を利用したい人が26.6ポイント増加し、利用意向が高まっている。また、「ファミリー・サポート・センター」が12.0ポイント、「認定こども園」が10.9ポイント、「認可保育園」が3.1ポイント増加している。

図表2-64 平日の定期的な教育・保育サービスの利用意向

		回答者数(人)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	保育ママ	認証保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	平日に定期的に利用したいサービスはない・現在は必要ない	無回答
全体		1,688	49.7	31.7	42.8	4.3	6.8	11.7	4.4	4.1	13.0	1.3	9.6	1.9
子どもの年齢別	0歳	369	35.0	19.2	52.6	11.1	13.6	13.8	6.8	5.4	11.4	0.8	17.1	1.1
	1歳	253	39.5	25.7	47.8	2.0	9.5	17.8	5.5	4.0	13.4	1.2	17.0	2.4
	2歳	271	52.8	32.5	43.5	3.7	7.4	14.4	4.8	4.1	14.0	1.5	7.0	1.1
	3歳	270	59.6	37.4	37.0	1.5	1.9	7.8	4.4	4.1	11.1	0.7	5.9	1.9
	4歳	255	52.5	38.4	44.3	2.0	3.1	8.2	2.0	3.1	16.1	2.4	3.9	2.4
	5歳	260	64.6	41.5	27.7	2.3	2.7	7.3	2.3	3.5	12.7	1.5	3.8	2.7
就労形態による家族類型別	ひとり親	52	25.0	21.2	76.9	1.9	5.8	11.5	9.6	1.9	21.2	1.9	5.8	0.0
	フルタイム共働き	416	14.9	17.3	81.0	7.7	11.3	14.7	4.1	6.3	14.4	1.0	3.8	1.4
	フルタイム・パート共働き	287	42.2	31.7	56.1	5.2	8.4	11.8	5.2	3.8	11.1	1.7	3.8	2.1
	専業主婦(夫)	884	70.1	39.3	19.1	2.4	4.3	10.3	4.0	3.4	12.1	1.4	14.3	1.8
	パートタイム共働き	4	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	9	55.6	22.2	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1
居住地域別	区民課	368	53.5	32.9	38.9	3.8	6.0	9.8	4.1	4.1	10.3	1.4	9.2	1.9
	小松川	126	36.5	24.6	46.8	7.1	7.1	10.3	3.2	3.2	13.5	0.8	13.5	2.4
	葛西北	231	47.6	32.5	44.6	2.6	8.7	10.4	5.2	2.6	14.3	1.7	10.8	1.3
	葛西南	393	52.7	34.1	42.2	4.3	6.1	13.0	3.6	4.8	12.7	0.8	9.4	1.0
	小岩	183	43.7	32.2	47.5	5.5	4.9	10.9	6.6	3.3	11.5	0.5	9.3	2.7
	東部	207	53.1	28.0	45.4	4.8	8.2	12.6	4.3	4.3	18.8	2.9	5.3	1.9
	鹿骨	149	49.0	32.9	40.9	3.4	7.4	15.4	4.7	5.4	10.7	1.3	10.7	3.4

※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、「認可保育園」希望者の割合は、0歳がもっとも高く5割台となっている。2歳以上では半数以上が「幼稚園」を希望している。また、「幼稚園の預かり保育」は、2～4歳の3割台、5歳の4割台が利用を希望している。

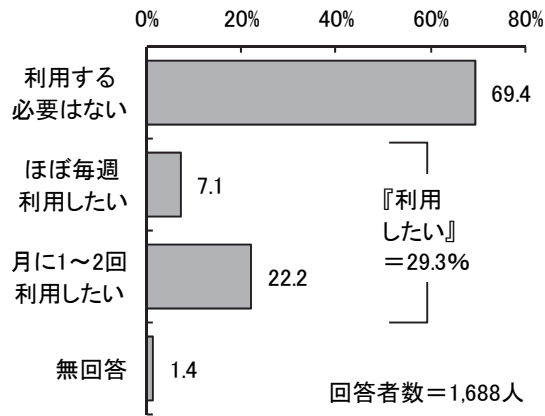
就労形態による家族類型別にみると、ひとり親家庭の7割台、フルタイム共働き家庭の8割台は「認可保育園」を希望している。専業主婦(夫)家庭では約7割が「幼稚園」となっている。

居住地域別にみると、区民課、葛西北、葛西南、東部及び鹿骨地域は「幼稚園」希望者の割合がもっとも高い。一方、小松川及び小岩地域は、「認可保育園」希望者の割合が、もっとも高くなっている。

②土曜日の定期的な教育・保育サービスの利用意向

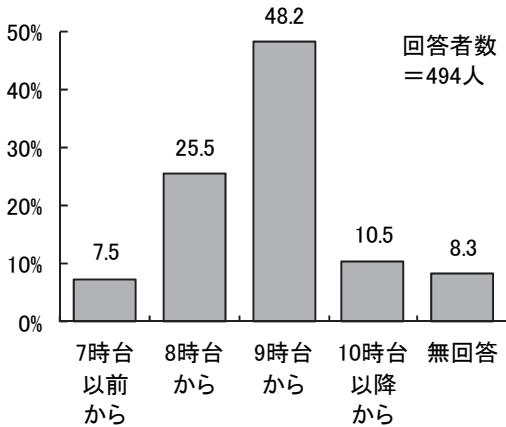
問15 あて名のお子さんについて、①土曜日、②日曜日・祝日に、定期的な教育・保育サービスの利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。それぞれ1つに○をし、希望がある場合は、利用したい時間帯を記入してください。

図表2-65 土曜日の定期的な教育・保育サービスの利用意向(単数回答)

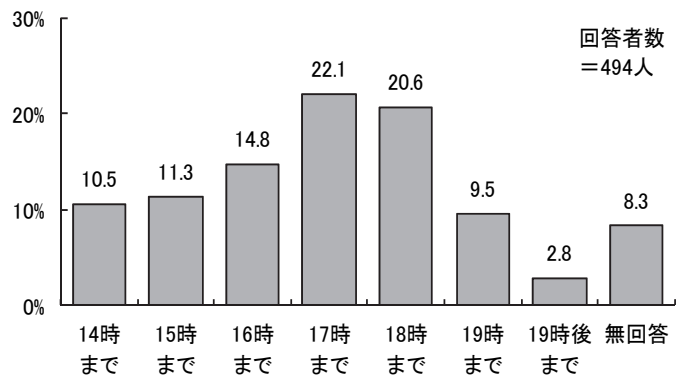


※:『利用したい』=「ほぼ毎週利用したい」+「月に1~2回利用したい」

図表2-66 希望開始時間(単数回答)



図表2-67 希望終了時間(単数回答)



土曜日の定期的な教育・保育サービスの利用意向は、「利用する必要はない」が69.4%であり、「ほぼ毎週利用したい」7.1%、「月に1~2回利用したい」22.2%を合わせた『利用したい』は29.3%となっている。

利用したいと回答した人の希望開始時間は「9時台から」48.2%、希望終了時間は「17時まで」22.1%がそれぞれもっとも高い。

図表2-68 土曜日の定期的な教育・保育サービスの利用意向

		回答者数(人)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	無回答	『利用したい』
全 体		1,688	69.4	7.1	22.2	1.4	29.3
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	74.8	3.3	20.7	1.2	24.0
	幼稚園の預かり保育	52	63.5	3.8	30.8	1.9	34.6
	認可保育園	409	49.9	14.4	34.2	1.5	48.6
	保育ママ	16	37.5	25.0	37.5	0.0	62.5
	認証保育所	44	70.5	4.5	25.0	0.0	29.5
	認定こども園	8	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	事業所内保育施設	6	33.3	16.7	50.0	0.0	66.7
	ファミリー・サポート・センター	10	50.0	10.0	30.0	10.0	40.0
	その他	31	64.5	12.9	22.6	0.0	35.5

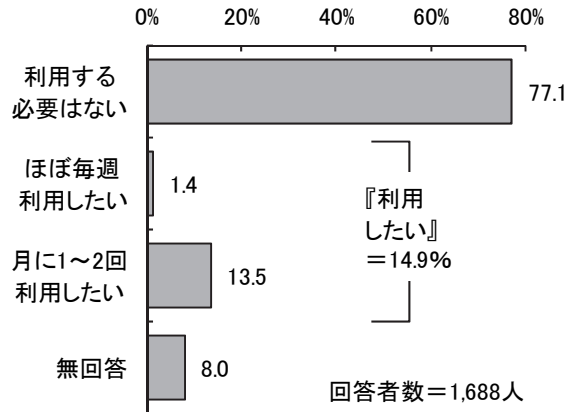
※:『利用したい』=「ほぼ毎週利用したい」+「月に1～2回利用したい」

※:網掛けは全体を上回る数値

利用している教育・保育サービス別にみると、幼稚園利用者の24.0%、認可保育園利用者の48.6%が『利用したい』と回答している。

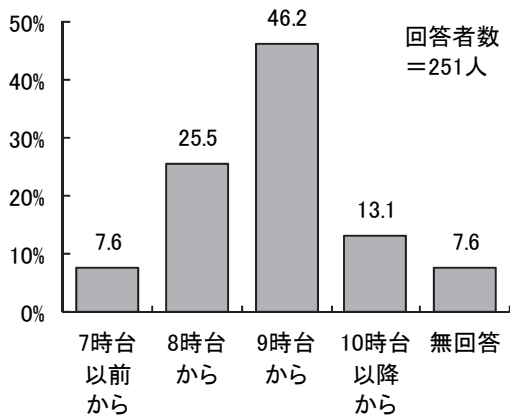
③日曜日・祝日の定期的な教育・保育サービスの利用意向

図表2-69 日曜日・祝日の定期的な教育・保育サービスの利用意向(単数回答)

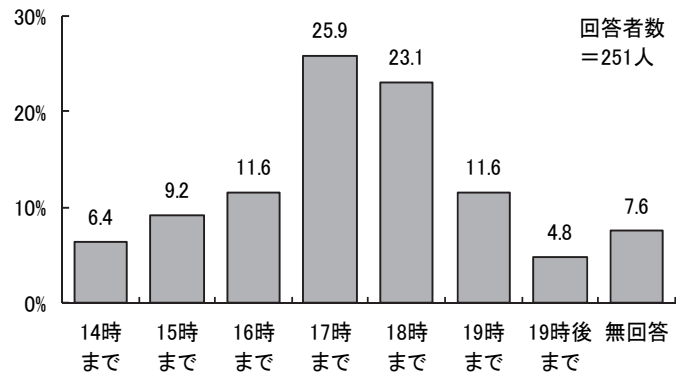


※:『利用したい』=「ほぼ毎週利用したい」+「月に1~2回利用したい」

図表2-70 希望開始時間(単数回答)



図表2-71 希望終了時間(単数回答)



日曜日の定期的な教育・保育サービスの利用意向は、「利用する必要はない」が77.1%であり、「ほぼ毎週利用したい」1.4%、「月に1~2回利用したい」13.5%をあわせた『利用したい』は14.9%となっている。

利用したいと回答した人の希望開始時間は「9時台から」46.2%、希望終了時間は「17時まで」25.9%がそれぞれもっとも高い。

図表2-72 日曜日・祝日の定期的な教育・保育サービスの利用意向

		回答者数(人)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	無回答	『利用したい』
全 体		1,688	77.1	1.4	13.5	8.0	14.9
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	81.1	0.6	10.2	8.1	10.8
	幼稚園の預かり保育	52	76.9	0.0	21.2	1.9	21.2
	認可保育園	409	67.2	2.4	24.0	6.4	26.4
	保育ママ	16	68.8	12.5	12.5	6.3	25.0
	認証保育所	44	77.3	2.3	9.1	11.4	11.4
	認定こども園	8	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	事業所内保育施設	6	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0
	ファミリー・サポート・センター	10	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	その他	31	67.7	0.0	19.4	12.9	19.4

※:『利用したい』=「ほぼ毎週利用したい」+「月に1～2回利用したい」

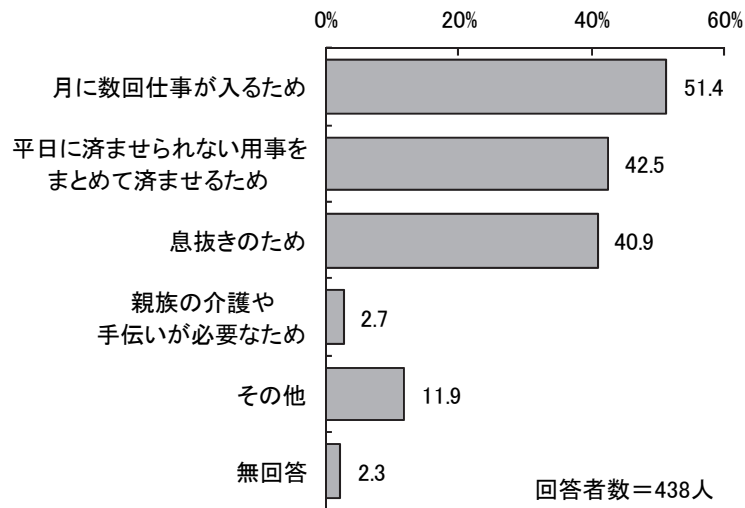
※:網掛けは全体を上回る数値

利用している教育・保育サービス別にみると、『利用したい』は幼稚園利用者の10.8%、認可保育園利用者の26.4%となっている。

④土・日・祝の教育・保育サービスをたまに利用したい理由

問15-1 ①もしくは②で、「3. 月に1～2回利用したい」に○をした方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-73 土・日・祝の教育・保育サービスをたまに利用したい理由(複数回答)

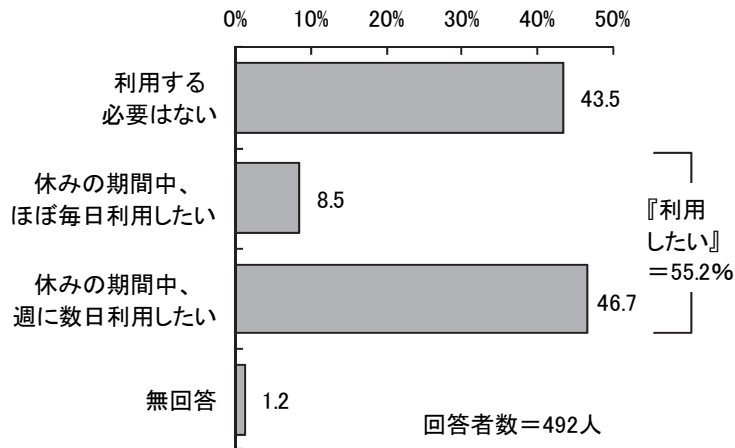


土曜日または日曜日・祝日に教育・保育サービスを月に1～2回利用したいと回答した人に、たまに利用したい理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」51.4%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」42.5%、「息抜きのため」40.9%などとなっている。

⑤ 幼稚園の長期休暇中の教育・保育サービスの利用意向

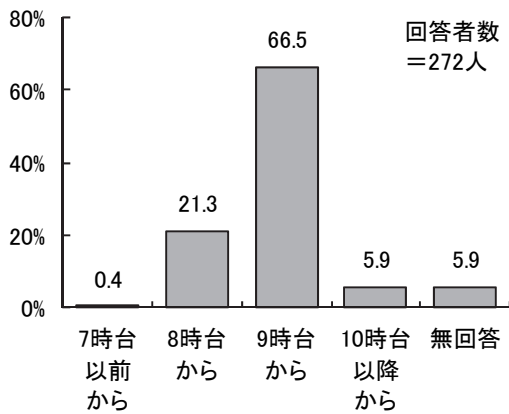
問16 「幼稚園」を利用している方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望はありますか。1つに○をし、希望がある場合は、利用したい時間帯を記入してください。

図表2-74 幼稚園の長期休暇中の教育・保育サービスの利用意向(単数回答)

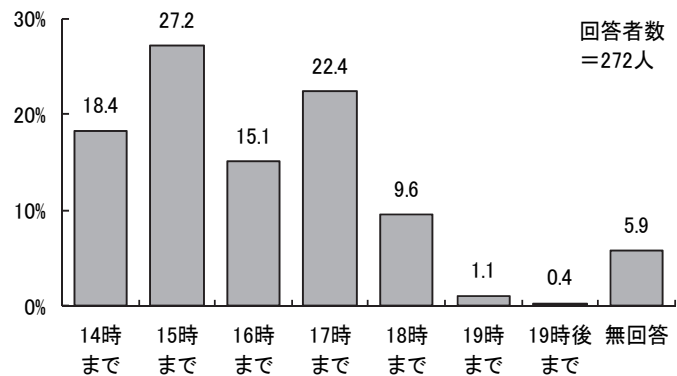


※:『利用したい』=「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」+「休みの期間中、週に数日利用したい」

図表2-75 希望開始時間(単数回答)



図表2-76 希望終了時間(単数回答)



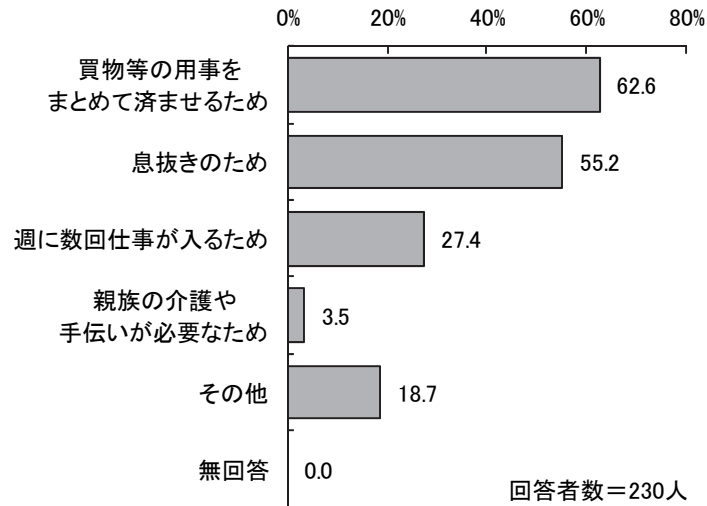
幼稚園の長期休暇中の教育・保育サービスの利用意向は、「利用する必要はない」は43.5%であり、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」8.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」46.7%をあわせた『利用したい』は55.2%となっている。

利用したいと回答した人の希望開始時間は「9時台から」66.5%、希望終了時間は「15時まで」27.2%がそれぞれもっとも高い。

⑥幼稚園長期休暇中に教育・保育サービスをたまに利用したい理由

問16-1「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をした方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-77 幼稚園長期休暇中に教育・保育サービスをたまに利用したい理由(複数回答)



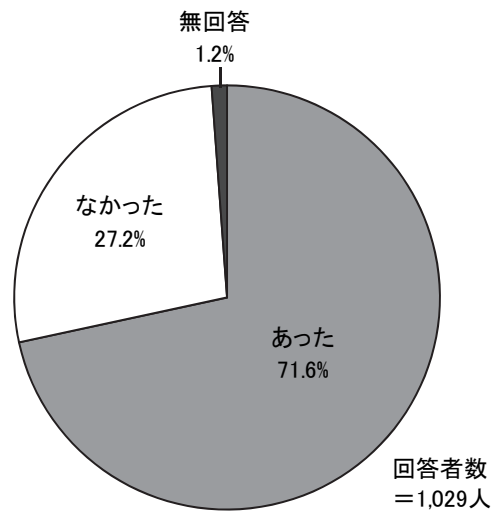
幼稚園の長期休暇中の教育・保育サービスを週に数日利用したいと回答した人に、たまに利用したい理由をたずねたところ、「買物等の用事をまとめて済ませるため」62.6%、「息抜きのため」55.2%、「週に数回仕事が入るため」27.4%などとなっている。

(3) 病児・病後児保育の利用状況と利用意向

① 病気等で教育・保育サービスを利用できなかった経験

問12 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで問11-1で○をした教育・保育サービスを利用できなかったことはありますか。(1つに○)

図表2-78 病気等で教育・保育サービスを利用できなかった経験(単数回答)



定期的な教育・保育サービスを利用している人に、病気やけがで教育・保育サービスを利用できなかった経験をたずねたところ、71.6%が「あった」と回答している。

図表2-79 病気等で教育・保育サービスを利用できなかった経験

		回答者数(人)	あった	なかった	無回答
全 体		1,029	71.6	27.2	1.2
子どもの年齢別	0 歳	46	76.1	21.7	2.2
	1 歳	88	83.0	15.9	1.1
	2 歳	124	78.2	21.0	0.8
	3 歳	258	74.0	26.0	0.0
	4 歳	249	71.5	27.3	1.2
	5 歳	256	61.3	36.3	2.3
就労形態による家族類型別	ひとり親	45	71.1	28.9	0.0
	フルタイム共働き	305	86.2	12.8	1.0
	フルタイム・パート共働き	246	76.4	22.8	0.8
	専業主婦(夫)	406	57.9	40.9	1.2
	パートタイム共働き	4	100.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	5	80.0	20.0	0.0
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	62.6	36.2	1.2
	幼稚園の預かり保育	52	76.9	23.1	0.0
	認可保育園	409	83.9	15.6	0.5
	保育ママ	16	68.8	25.0	6.3
	認証保育所	44	84.1	13.6	2.3
	認定こども園	8	62.5	37.5	0.0
	事業所内保育施設	6	66.7	33.3	0.0
	ファミリー・サポート・センター	10	60.0	40.0	0.0
	その他	31	54.8	45.2	0.0

※:網掛けは全体を上回る数値

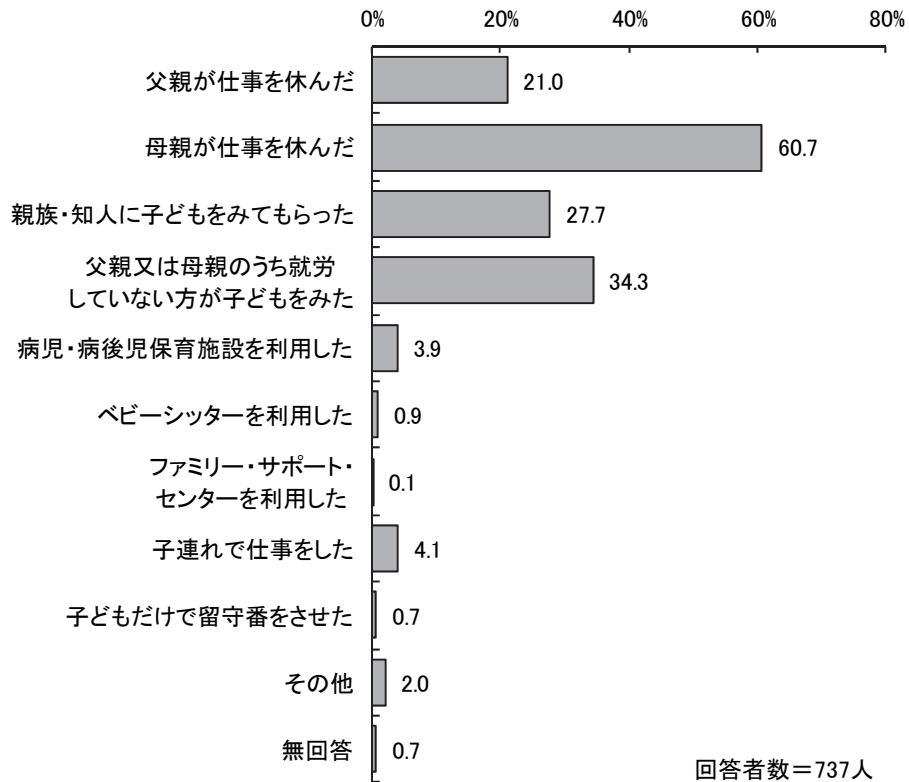
子どもの年齢別にみると、「あった」割合は、3～5歳に比べて0～2歳が高くなっている。

就労形態による家族類型別にみると、「あった」割合は、ひとり親家庭及びフルタイム・パート共働き家庭の7割台、フルタイム共働き家庭の8割台、専業主婦(夫)家庭の5割台となっている。

②病気等で教育・保育サービスを利用できなかった際の対処方法

問12-1「1. あった」に○をした方にうかがいます。その際、この1年間に行った対処方法として、あてはまるものすべてに○をし、それぞれの日数(おおよそ)を記入してください。

図表2-80 病気等で教育・保育サービスを利用できなかった際の対処方法(複数回答)



図表2-81 対処方法別の日数(年間)

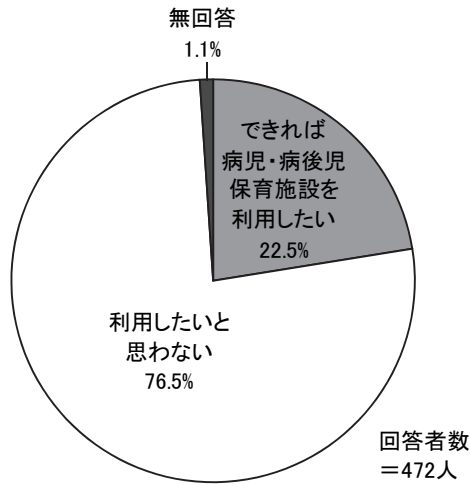
対処方法	回答者数	平均日数
父親が仕事を休んだ	155人	4.0日
母親が仕事を休んだ	447人	9.0日
親族・知人に子どもをみてもらった	204人	7.3日
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	253人	10.6日
病児・病後児保育施設を利用した	29人	5.6日
ベビーシッターを利用した	7人	4.9日
ファミリー・サポート・センターを利用した	1人	-
子連れで仕事をした	30人	4.3日
子どもだけで留守番をさせた	5人	2.8日
その他	15人	15.6日

あったと回答した人の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」60.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」34.3%、「親族・知人に子どもをみてもらった」27.7%、「父親が仕事を休んだ」21.0%などとなっており、「病児・病後児保育施設を利用した」は3.9%であった。

③病児・病後児保育施設の利用意向

問12-2 「1」または「2」に○をした方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と思いましたか。1つに○をし、希望がある場合は利用したい日数を記入してください。

図表2-82 病児・病後児保育施設の利用意向(単数回答)



図表2-83 年間利用希望日数

回答者数	106人
平均日数	7.1日

父親または母親が仕事を休んで対処した人に病児・病後児保育施設の利用意向をたずねたところ、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」が22.5%、「利用したいと思わない」が76.5%となっている。

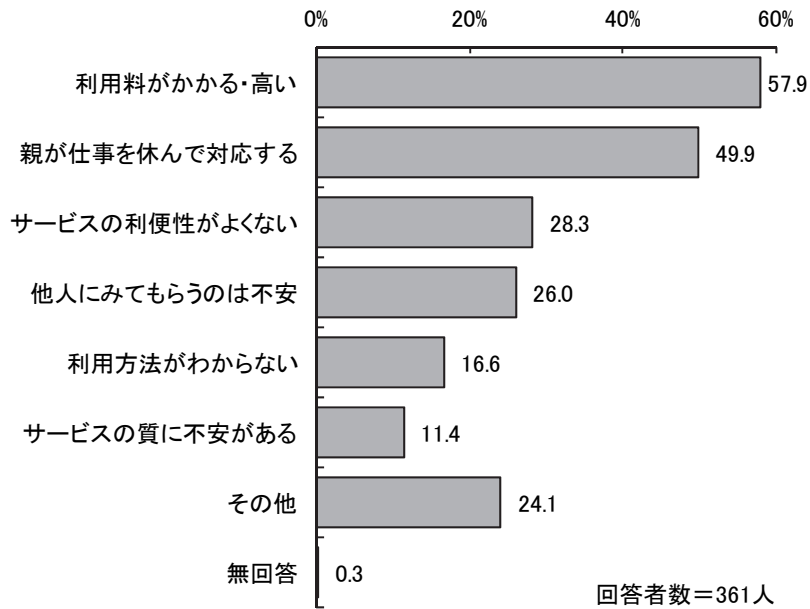
利用を希望する人の利用希望日数は、年間で平均7.1日となっている。

④病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由

問12-3 「2. 利用したいと思わない」に○をした方にうかがいます。そう思う理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

図表2-84 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由(複数回答)



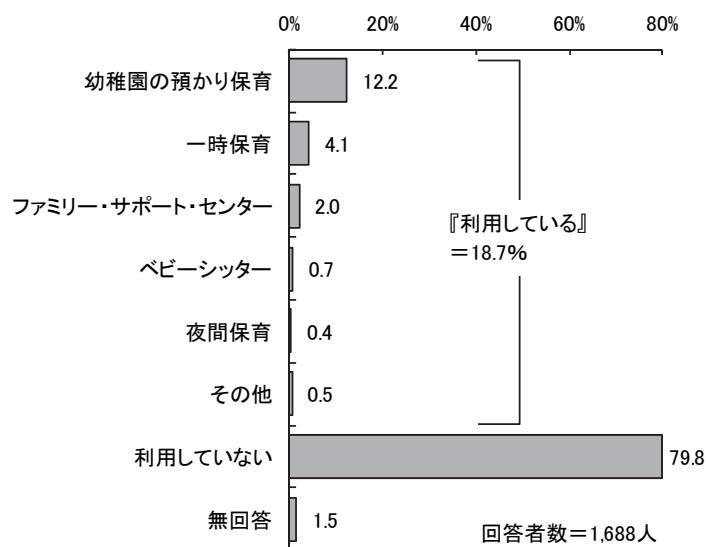
病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由は、「利用料がかかる・高い」57.9%がもっとも高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」49.9%、「サービスの利便性がよくない」28.3%などとなっている。

(4) 不特定の教育・保育サービスの利用状況と利用意向

① 不特定の教育・保育サービスの利用状況

問17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用しているサービスはありますか。ある場合は、あてはまるものすべてに○をし、それぞれの1年間の利用日数(おおよそ)も記入してください。

図表2-85 不特定の教育・保育サービスの利用状況(複数回答)



※:『利用している』=100%−「利用していない」−「無回答」

図表2-86 利用サービス別の利用日数(年間)

	回答者数	平均日数
幼稚園の預かり保育	206人	13.4日
一時保育	70人	13.9日
ファミリー・サポート・センター	34人	14.8日
ベビーシッター	12人	7.7日
夜間保育	7人	7.4日
その他	8人	8.6日

不特定の教育・保育サービスの利用状況は、「利用していない」が79.8%を占め、『利用している』(100%から「利用していない」と「無回答」を除いた割合)は18.7%、2割弱となっている。

利用しているサービスは、「幼稚園の預かり保育」が12.2%、「一時保育」が4.1%、「ファミリー・サポート・センター」が2.0%などとなっている。

図表2-87 不定期の教育・保育サービスの利用状況

		回答者数(人)	一時保育	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間保育	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答	『利用している』
全 体		1,688	4.1	12.2	2.0	0.4	0.7	0.5	79.8	1.5	18.7
子どもの年齢別	0歳	369	3.5	0.0	1.9	0.0	0.3	0.5	91.9	2.2	5.9
	1歳	253	5.5	0.0	2.0	0.0	0.8	0.0	91.3	0.4	8.3
	2歳	271	8.5	1.8	2.6	1.5	1.1	0.4	84.9	1.5	13.6
	3歳	270	2.6	17.0	2.2	0.4	0.0	1.1	76.3	2.2	21.5
	4歳	255	2.4	25.5	2.7	0.8	2.4	0.0	67.1	0.8	32.1
	5歳	260	2.7	34.2	0.8	0.0	0.0	0.8	61.9	1.9	36.2
サービスの利用状況別	利用している	1,029	3.0	19.6	2.5	0.7	0.7	0.8	73.1	1.6	25.3
	利用していない	654	6.0	0.6	1.2	0.0	0.8	0.0	90.4	1.4	8.2
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	2.4	40.7	1.4	0.2	0.2	0.0	56.5	1.0	42.5
	幼稚園の預かり保育	52	5.8	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.2	1.9	53.9
	認可保育園	409	2.0	0.0	3.2	1.0	1.2	0.5	91.2	2.0	6.8
	保育ママ	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	認証保育所	44	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	81.8	0.0	18.2
	認定こども園	8	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0	37.5
	事業所内保育施設	6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
	ファミリー・サポート・センター	10	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	60.0
	その他	31	9.7	3.2	6.5	3.2	3.2	6.5	77.4	0.0	22.6

※:『利用している』=100%−「利用していない」−「無回答」

※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、『利用している』は子どもの年齢が高いほど高くなっている。3歳の1割台、4歳の2割台、5歳の3割台が「幼稚園の預かり保育」を利用していると回答している。

教育・保育サービスの利用状況別にみると、『利用している』は教育・保育サービスを利用している人の25.3%を占める。そのうち、「幼稚園の預かり保育」が19.6%ともっとも多い。教育・保育サービスを利用していない人では『利用している』は8.2%であり、「一時保育」が6.0%などとなっている。

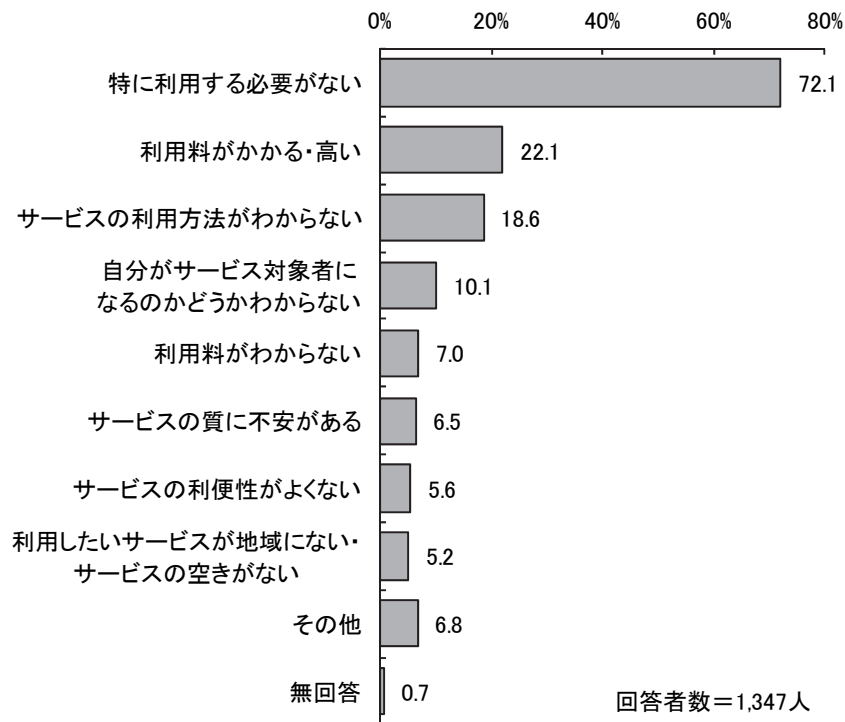
利用している教育・保育サービス別にみると、幼稚園利用者は「幼稚園の預かり保育」の利用が約4割となっている。認可保育園利用者は9割台が「利用していない」と回答している。

②不定期の教育・保育サービスを利用していない理由

問17-1 「7. 利用していない」に○をした方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

図表2-88 不定期の教育・保育サービスを利用していない理由(複数回答)

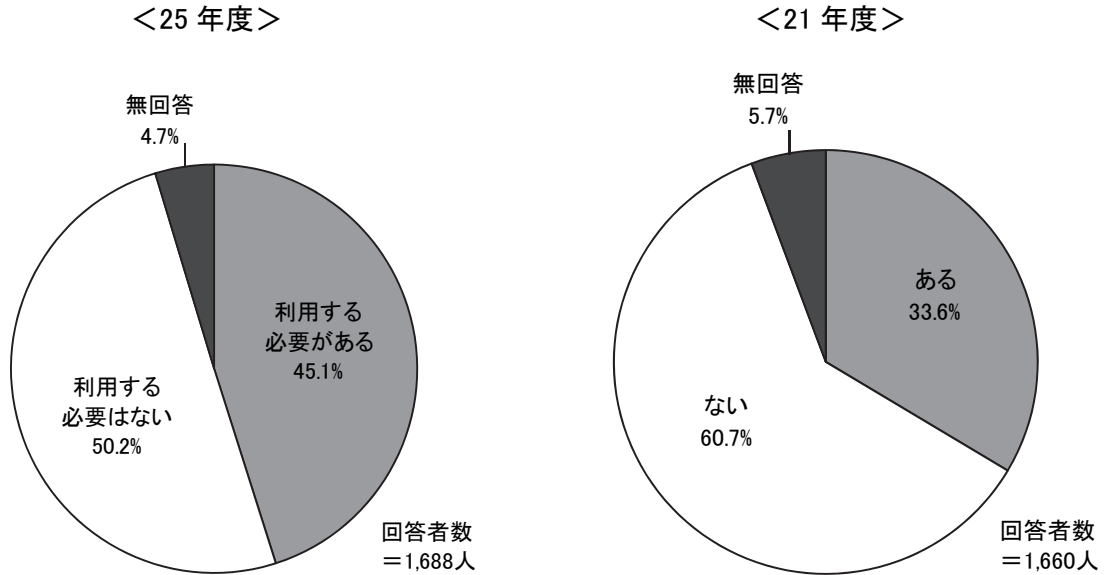


利用していないと回答した人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない」が72.1%ともっとも高い。次いで、「利用料がかかる・高い」22.1%、「サービスの利用方法がわからない」18.6%、「自分がサービス対象者になるのかわからない」10.1%などとなっている。

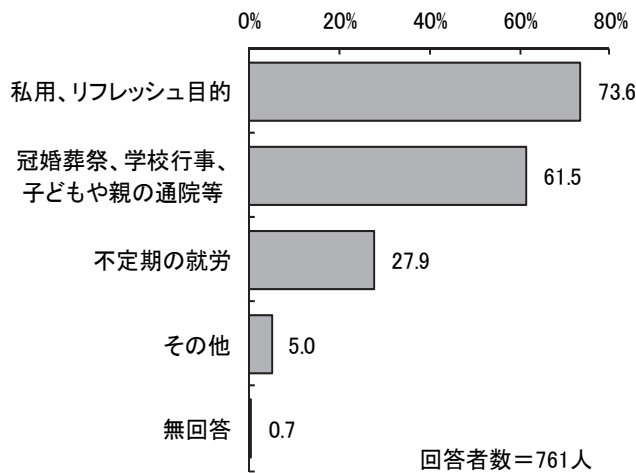
③不定期の教育・保育サービスの利用意向

問18 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。1つに○をし、ある場合は、あてはまるものすべてに必要な日数とその合計を記入してください。

図表2-89 不定期の教育・保育サービスの利用意向(単数回答) 前回調査との比較



図表2-90 利用希望目的(複数回答)



不定期の教育・保育サービスの利用意向をみると、「利用する必要がある」は45.1%を占める。前回調査と比較すると、「利用する必要がある」(前回調査「ある」)が11.5ポイント増加している。

利用希望目的は、「私用、リフレッシュ目的」が73.6%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が61.5%、「不定期の就労」が27.9%となっている。

図表2-91 目的別の利用希望日数(年間)

	回答者数	平均日数
私用、リフレッシュ目的	560 人	13.2 日
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	468 人	8.0 日
不定期の就労	212 人	20.1 日
その他	38 人	17.1 日
合 計	756 人	21.3 日

図表2-92 不定期の教育・保育サービスの利用意向

		回答者数(人)	利用する必要がある	利用する必要はない	無回答
全 体		1,688	45.1	50.2	4.7
子どもの年齢別	0 歳	369	40.1	56.6	3.3
	1 歳	253	43.9	52.6	3.6
	2 歳	271	42.1	51.3	6.6
	3 歳	270	43.0	51.5	5.6
	4 歳	255	57.3	39.2	3.5
	5 歳	260	47.7	46.5	5.8
サービスの利用状況別	利用している	1,029	47.7	47.2	5.1
	利用していない	654	40.8	55.0	4.1
利用している教育・保育サービス別	幼稚園	492	54.3	41.7	4.1
	幼稚園の預かり保育	52	59.6	30.8	9.6
	認可保育園	409	39.4	54.3	6.4
	保育ママ	16	37.5	56.3	6.3
	認証保育所	44	40.9	56.8	2.3
	認定こども園	8	62.5	37.5	0.0
	事業所内保育施設	6	83.3	16.7	0.0
	ファミリー・サポート・センター	10	60.0	30.0	10.0
	その他	31	61.3	38.7	0.0

子どもの年齢別にみると、「利用する必要がある」割合は子どもの年齢が高い層に高く、4歳で57.3%、5歳では47.7%となっている。

教育・保育サービスの利用状況別にみると、「利用する必要がある」は教育・保育サービスを利用している人の47.7%、利用していない人の40.8%となっている。

利用している教育・保育サービス別にみると、「利用する必要がある」は、幼稚園利用者の5割台、認可保育園利用者の約4割となっている。

※: 網掛けは全体を上回る数値

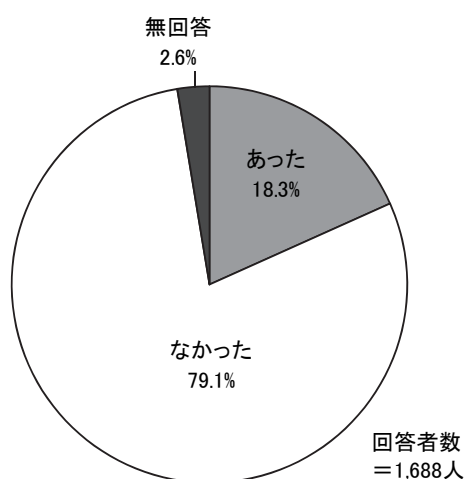
(5) 宿泊付き保育サービスの利用状況

① 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験と日数

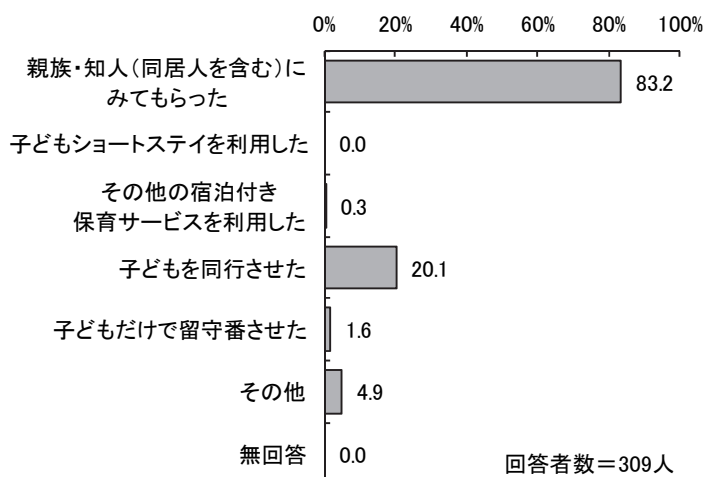
問19 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(1つに○)

問19-1 「1. あった」に○をした方にうかがいます。この1年間の対処方法としてあてはまるものすべてに○をし、それぞれの日数(おおよそ)も記入してください。

図表2-93 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験(単数回答)



図表2-94 その際の対処方法(複数回答)



図表2-95 対処方法別の日数(年間)

対処方法	回答者数	平均日数
親族・知人(同居人を含む)にみてもらった	257人	8.3日
子どもショートステイを利用した	0人	—
その他の宿泊付き保育サービスを利用した	1人	10.0日
子どもを同行させた	62人	4.3日
子どもだけで留守番させた	5人	7.3日
その他	15人	3.9日

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験が「あった」は18.3%と2割弱となっている。

あったと回答した人の対処方法は、「親族・知人(同居人を含む)にみてもらった」83.2%のほか、「子どもを同行させた」が20.1%、「子どもだけで留守番させた」1.6%であり、「子どもショートステイを利用した」は0.0%、「その他の宿泊付き保育サービスを利用した」は0.3%であった。

図表2-96 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験

		回答者数(人)	あった	なかった	無回答
全 体		1,688	18.3	79.1	2.6
子どもの年齢別	0歳	369	11.4	85.9	2.7
	1歳	253	19.0	78.3	2.8
	2歳	271	19.6	77.5	3.0
	3歳	270	20.7	75.9	3.3
	4歳	255	23.9	74.1	2.0
	5歳	260	18.1	80.0	1.9
サービスの利用状況別	利用している	1,029	20.5	77.1	2.4
	利用していない	654	15.0	82.1	2.9

※:網掛けは全体を上回る数値

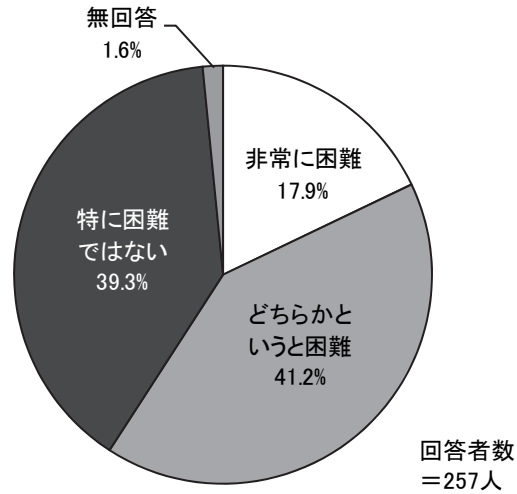
子どもの年齢別にみると、「あった」は3・4歳で2割台と、他の年齢に比べて高い割合となっている。

教育・保育サービスの利用状況別にみると、「あった」は利用している人の20.5%、利用していない人の15.0%となっている。

②親族・知人にみてもらう困難度

問19-2 「1. 親族・知人(同居人を含む)にみてもらった」に○をした方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

図表2-97 親族・知人にみてもらう困難度(単数回答)



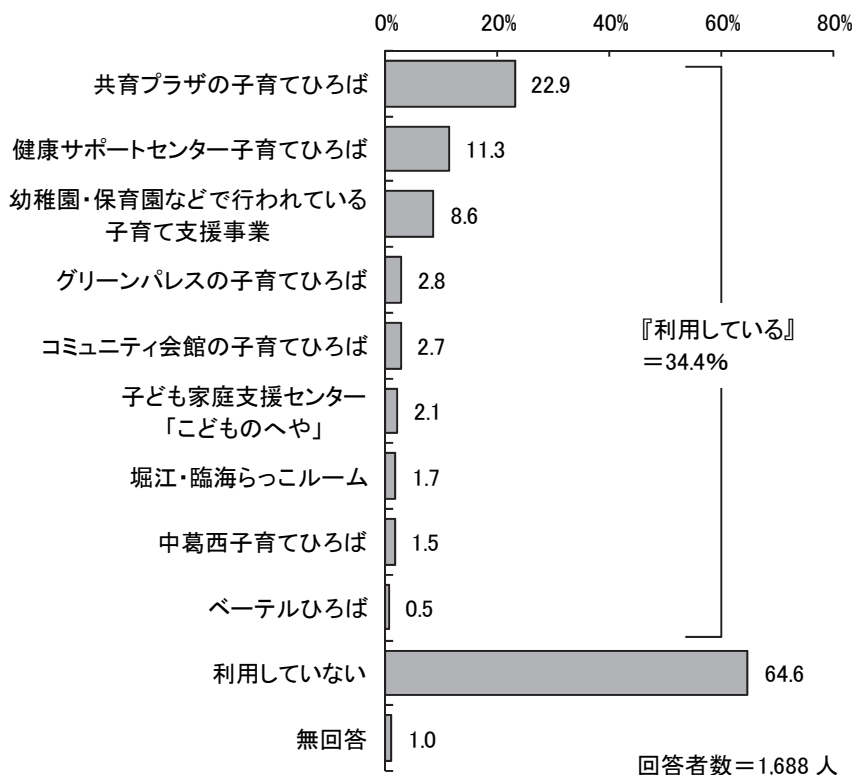
親族・知人(同居人を含む)にみてもらった人に、その困難度をたずねたところ、「非常に困難」17.9%、「どちらかという困難」41.2%であり、「特に困難ではない」は39.3%となっている。

(6)子育てひろばの利用状況と利用意向

①子育てひろばの利用状況

問20 あて名のお子さんは、現在、江戸川区内で実施されている以下の子育てひろばを利用していますか。(利用している子育てひろばすべてに○)

図表2-98 子育てひろばの利用状況(複数回答)



※:『利用している』=100%-「利用していない」-「無回答」

子育てひろばの利用状況を見ると、「利用していない」は64.6%であり、34.4%が『利用している』(100%から「利用していない」と「無回答」を除いた割合)と回答している。利用しているひろばは、「共育プラザの子育てひろば」が22.9%、「健康サポートセンター子育てひろば」が11.3%、「幼稚園・保育園などで行われている子育て支援事業」が8.6%などとなっている。

図表2-99 子育てひろばの利用状況

		回答者数(人)	子育てひろば	健康サポートセンター子育てひろば	幼稚園・保育園などで行われている子育て支援事業	グリーンパレスの子育てひろば	コミュニティ会館の子育てひろば	「こどもへのや」	子ども家庭支援センター	堀江・臨海らっこルーム	中葛西子育てひろば	ベータひろば	利用していない	無回答	『利用している』
全体		1,688	22.9	11.3	8.6	2.8	2.7	2.1	1.7	1.5	0.5	64.6	1.0	34.4	
子どもの年齢別	0歳	369	31.4	23.3	6.5	4.1	3.8	3.8	2.2	2.7	0.3	49.1	1.1	49.8	
	1歳	253	37.2	18.2	14.2	2.8	3.2	3.6	2.8	1.2	1.6	49.0	1.2	49.8	
	2歳	271	27.3	10.0	15.5	3.0	2.6	1.8	2.6	0.4	0.4	58.3	0.7	41.0	
	3歳	270	16.3	4.1	5.9	1.9	1.5	1.1	1.1	2.6	0.0	75.6	0.7	23.7	
	4歳	255	11.0	5.5	6.7	2.7	2.7	0.8	1.2	1.6	0.8	78.4	0.8	20.8	
	5歳	260	10.8	1.9	3.8	1.9	1.9	0.4	0.4	0.4	0.4	83.8	1.5	14.7	
就労形態による家族類型別	ひとり親	52	13.5	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6	0.0	15.4	
	フルタイム共働き	416	17.8	10.3	4.6	2.9	2.2	2.4	1.2	0.7	0.2	72.1	1.0	26.9	
	フルタイム・パート共働き	287	16.0	5.9	3.1	1.7	2.4	1.0	1.0	1.4	0.0	76.3	1.7	22.0	
	専業主婦(夫)	884	27.9	14.4	12.7	3.3	3.1	2.5	2.4	2.1	0.9	56.1	0.8	43.1	
	パートタイム共働き	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	
	夫婦とも無業	9	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0	22.2	
居住地域別	区民課地域	368	20.4	6.3	10.1	9.8	3.0	3.5	0.0	0.5	0.0	63.3	1.9	34.8	
	小松川地域	126	21.4	7.9	10.3	2.4	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	67.5	0.8	31.7	
	葛西北地域	231	26.8	13.4	9.5	0.9	1.7	8.7	0.9	5.6	0.4	61.0	0.9	38.1	
	葛西南地域	393	12.0	16.5	4.3	0.0	1.3	0.0	6.4	2.5	2.0	70.5	0.8	28.7	
	小岩地域	183	35.0	8.7	10.4	2.7	7.7	0.0	0.0	0.5	0.0	57.4	1.6	41.0	
	東部地域	207	33.3	10.1	9.7	0.0	2.9	0.5	0.0	0.0	0.0	61.8	0.0	38.2	
	鹿骨地域	149	23.5	12.1	11.4	0.7	2.0	0.7	0.0	0.0	0.0	68.5	0.7	30.8	
サービスの利用状況別	利用している	1,029	15.4	4.8	5.0	1.7	2.0	1.0	1.0	1.2	0.3	77.1	1.0	21.9	
	利用していない	654	34.9	21.6	14.4	4.4	3.7	3.8	2.9	2.1	0.9	45.0	1.1	53.9	

※:『利用している』=100%−「利用していない」−「無回答」

※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、『利用している』は年齢層が低いほど高く、0・1歳の約5割、2歳の4割台、3・4歳の2割台、5歳の1割台となっている。

就労形態による家族類型別にみると、『利用している』は専業主婦(夫)家庭では4割台、フルタイム共働き、フルタイム・パート共働き家庭では2割台となっている。

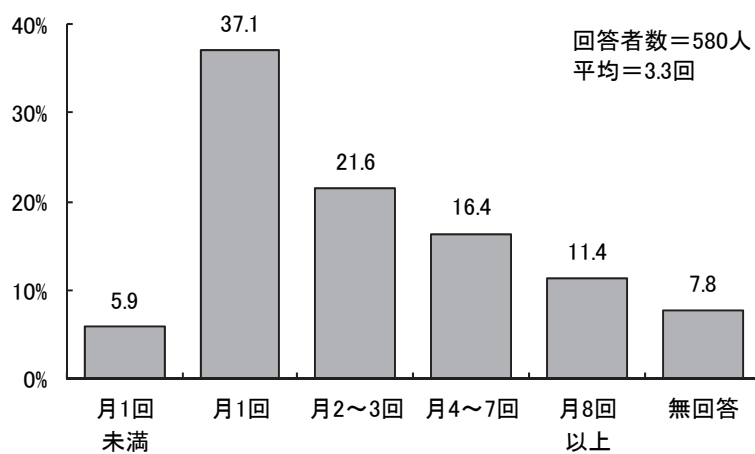
居住地域別にみると、『利用している』は小岩地域で4割台と、他の地域に比べて高い割合となっている。

教育・保育サービスの利用状況別にみると、『利用している』は、教育・保育サービスを利用している人の2割台に対し、利用していない人では5割台となっている。

②子育てひろばの利用頻度

問20-1「1～9」に○をした方にうかがいます。子育てひろばの利用頻度はどのくらいですか。「1～9」をあわせた、おおよその利用回数(頻度)を記入してください。

図表2-100 子育てひろばの月あたり利用回数(頻度)(単数回答)

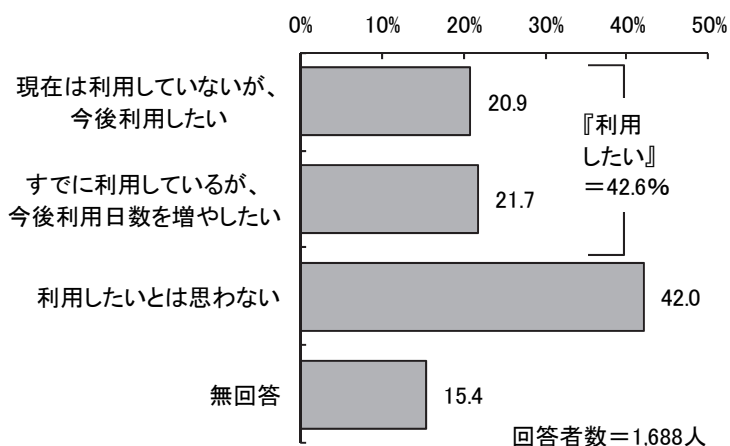


利用している人の月あたりの利用回数(頻度)は、「月1回」37.1%、「月2～3回」21.6%の順であり、平均3.3回となっている。

③子育てひろばの利用意向

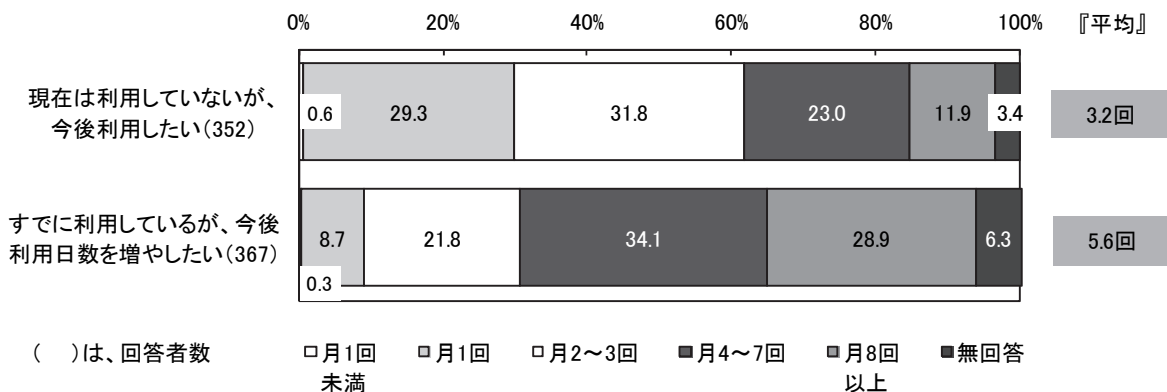
問21 問20の子育てひろばについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。1つに○をして、希望がある場合はおおよその利用回数(頻度)を記入してください。

図表2-101 子育てひろばの利用意向(単数回答)



※:『利用したい』=「現在は利用していないが、今後利用したい」+「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」

図表2-102 子育てひろばの月あたり利用希望回数(頻度)(単数回答)



子育てひろばの利用意向は、「現在は利用していないが、今後利用したい」20.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」21.7%をあわせた42.6%が『利用したい』と回答しており、「利用したいとは思わない」は42.0%であった。

現在は利用していないが、今後利用したいと回答した人の月あたり利用希望回数は、「月2~3回」31.8%がもっとも高く、平均3.2回となっている。また、「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」と回答した人の月あたり希望回数は、「月4~7回」34.1%がもっとも高く、平均5.6回となっている。

図表2-103 子育てひろばの利用意向

		回答者数(人)	現在 は利用 してい ないが、 今後利 用し たい	す でに利 用して いるが、 今後利 用日 数を増 やした い	利用 したい とは思 わない	無 回 答	『利 用し たい』
全 体		1,688	20.9	21.7	42.0	15.4	42.6
子 ど も の 年 齢 別	0 歳	369	30.4	38.2	18.2	13.3	68.6
	1 歳	253	19.4	31.6	28.9	20.2	51.0
	2 歳	271	19.2	22.9	37.3	20.7	42.1
	3 歳	270	17.8	11.1	58.1	13.0	28.9
	4 歳	255	17.3	11.8	59.2	11.8	29.1
	5 歳	260	17.7	8.1	60.8	13.5	25.8
就 労 形 態 に よ る 家 族 類 型 別	ひとり親	52	23.1	5.8	57.7	13.5	28.9
	フルタイム共働き	416	24.8	16.8	41.3	17.1	41.6
	フルタイム・パート共働き	287	20.6	13.2	51.2	15.0	33.8
	専業主婦(夫)	884	19.0	27.9	38.8	14.3	46.9
	パートタイム共働き	4	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0
	夫婦とも無業	9	22.2	0.0	44.4	33.3	22.2
居 住 地 域 別	区民課地域	368	18.5	22.8	42.9	15.8	41.3
	小松川地域	126	19.8	19.8	42.9	17.5	39.6
	葛西北地域	231	22.9	22.5	36.8	17.7	45.4
	葛西南地域	393	21.9	18.3	44.3	15.5	40.2
	小岩地域	183	20.8	26.8	39.3	13.1	47.6
	東部地域	207	20.8	22.2	43.5	13.5	43.0
	鹿骨地域	149	24.2	21.5	44.3	10.1	45.7
利 用 状 況 別	利用している	1,029	18.9	11.9	54.8	14.5	30.8
	利用していない	654	23.9	37.3	22.0	16.8	61.2

※:『利用したい』=「現在
は利用
してい
ないが、
今後利
用し
たい」+「す
でに利
用して
いるが、
今後利
用日
数を増
やした
い」

※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、『利用したい』割合は年齢が低いほど高く、0歳は6割台、1歳は5割台、2歳は4割台、3～5歳は2割台となっている。

就労形態による家族類型別にみると、『利用したい』は、専業主婦(夫)家庭が46.9%、フルタイム共働き家庭が41.6%、フルタイム・パート共働き家庭が33.8%、ひとり親家庭が28.9%となっている。

居住地域別にみると、『利用したい』割合は、他に比べて小岩地域及び鹿骨地域、葛西北地域において高くなっている。

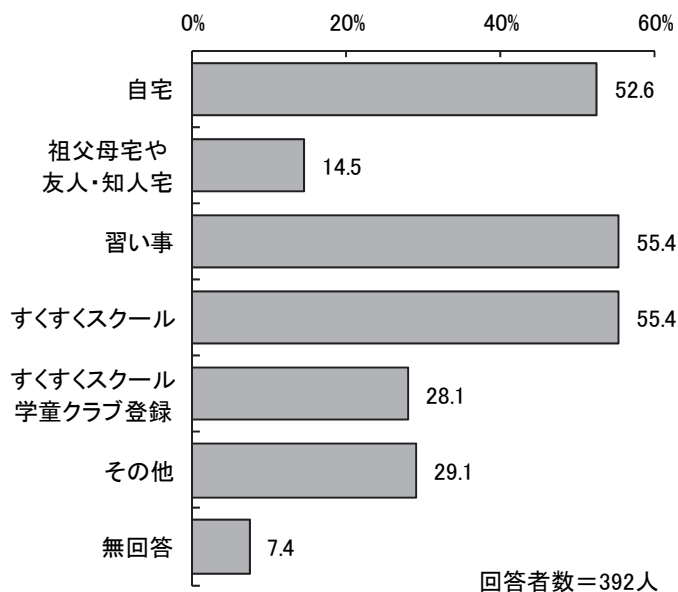
教育・保育サービスの利用状況別にみると、利用している人の30.8%、利用していない人では61.2%が『利用したい』と回答している。

(7) 学童クラブの利用意向

① 小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望

問22 あて名のお子さんが5歳以上の方にうかがいます。あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をし、それぞれ希望する週あたり日数を記入してください。「すくすくスクール学童クラブ登録」に○をした方は、利用する希望時間も記入してください。

図表2-104 小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答）

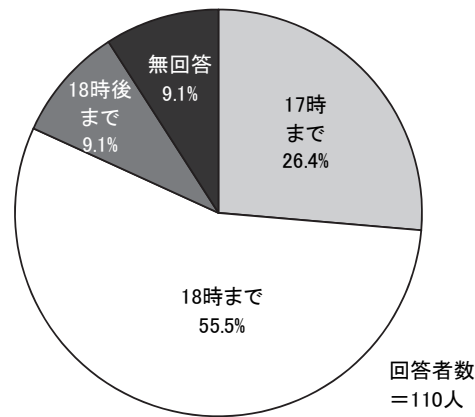


図表2-105 過ごし方別の週あたり日数

過ごし方	回答者数	平均日数
自宅	206 人	2.7 日
祖父母宅や友人・知人宅	57 人	1.6 日
習い事	217 人	2.0 日
すくすくスクール	217 人	2.6 日
すくすくスクール学童クラブ登録	110 人	4.4 日
その他	114 人	2.0 日

調査対象である子どもが5歳以上の人に小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望をたずねたところ、「習い事」「すくすくスクール」が各55.4%、「自宅」が52.6%、「すくすくスクール学童クラブ登録」が28.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」が14.5%となっている。

図表2-106 すくすくスクール学童クラブの利用希望時間(単数回答)



すくすくスクール学童クラブ登録希望者の利用希望時間は、「18時まで」が55.5%と過半数を占め、次いで「17時まで」が26.4%、「18時後まで」が9.1%となっている。

図表2-107 小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望

		回答者数(人)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	すくすくスクール	すくすくスクール学童クラブ登録	その他	無回答
全体		392	52.6	14.5	55.4	55.4	28.1	29.1	7.4
就労形態による家族類型別	ひとり親	14	28.6	7.1	35.7	28.6	57.1	0.0	7.1
	フルタイム共働き	64	18.8	12.5	37.5	28.1	75.0	7.8	1.6
	フルタイム・パート共働き	93	43.0	16.1	41.9	49.5	41.9	19.4	8.6
	専業主婦(夫)	207	68.6	15.5	69.6	69.1	5.3	42.0	8.2
	パートタイム共働き	2	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	2	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0

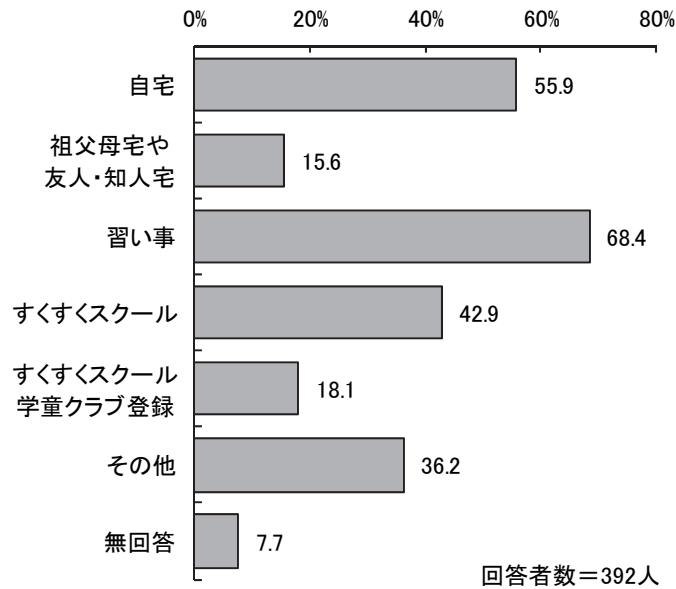
※:網掛けは全体を上回る数値

就労形態による家族類型別にみると、「すくすくスクール学童クラブ登録」は、フルタイム共働き家庭の75.0%、ひとり親家庭の57.1%、フルタイム・パート共働き家庭の41.9%が利用を希望している。

②小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望

問23 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をし、それぞれ希望する週あたり日数を記入してください。「すくすくスクール学童クラブ登録」に○をした方は、利用する希望時間も記入してください。

図表2-108 小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望(複数回答)

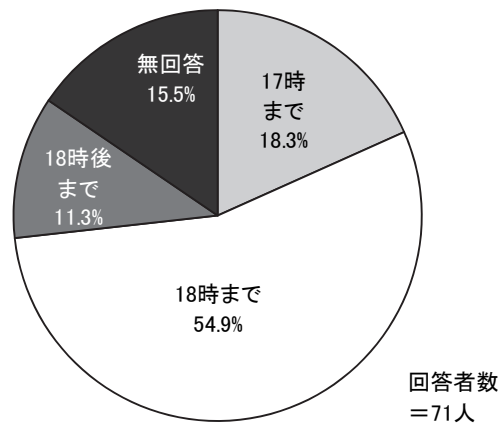


図表2-109 過ごし方別の週あたり日数

	回答者数	平均日数
自宅	219人	2.7日
祖父母宅や友人・知人宅	61人	1.9日
習い事	268人	2.3日
すくすくスクール	168人	2.7日
すくすくスクール学童クラブ登録	71人	3.8日
その他	142人	2.2日

小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望は、「習い事」が68.4%、「自宅」が55.9%、「すくすくスクール」が42.9%、「すくすくスクール学童クラブ登録」が18.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」が15.6%となっている。

図表2-110 すくすくスクール学童クラブの利用希望時間(単数回答)



すくすくスクール学童クラブ登録希望者の利用希望時間は、「18時まで」が54.9%、「17時まで」が18.3%、「18時後まで」が11.3%となっている。

図表2-111 小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望

		回答者数(人)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	すくすくスクール	すくすくスクール学童クラブ登録	その他	無回答
全体		392	55.9	15.6	68.4	42.9	18.1	36.2	7.7
就労形態による家族類型別	ひとり親	14	50.0	7.1	64.3	28.6	35.7	21.4	7.1
	フルタイム共働き	64	46.9	12.5	59.4	39.1	35.9	14.1	1.6
	フルタイム・パート共働き	93	58.1	20.4	62.4	37.6	24.7	23.7	9.7
	専業主婦(夫)	207	58.9	15.5	76.3	48.3	8.2	49.3	8.2
	パートタイム共働き	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	夫婦とも無業	2	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0

※:網掛けは全体を上回る数値

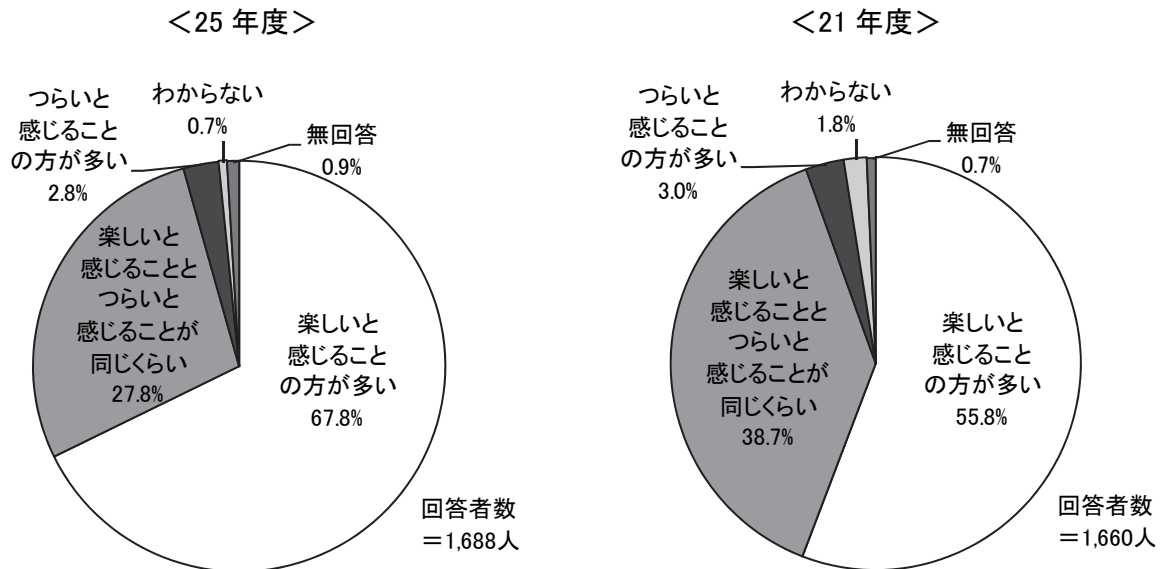
就労形態による家族類型別にみると、「すくすくスクール学童クラブ登録」は、フルタイム共働き家庭の35.9%、ひとり親家庭の35.7%、フルタイム・パート共働き家庭の24.7%が利用を希望している。

4. 江戸川区での子育てや子育て環境について

(1) 子育てに対する感じ方

問27 あなたは、子育てをどのように感じていますか。(1つに○)

図表2-112 子育てに対する感じ方(単数回答) 前回調査との比較



子育てに対する感じ方は、「楽しいと感じることの方が多」が67.8%で約7割となっている。「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」は27.8%、「つらいと感じることの方が多」は2.8%となっている。

前回調査と比較すると、「楽しいと感じることの方が多」という肯定的な回答をした人の割合が12.0ポイント高い結果となっている。

図表2-113 子育てに対する感じ方

		回答者数(人)	楽しいと感じることの方が 多い	楽しいと感じることとつらい と感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が 多い	わからない	無回答
全 体		1,688	67.8	27.8	2.8	0.7	0.9
子どもの年齢別	0 歳	369	78.3	18.4	1.6	0.5	1.1
	1 歳	253	71.5	22.9	4.3	0.4	0.8
	2 歳	271	61.6	35.8	1.5	0.7	0.4
	3 歳	270	63.0	31.9	3.7	0.4	1.1
	4 歳	255	61.6	33.7	3.1	0.4	1.2
	5 歳	260	67.3	28.5	1.9	1.5	0.8
就労形態による家族類型別	ひとり親	52	51.9	38.5	9.6	0.0	0.0
	フルタイム共働き	416	71.9	24.3	2.2	0.2	1.4
	フルタイム・パート共働き	287	59.6	35.5	2.8	0.7	1.4
	専業主婦(夫)	884	69.2	26.5	2.7	0.9	0.7
	パートタイム共働き	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	9	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
サービスの利用状況別	利用している	1,029	64.4	30.5	3.2	0.7	1.2
	利用していない	654	72.9	23.7	2.1	0.6	0.6

※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人は0歳がもっとも高く、0・1歳は7割台、2歳以上では6割台となっている。

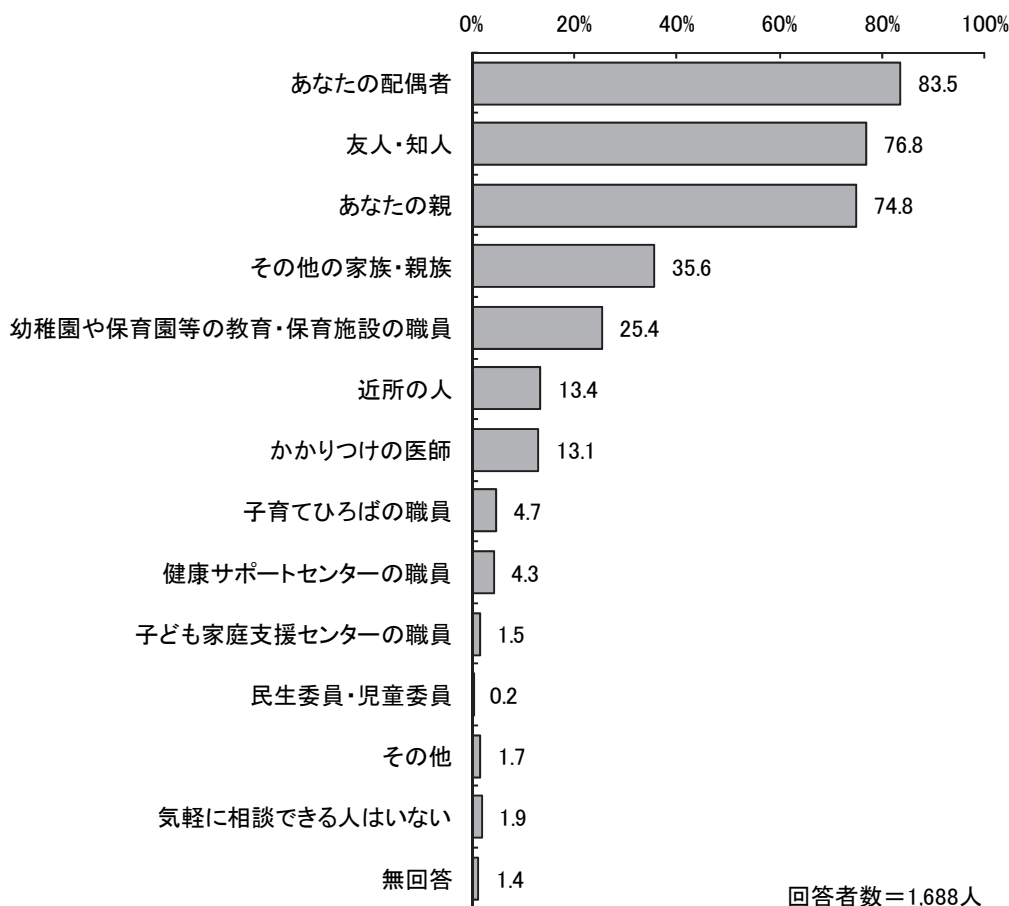
就労形態による家族類型別にみると、「楽しいと感じることの方が多い」割合は、他に比べてパートタイム共働き及びフルタイム共働き家庭において高くなっている。ひとり親家庭は「つらいと感じることの方が多い」が約1割を占め、他に比べて高い割合となっている。

教育・保育サービスの利用状況別にみると、「楽しいと感じることの方が多い」割合は、利用している人の6割台に対して、利用していない人は7割台と高くなっている。

(2)子育てについて気軽に相談できる人の有無

問28 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-114 子育てについて気軽に相談できる人の有無(複数回答)



子育てについて気軽に相談できる人は、「あなたの配偶者」83.5%に次いで、「友人・知人」76.8%、「あなたの親」74.8%の順となっている。次いで、「その他の家族・親族」35.6%、「幼稚園や保育園等の教育・保育施設の職員」25.4%、「近所の人」13.4%と続いている。

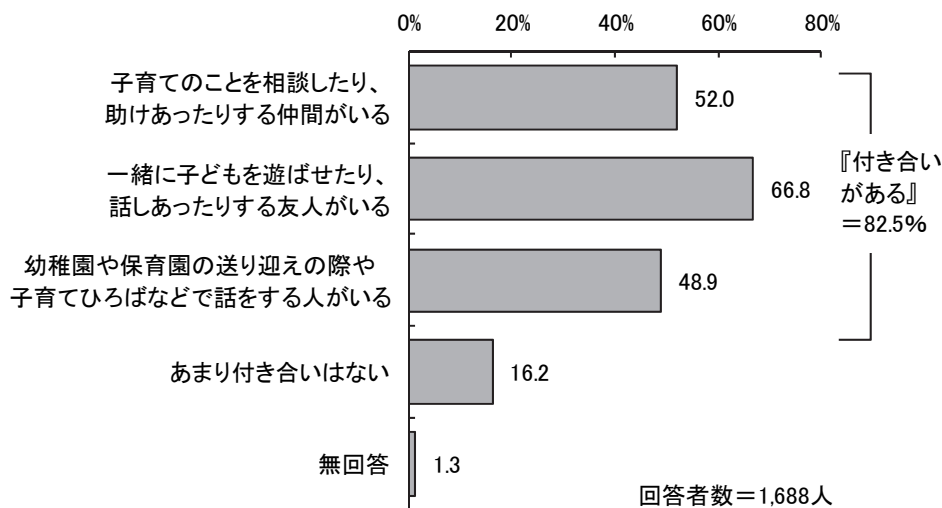
「気軽に相談できる人はいない」は1.9%であった。

(3) 同じくらいの子どもを持つ親どうしの付き合いの程度

問29 あなたには、同じくらいの年齢の子どもを持つ親どうしの付き合いがどのくらいありますか。

(あてはまるものすべてに○)

図表2-115 同じくらいの子どもを持つ親どうしの付き合いの程度(複数回答)



※:『付き合いがある』=100%-「あまり付き合いはない」-「無回答」

同じくらいの子どもを持つ親どうしのつきあいは「あまり付き合いはない」は16.2%であり、それ以外の82.5%（100%から「あまり付き合いはない」と「無回答」を除いた割合）が『付き合いがある』と回答している。

具体的には、「一緒に子どもを遊ばせたり、話しあったりする友人がいる」は66.8%、「子育てのことを相談したり、助けあったりする仲間がいる」は52.0%、「幼稚園や保育園の送り迎えの際や子育てひろばなどで話をする人がある」は48.9%となっている。

図表2-116 同じくらいの子どもを持つ親どうしの付き合いの程度

		回答者数(人)	子育てのことを相談したり、助けあったりする仲間がいる	一緒に子どもを遊ばせたり、話しあったりする友人がいる	幼稚園や保育園の送り迎えの際や子育てひろばなどで話をする人がいる	あまり付き合いはない	無回答	『付き合いがある』
全 体		1,688	52.0	66.8	48.9	16.2	1.3	82.5
子どもの年齢別	0 歳	369	45.0	61.8	31.7	22.5	1.1	76.4
	1 歳	253	51.8	64.8	36.8	19.8	1.2	79.0
	2 歳	271	49.8	64.9	44.6	18.5	1.8	79.7
	3 歳	270	50.7	72.2	61.9	10.7	2.2	87.1
	4 歳	255	57.3	68.6	63.5	12.2	0.4	87.4
	5 歳	260	60.8	70.8	61.5	10.8	1.2	88.0
就労形態による家族類型別	ひとり親	52	34.6	55.8	30.8	32.7	0.0	67.3
	フルタイム共働き	416	43.5	56.0	48.3	22.1	1.0	76.9
	フルタイム・パート共働き	287	55.1	70.7	57.5	12.5	1.4	86.1
	専業主婦(夫)	884	55.5	71.4	47.3	13.7	1.6	84.7
	パートタイム共働き	4	75.0	75.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	夫婦とも無業	9	44.4	55.6	33.3	33.3	0.0	66.7
居住地域別	区民課地域	368	50.8	68.5	47.0	16.6	1.1	82.3
	小松川地域	126	60.3	65.9	55.6	13.5	2.4	84.1
	葛西北地域	231	49.8	64.5	42.0	16.9	2.2	80.9
	葛西南地域	393	51.4	65.9	50.6	17.3	1.3	81.4
	小岩地域	183	46.4	61.2	51.4	15.3	1.6	83.1
	東部地域	207	59.9	72.9	44.4	15.5	0.5	84.0
	鹿骨地域	149	49.0	69.1	58.4	14.1	0.0	85.9

※:『付き合いがある』=100%−「あまり付き合いはない」−「無回答」

※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、「あまり付き合いはない」は年齢が低いほど高く、もっとも割合の高い0歳では2割台を占める。『付き合いがある』割合は、0歳の7割台、1・2歳の約8割、3〜5歳の8割台となっている。

就労形態による家族類型別にみると、ひとり親家庭の3割台、フルタイム共働き世帯の2割台が「あまり付き合いはない」と回答しており、他に比べて高い割合となっている。

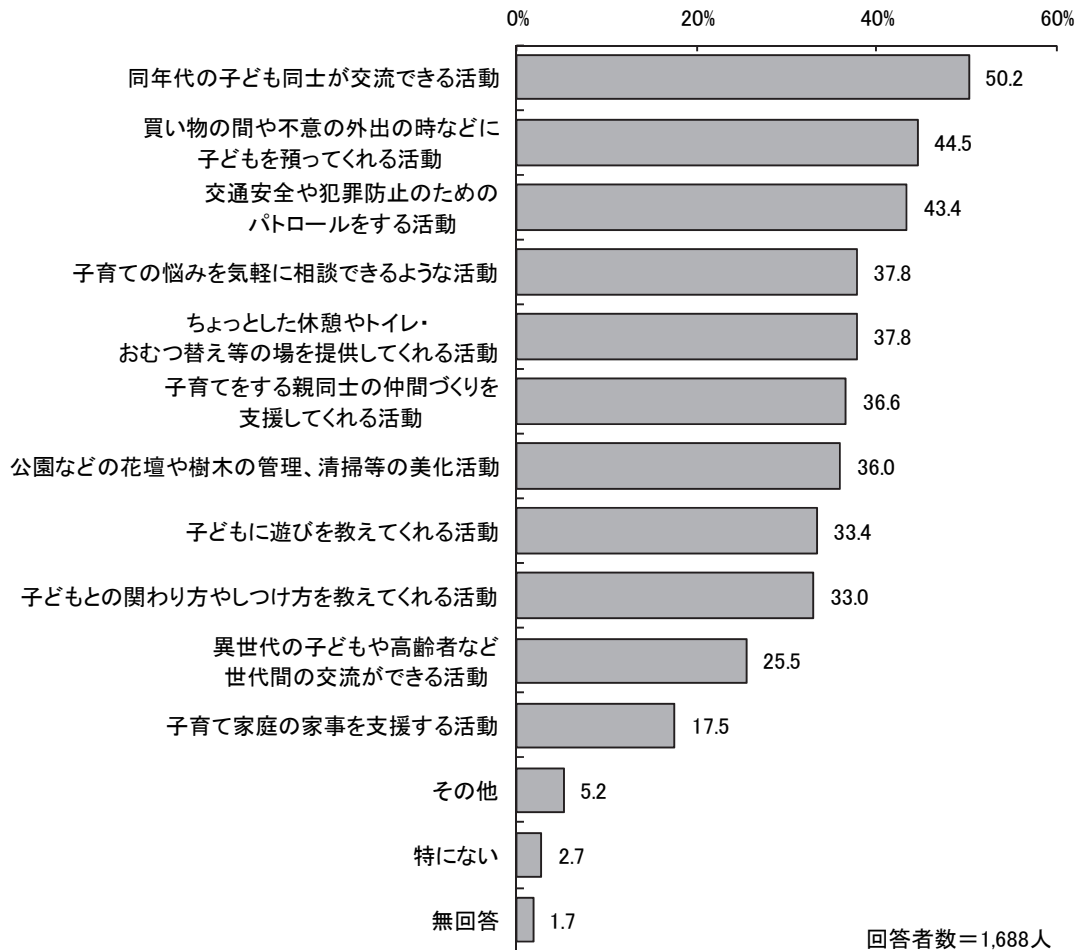
居住地域別にみると、他に比べて「あまり付き合いはない」割合が高いのは、葛西南地域、葛西北地域及び区民課地域となっている。

(4) 地域に期待する子育てへの支援活動

問30 子を持つ親にとって、身近な地域にどのような活動があるとよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

図表2-117 地域に期待する子育てへの支援活動(複数回答)



地域に期待する子育てへの支援活動は、「同年代の子ども同士が交流できる活動」50.2%がもっとも高い。次いで、「買い物の間や不意の外出の時に子どもを預ってくれる活動」44.5%、「交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動」43.4%の順となっている。

図表2-118 地域に期待する子育てへの支援活動

		回答者数(人)	同年代の子ども同士が交流できる活動	買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預ってくれる活動	交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動	子育ての悩みを気軽に相談できるような活動	おむつ替え等の場を提供してくれる活動	ちよつとした休憩やトイレ・おむつ替え等の場を提供してくれる活動	子育てをする親同士の仲間づくりを支援してくれる活動	公園などの花壇や樹木の管理、清掃等の美化活動
全 体		1,688	50.2	44.5	43.4	37.8	37.8	36.6	36.0	
子どもの年齢別	0 歳	369	51.8	45.8	40.9	42.3	49.6	42.5	36.3	
	1 歳	253	60.5	48.2	40.7	42.3	41.5	41.9	38.7	
	2 歳	271	53.9	46.1	38.4	36.2	39.1	33.6	39.5	
	3 歳	270	40.4	40.0	41.9	35.2	30.7	30.7	28.9	
	4 歳	255	44.7	48.6	45.9	36.1	32.9	34.5	34.5	
	5 歳	260	50.8	38.8	54.6	33.8	28.5	35.0	38.8	

		回答者数(人)	子どもに遊びを教えてくれる活動	子どもとの関わり方やしつけ方を教えてくれる活動	異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる活動	子育て家庭の家事を支援する活動	その他	特にない	無回答
全 体		1,688	33.4	33.0	25.5	17.5	5.2	2.7	1.7
子どもの年齢別	0 歳	369	32.2	37.7	22.0	19.2	5.1	1.6	1.4
	1 歳	253	32.4	33.6	24.1	19.4	5.1	2.0	1.6
	2 歳	271	30.6	34.3	28.0	17.3	4.8	3.7	1.8
	3 歳	270	33.3	26.7	20.4	16.3	5.2	3.3	2.6
	4 歳	255	40.0	39.2	30.2	18.0	5.9	3.9	0.8
	5 歳	260	31.5	25.8	30.0	14.6	4.6	1.5	1.9

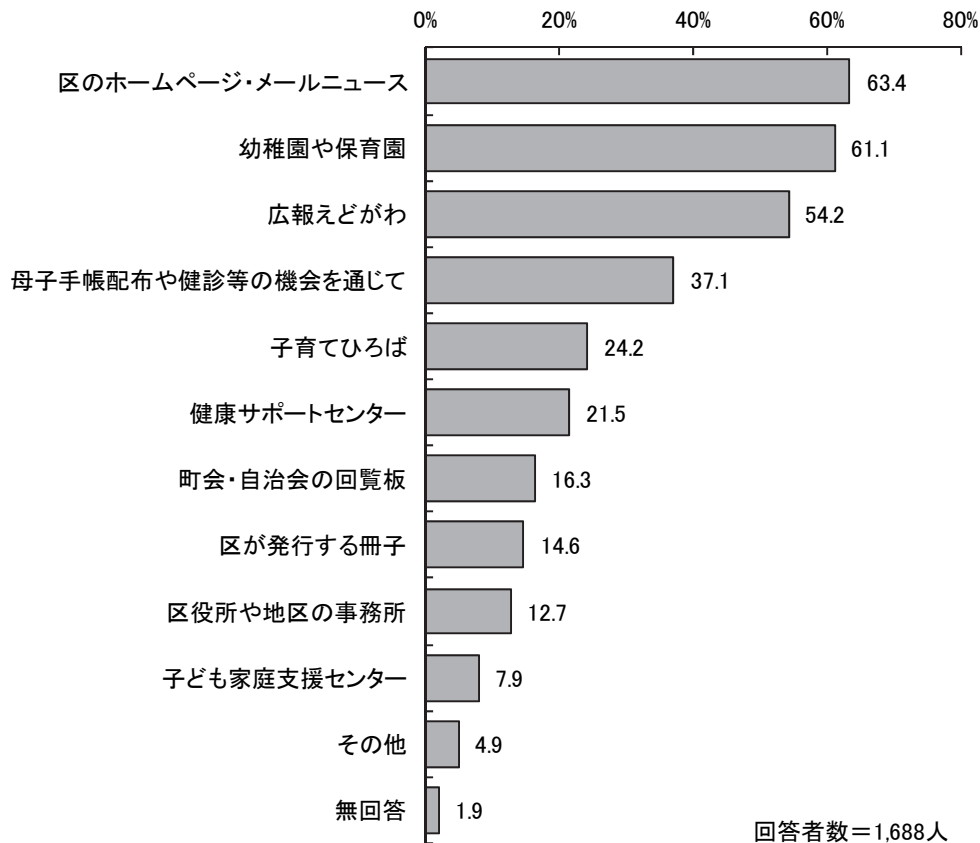
※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、期待する活動の第1位は、0～2歳は「同年代の子ども同士が交流できる活動」、3・5歳は「交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動」、4歳は「買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預ってくれる活動」となっている。

(5) 希望する子育て支援情報の入手先

問31 江戸川区の子育て支援に関する情報は、どこから(どのように)入手できるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-119 希望する子育て支援情報の入手先(複数回答)



希望する子育て支援情報の入手先は、「区のホームページ・メールニュース」63.4%がもっとも高い。次いで、「幼稚園や保育園」61.1%、「広報えどがわ」54.2%、「母子手帳配布や健診等の機会を通じて」37.1%の順となっている。

図表2-120 希望する子育て支援情報の入手先

		回答者数(人)	区のホームページ・メールニュース	幼稚園や保育園	広報えどがわ	母子手帳配布や健診等の機会を通じて	子育てひろば	健康サポートセンター	町会・自治会の回覧板	区が発行する冊子	区役所や地区の事務所	子ども家庭支援センター	その他	無回答
全 体		1,688	63.4	61.1	54.2	37.1	24.2	21.5	16.3	14.6	12.7	7.9	4.9	1.9
子どもの年齢別	0 歳	369	67.8	37.1	46.9	51.5	33.9	32.0	13.8	14.6	15.7	10.8	8.1	1.6
	1 歳	253	68.8	49.0	53.4	40.7	36.0	28.5	17.0	14.6	15.4	9.1	4.0	2.4
	2 歳	271	63.8	62.7	52.0	38.7	24.7	21.8	15.5	16.6	12.5	8.5	5.2	2.2
	3 歳	270	58.5	75.9	54.4	27.0	14.8	15.9	17.0	12.6	8.1	5.6	5.2	2.6
	4 歳	255	65.1	75.7	60.0	31.4	17.6	15.7	17.6	16.1	12.9	5.1	2.0	1.2
	5 歳	260	55.4	75.0	62.3	28.1	15.0	11.5	18.1	13.5	10.4	6.9	3.1	1.5

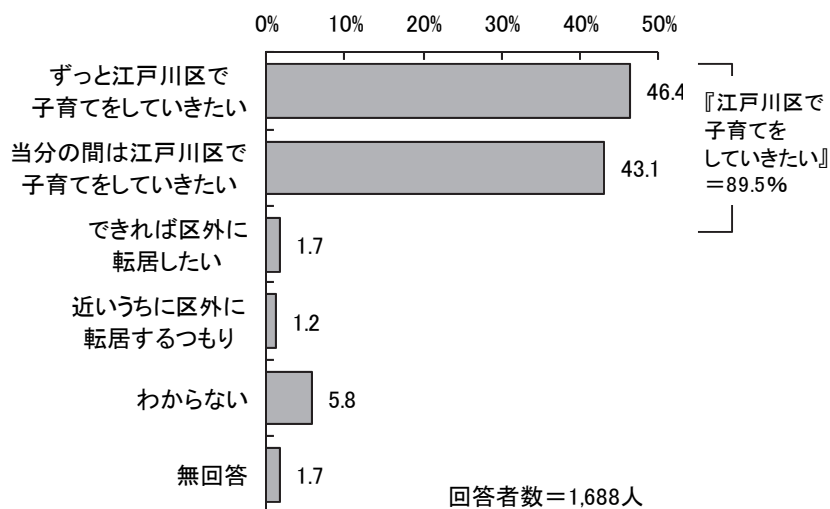
※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、0～2歳は「区のホームページ・メールニュース」、3歳以上は「幼稚園や保育園」の割合がそれぞれもっとも高い。

(6) 今後の江戸川区での子育て意向

問32 あなたは、今後も江戸川区で子育てをしていきたいと思いませんか。(1つに○)

図表2-121 今後の江戸川区での子育て意向(単数回答)



※:『江戸川区で子育てをしていきたい』=「ずっと江戸川区で子育てをしていきたい」
+「当分の間は江戸川区で子育てをしていきたい」

今後の江戸川区での子育て意向は、「ずっと江戸川区で子育てをしていきたい」46.4%、「当分の間は江戸川区で子育てをしていきたい」43.1%の順であり、これらをあわせた89.5%、約9割は『江戸川区で子育てをしていきたい』と回答している。「できれば区外に転居したい」は1.7%、「近いうちに区外に転居するつもり」は1.2%であった。

図表2-122 今後の江戸川区での子育て意向

		回答者数(人)	ずっと江戸川区で子育てをしていきたい	当分の間は江戸川区で子育てをしていきたい	できれば区外に転居したい	近いうちに区外に転居するつもり	わからない	無回答	『江戸川区で子育てをしていきたい』
全 体		1,688	46.4	43.1	1.7	1.2	5.8	1.7	89.5
子どもの年齢別	0歳	369	39.0	48.5	1.9	2.2	6.5	1.9	87.5
	1歳	253	42.7	45.5	1.6	2.4	6.3	1.6	88.2
	2歳	271	46.9	43.5	1.8	0.0	5.5	2.2	90.4
	3歳	270	51.5	38.9	1.5	0.7	4.8	2.6	90.4
	4歳	255	45.5	45.9	2.0	0.8	5.5	0.4	91.4
	5歳	260	56.2	33.5	1.5	1.2	6.2	1.5	89.7
就労形態による家族類型別	ひとり親	52	55.8	28.8	1.9	0.0	11.5	1.9	84.6
	フルタイム共働き	416	43.5	43.3	3.4	1.4	6.5	1.9	86.8
	フルタイム・パート共働き	287	50.2	40.8	1.4	0.3	5.2	2.1	91.0
	専業主婦(夫)	884	45.6	44.7	1.1	1.6	5.4	1.6	90.3
	パートタイム共働き	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0
	夫婦とも無業	9	55.6	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	88.9
居住地域別	区民課地域	368	47.3	41.0	1.9	1.1	7.3	1.4	88.3
	小松川地域	126	41.3	45.2	1.6	0.8	7.1	4.0	86.5
	葛西北地域	231	45.5	41.6	1.7	3.0	6.1	2.2	87.1
	葛西南地域	393	38.4	52.7	1.8	0.8	4.8	1.5	91.1
	小岩地域	183	54.1	39.3	0.5	1.1	2.7	2.2	93.4
	東部地域	207	52.7	36.2	2.4	1.0	6.8	1.0	88.9
	鹿骨地域	149	53.0	38.3	1.3	0.7	6.0	0.7	91.3

※:『江戸川区で子育てをしていきたい』=「ずっと江戸川区で子育てをしていきたい」+「当分の間は江戸川区で子育てをしていきたい」

※:網掛けは全体を上回る数値

子どもの年齢別にみると、0歳は「ずっと江戸川区で子育てをしていきたい」は39.0%と他に比べて低い。「近いうちに区外に転居するつもり」は、0・1歳で2%台であり、他に比べて高い割合となっている。

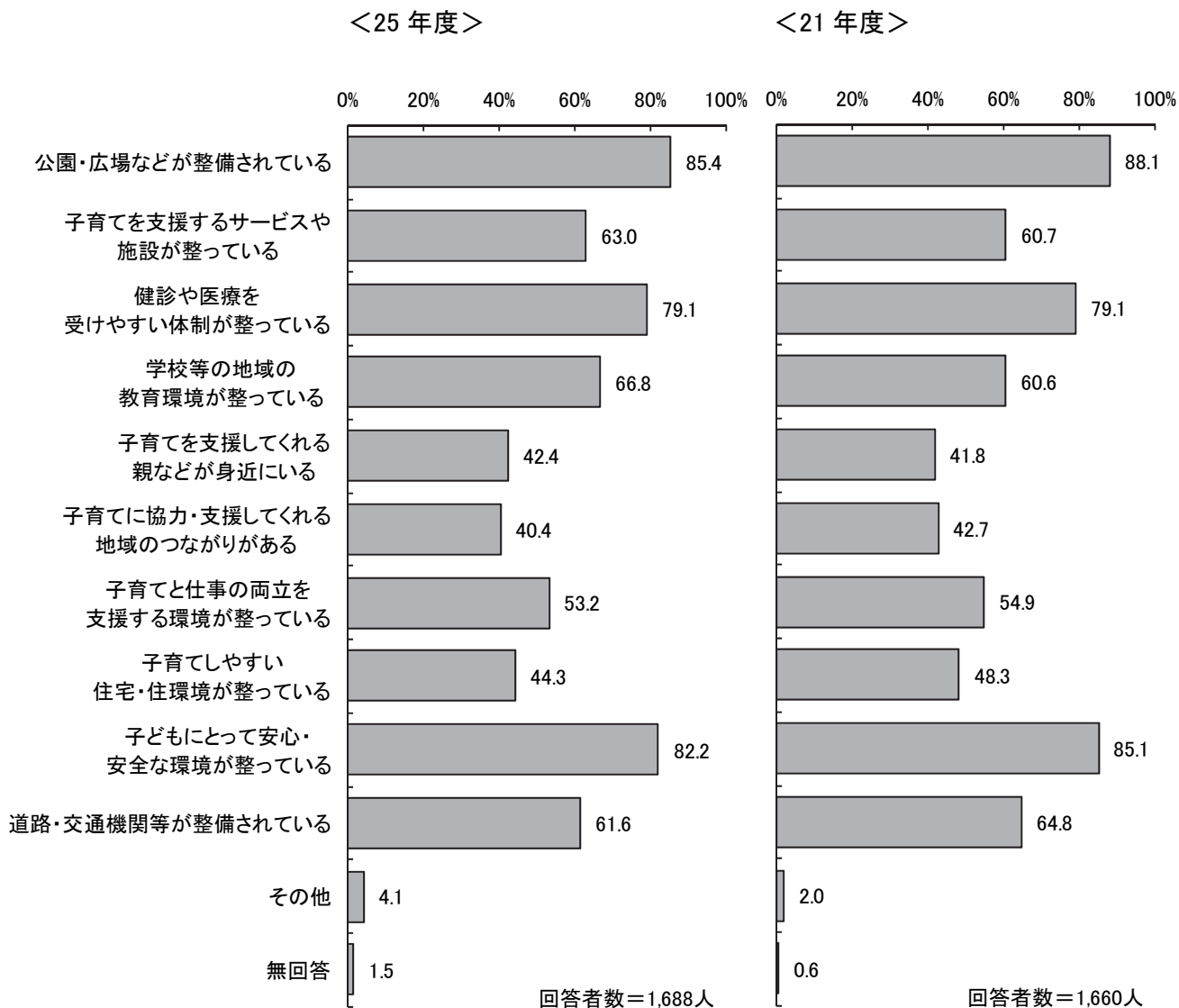
就労形態による家族類型別にみると、フルタイム共働き家庭は他に比べて「できれば区外に転居したい」「近いうちに区外に転居するつもり」と回答した人の割合が高くなっている。

居住地域別にみると、「ずっと江戸川区で子育てをしていきたい」割合は、葛西南地域がもっとも低い3割台、区民課地域、小松川地域及び葛西北地域は4割台、小岩地域、東部地域及び鹿骨地域は5割台となっている。

(7)子育てのために重視する環境

問33 あなたが、子育てのために重視したい環境、子育てしやすくするために必要と考える環境は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-123 子育てのために重視する環境(複数回答) 前回調査との比較



子育てのために重視する環境は、「公園・広場などが整備されている」「子どもにとって安心・安全な環境が整っている」がともに8割以上となっている。次いで「健診や医療を受けやすい体制が整っている」79.1%、「学校等の地域の教育環境が整っている」66.8%、「子育てを支援するサービスや施設が整っている」63.0%の順であり、これらが上位5項目となっている。

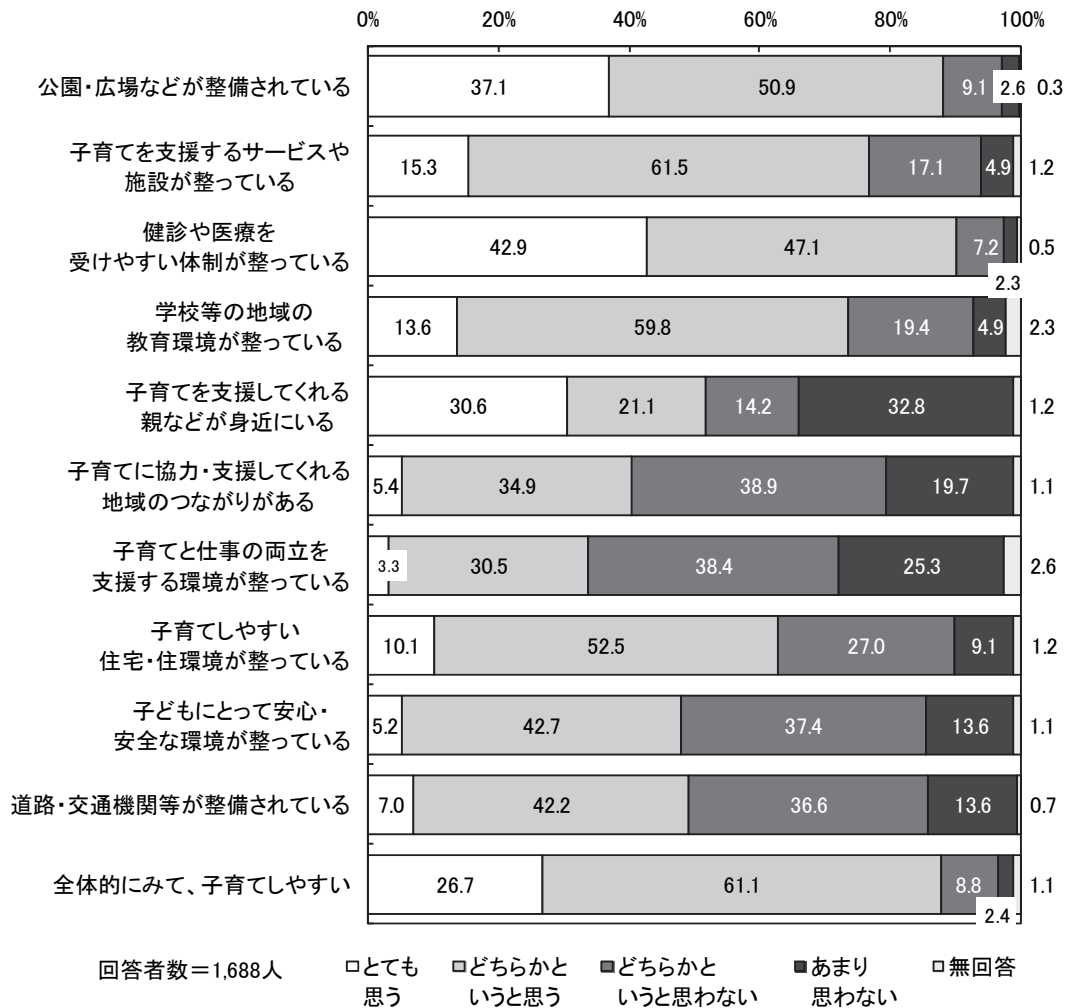
前回調査と比較すると、上位3項目は同様であるが、今回調査では「学校等の地域の教育環境が整っている」「子育てを支援するサービスや施設が整っている」をあげた人の割合が増えている。

(8)江戸川区の子育て環境に対する評価

問34 江戸川区での現在のあなたの子育て環境について、実際にはどのように感じていますか。

(①～⑪について、それぞれ1つに○)

図表2-124 江戸川区の子育て環境に対する評価(各単数回答)



図表2-125 江戸川区の子育て環境に対する評価 前回調査との比較

	25 年度		21 年度	
	『思う』	『思わない』	『思う』	『思わない』
公園・広場などが整備されている	88.0	11.7	85.5	13.8
子育てを支援するサービスや施設が整っている	76.8	22.0	74.1	24.2
健診や医療を受けやすい体制が整っている	90.0	9.5	85.4	13.4
学校等の地域の教育環境が整っている	73.4	24.3	67.3	29.0
子育てを支援してくれる親などが身近にいる	51.7	47.0	53.4	44.2
子育てに協力・支援してくれる地域のつながりがある	40.3	58.6	36.8	61.1
子育てと仕事の両立を支援する環境が整っている	33.8	63.7	26.6	70.8
子育てしやすい住宅・住環境が整っている	62.6	36.1	55.2	43.4
子どもにとって安心・安全な環境が整っている	47.9	51.0	40.6	58.2
道路・交通機関等が整備されている	49.2	50.2	43.2	55.5
全体的にみて、子育てしやすい	87.8	11.2	88.0	10.8

※:『思う』=「とても思う」+「どちらかというと思う」

※:『思わない』=「どちらかというと思わない」+「あまり思わない」

江戸川区の子育て環境に対する評価について、「とても思う」「どちらかというと思う」をあわせた『思う』割合が高い上位5項目は、“健診や医療を受けやすい体制が整っている”90.0%、“公園・広場などが整備されている”88.0%、“子育てを支援するサービスや施設が整っている”76.8%、“学校等の地域の教育環境が整っている”73.4%、“子育てしやすい住宅・住環境が整っている”62.6%となっている。

反対に、「どちらかというと思わない」「あまり思わない」をあわせた『思わない』割合が高い上位5項目は、“子育てと仕事の両立を支援する環境が整っている”63.7%、“子育てに協力・支援してくれる地域のつながりがある”58.6%、“子どもにとって安心・安全な環境が整っている”51.0%、“道路・交通機関等が整備されている”50.2%、“子育てを支援してくれる親などが身近にいる”47.0%となっている。

前回調査と比較すると、“子育てを支援してくれる親などが身近にいる”以外の項目は、いずれも前回調査よりも『思う』割合が高くなっている。子育てに対する全体的な評価である“全体的にみて、子育てしやすい”は、『思う』が87.8%、『思わない』が11.2%で、前回調査とほぼ同様の結果である。

図表2-126 江戸川区の子育て環境に対する評価

		回答者数(人)	とても思う	思う どちらかという と	どちらかという と 思わない	あまり思わない	無回答	『思う』
公園・広場	区民課地域	368	30.2	55.2	10.6	3.8	0.3	85.4
	小松川地域	126	34.9	54.8	8.7	1.6	0.0	89.7
	葛西北地域	231	46.3	47.6	4.8	1.3	0.0	93.9
	葛西南地域	393	52.9	41.5	4.1	1.3	0.3	94.4
	小岩地域	183	12.0	58.5	22.4	6.6	0.5	70.5
	東部地域	207	35.7	52.2	10.1	1.4	0.5	87.9
	鹿骨地域	149	31.5	58.4	8.1	2.0	0.0	89.9
子育て支援 サービス・施設	区民課地域	368	11.1	62.5	20.4	5.2	0.8	73.6
	小松川地域	126	16.7	54.0	19.8	8.7	0.8	70.7
	葛西北地域	231	16.9	66.7	13.0	3.0	0.4	83.6
	葛西南地域	393	17.6	61.1	14.8	5.6	1.0	78.7
	小岩地域	183	16.4	55.7	20.2	6.0	1.6	72.1
	東部地域	207	16.9	66.7	13.0	1.9	1.4	83.6
	鹿骨地域	149	13.4	59.7	20.8	4.7	1.3	73.1
健診や医療体制	区民課地域	368	35.6	53.3	6.3	3.8	1.1	88.9
	小松川地域	126	40.5	50.0	7.9	1.6	0.0	90.5
	葛西北地域	231	44.6	45.9	7.4	2.2	0.0	90.5
	葛西南地域	393	48.1	42.2	7.6	1.8	0.3	90.3
	小岩地域	183	36.6	47.5	12.0	3.3	0.5	84.1
	東部地域	207	53.1	39.1	5.8	1.0	1.0	92.2
	鹿骨地域	149	41.6	53.0	4.7	0.7	0.0	94.6
地域の教育環境	区民課地域	368	11.4	57.9	20.4	7.3	3.0	69.3
	小松川地域	126	10.3	61.1	22.2	3.2	3.2	71.4
	葛西北地域	231	12.6	61.0	20.3	5.6	0.4	73.6
	葛西南地域	393	17.6	56.7	18.3	4.6	2.8	74.3
	小岩地域	183	13.7	63.9	16.9	3.3	2.2	77.6
	東部地域	207	16.9	56.5	21.3	4.3	1.0	73.4
	鹿骨地域	149	9.4	70.5	16.1	2.7	1.3	79.9
親などが 身近にいる	区民課地域	368	33.4	25.0	14.4	26.1	1.1	58.4
	小松川地域	126	36.5	19.8	15.1	28.6	0.0	56.3
	葛西北地域	231	29.4	20.3	13.4	35.9	0.9	49.7
	葛西南地域	393	22.9	16.0	18.3	40.7	2.0	38.9
	小岩地域	183	39.3	23.0	12.0	23.5	2.2	62.3
	東部地域	207	30.4	21.7	9.2	37.7	1.0	52.1
	鹿骨地域	149	29.5	25.5	14.8	30.2	0.0	55.0
地域のつながり	区民課地域	368	3.8	35.1	39.7	20.4	1.1	38.9
	小松川地域	126	4.0	33.3	42.9	18.3	1.6	37.3
	葛西北地域	231	6.9	36.8	38.5	17.7	0.0	43.7
	葛西南地域	393	4.6	33.1	40.7	20.4	1.3	37.7

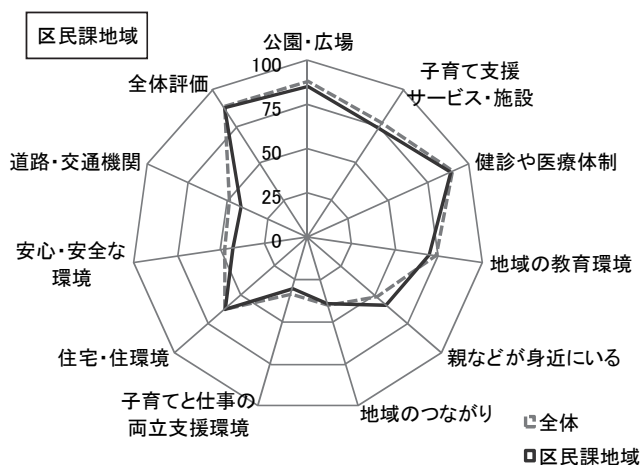
		回答者数(人)	とても思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	あまり思わない	無回答	『思う』
地域のつながり	小岩地域	183	9.8	35.0	34.4	20.2	0.5	44.8
	東部地域	207	5.3	39.1	37.2	17.9	0.5	44.4
	鹿骨地域	149	4.7	34.9	39.6	20.1	0.7	39.6
子育てと仕事の 両立支援環境	区民課地域	368	2.7	27.4	42.1	25.5	2.2	30.1
	小松川地域	126	2.4	35.7	34.9	26.2	0.8	38.1
	葛西北地域	231	4.8	26.4	40.7	25.5	2.6	31.2
	葛西南地域	393	3.1	31.8	36.6	26.5	2.0	34.9
	小岩地域	183	4.9	33.9	35.0	23.5	2.7	38.8
	東部地域	207	3.4	36.2	37.2	21.3	1.9	39.6
	鹿骨地域	149	1.3	26.8	40.3	28.2	3.4	28.1
住宅・住環境	区民課地域	368	9.2	52.7	25.8	10.9	1.4	61.9
	小松川地域	126	7.9	58.7	25.4	6.3	1.6	66.6
	葛西北地域	231	10.4	52.4	27.7	8.7	0.9	62.8
	葛西南地域	393	11.5	52.4	26.7	8.4	1.0	63.9
	小岩地域	183	12.0	47.0	28.4	10.9	1.6	59.0
	東部地域	207	9.7	52.2	29.0	8.2	1.0	61.9
	鹿骨地域	149	8.1	53.0	30.9	6.7	1.3	61.1
安心・安全な 環境	区民課地域	368	3.8	39.1	40.2	15.8	1.1	42.9
	小松川地域	126	6.3	50.0	34.1	8.7	0.8	56.3
	葛西北地域	231	5.6	46.3	35.1	12.1	0.9	51.9
	葛西南地域	393	6.1	41.7	39.9	10.9	1.3	47.8
	小岩地域	183	6.6	38.8	31.7	21.9	1.1	45.4
	東部地域	207	3.4	43.5	37.2	15.0	1.0	46.9
	鹿骨地域	149	4.7	47.0	37.6	10.1	0.7	51.7
道路・交通機関	区民課地域	368	4.6	37.0	38.9	18.2	1.4	41.6
	小松川地域	126	9.5	39.7	38.9	11.1	0.8	49.2
	葛西北地域	231	7.4	43.3	35.9	13.0	0.4	50.7
	葛西南地域	393	9.9	50.9	28.5	10.4	0.3	60.8
	小岩地域	183	3.8	31.7	40.4	23.5	0.5	35.5
	東部地域	207	6.8	42.0	40.1	10.1	1.0	48.8
	鹿骨地域	149	6.0	42.3	43.6	7.4	0.7	48.3
全体評価	区民課地域	368	21.2	66.0	7.9	3.8	1.1	87.2
	小松川地域	126	23.8	62.7	9.5	2.4	1.6	86.5
	葛西北地域	231	34.2	56.7	8.2	0.9	0.0	90.9
	葛西南地域	393	31.3	56.7	8.7	2.3	1.0	88.0
	小岩地域	183	19.7	62.3	14.2	3.3	0.5	82.0
	東部地域	207	27.5	61.4	6.3	2.4	2.4	88.9
	鹿骨地域	149	26.2	64.4	8.1	0.7	0.7	90.6

※:『思う』=「とても思う」+「どちらかというと思う」

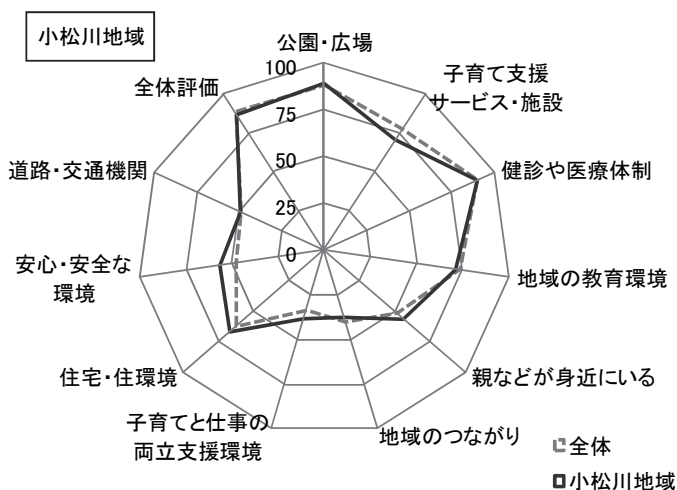
※:網掛けは各項目における上位3地域までの数値

図表2-127 江戸川区の子育て環境に対する評価

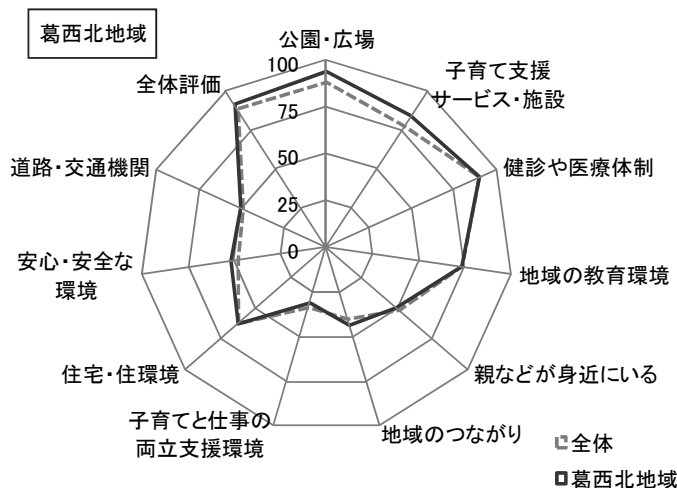
—『思う』の割合



居住地域別に『思う』と評価している割合をみると、区民課地域は、“子育てを支援してくれる親などが身近にいる”に対する評価が他の地域に比べて高いものの、“学校等の地域の教育環境が整っている”“子どもにとって安心・安全な環境が整っている”に対する評価はいずれも7地域の中で低い。“全体的にみて、子育てしやすい環境である”との評価は87.2%となっている。



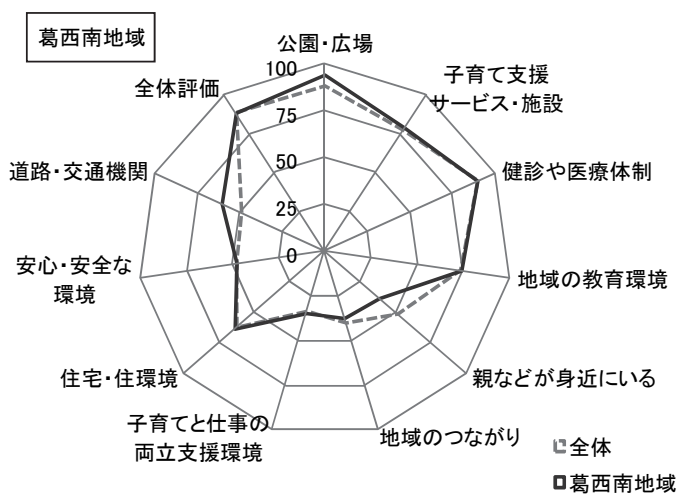
小松川地域は、“子育てしやすい住宅・住環境が整っている”“子どもにとって安心・安全な環境が整っている”に対する評価が7地域の中でもっとも高いものの、“子育てを支援するサービスや施設が整っている”“学校等の地域の教育環境が整っている”といったサービス・支援、教育面や、“子育てに協力・支援してくれる地域のつながりがある”に対する評価が他の地域に比べて低い。“全体的にみて、子育てしやすい環境である”との評価は86.5%となっている。



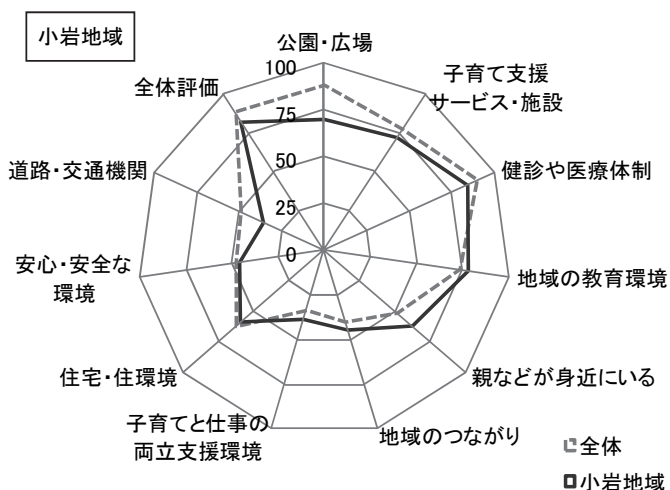
葛西北地域は、“公園・広場などが整備されている”“健診や医療を受けやすい体制が整っている”を9割以上、“子育てを支援するサービスや施設が整っている”を8割台が評価しており、“全体的にみて、子育てしやすい環境である”は90.9%と、7地域の中でもっとも高い。

図表2-128 江戸川区の子育て環境に対する評価

—『思う』の割合



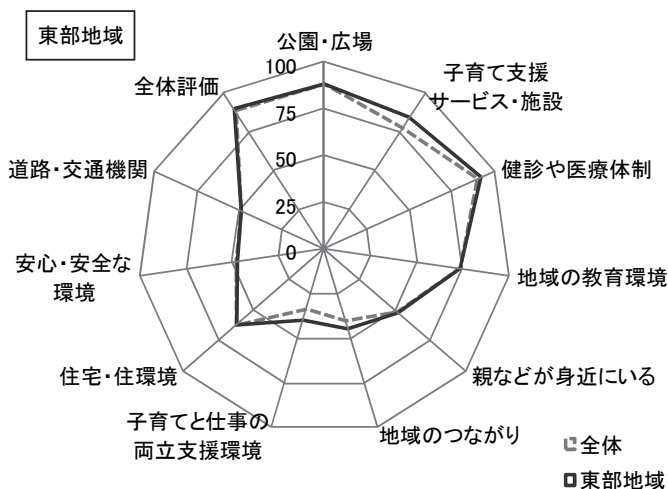
葛西南地域は、“公園・広場などが整備されている”“健診や医療を受けやすい体制が整っている”を9割以上が評価し、また、“道路・交通機関等が整備されている”に対する評価が他の地域に比べて高い。反面、地域ネットワークに関する“子育てを支援してくれる親などが身近にいる”“子育てに協力・支援してくれる地域のつながりがある”に対する評価は低い。“全体的にみて、子育てしやすい環境である”との評価は88.0%となっている。



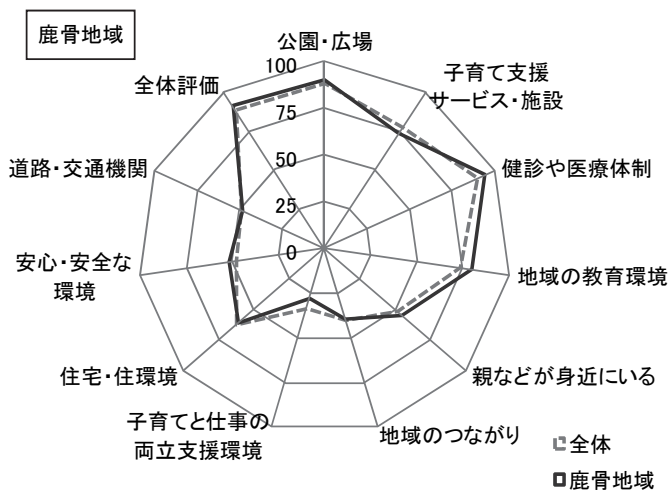
小岩地域は、地域ネットワークに関する“子育てを支援してくれる親などが身近にいる”“子育てに協力・支援してくれる地域のつながりがある”に対する評価が7地域の中でもっとも高い。反面、“公園・広場などが整備されている”“健診や医療を受けやすい体制が整っている”“子育てしやすい住宅・住環境が整っている”“子どもにとって安心・安全な環境が整っている”“道路・交通機関等が整備されている”に対する評価が他の地域に比べて低く、“全体的にみて、子育てしやすい環境である”は82.0%と、7地域の中でもっとも低い。

図表2-129 江戸川区の子育て環境に対する評価

—『思う』の割合

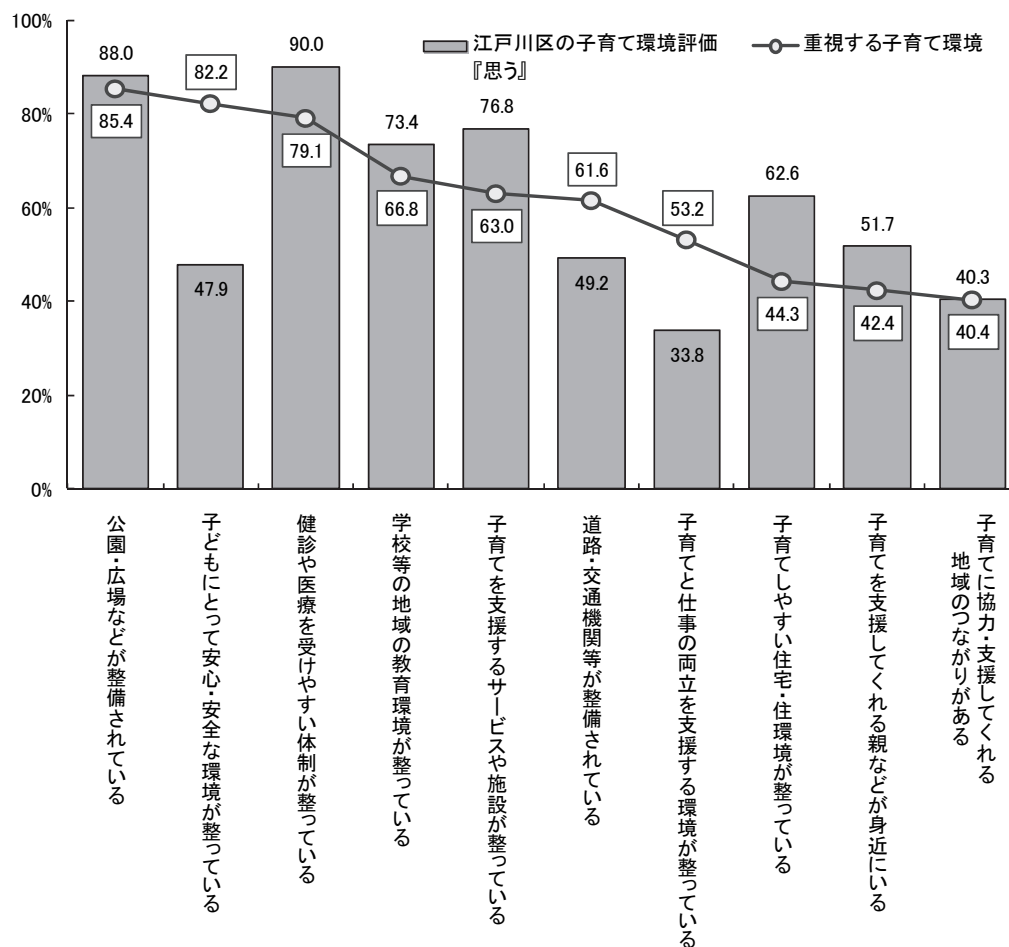


東部地域は、“健診や医療を受けやすい体制が整っている”“子育てを支援するサービスや施設が整っている”“子育てと仕事の両立を支援する環境が整っている”に対する評価が他の地域に比べて高く、“全体的にみて、子育てしやすい環境である”との評価は88.9%となっている。



鹿骨地域は、“健診や医療を受けやすい体制が整っている”“学校等の地域の教育環境が整っている”に対する評価が7地域の中でもっとも高い一方、“子育てと仕事の両立を支援する環境が整っている”に対する評価がもっとも低い。“全体的にみて、子育てしやすい環境である”との評価は90.6%となっている。

図表2-130 子育てのために重視する環境と江戸川区の子育て環境に対する評価の比較

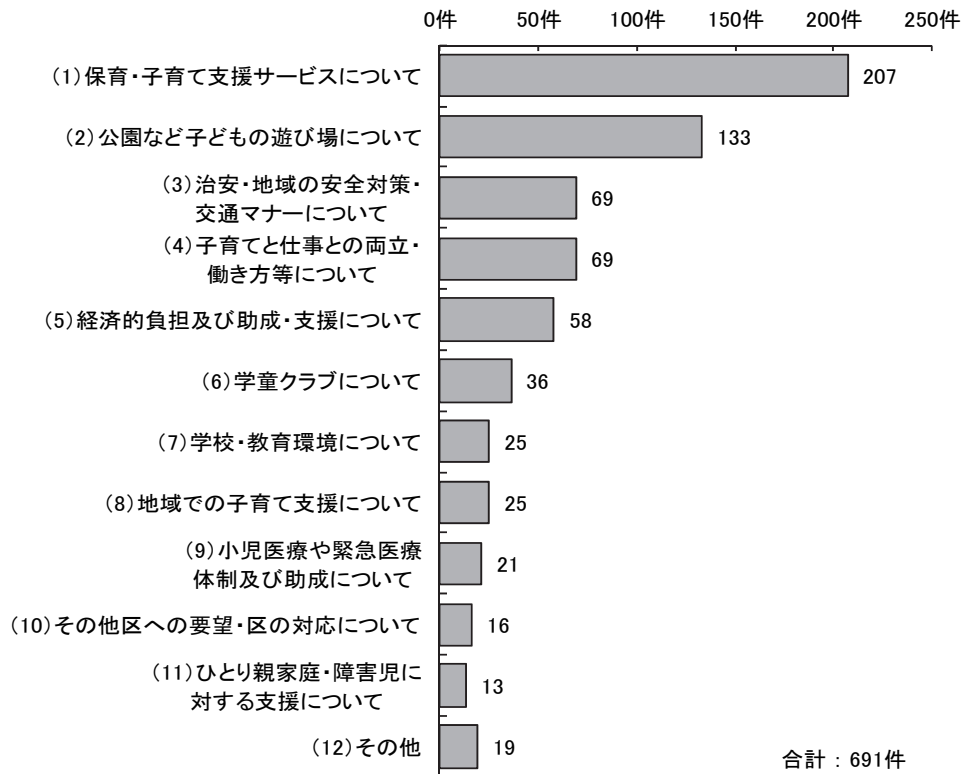


子育てのために重視する環境と、子育て環境に対する評価を比較すると、治安がよいなど、“子どもにとって安心・安全な環境が整っている”、教育・保育サービスや職場の支援など、“子育てと仕事の両立を支援する環境が整っている”、親子連れでも外出しやすい“道路・交通機関等が整備されている”は、重視しているという割合に対して、よいと思うと評価している割合が低い項目となっている。特に、“子どもにとって安心・安全な環境が整っている”は、8割以上が重視しているのに対して、評価している割合は4割台にとどまっている。

5. 自由回答

問35 子育ての環境や子育て支援、ワーク・ライフ・バランスに関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

図表2-131 子育て環境や支援に対する意見・要望



以下は、自由回答の抜粋である。

(1) 保育・子育て支援サービスについて 207 件

① 情報・サービス内容について 64 件

- ・私用、親の通院、不定期な就労等が発生した場合に、一時的に子どもを預かってもらえるサービスについての情報がもっと入手しやすいと助かります。
- ・江戸川区のメールも防犯メールだけでなく、様々なメールを入れてくれればと思います。
- ・子育てに関する環境やサービスは整備が進んでいる方だと思いますが、その情報は色々調べないと手に入らず（入りにくい）、必要な時にどうすればよいか分かりにくい。
- ・情報の収集・共有のためにスマホ向けアプリや独自のSNSを開発してはどうか。
- ・ファミリーサポートを利用したいと思っても、協力会員の方と日程が合わなかったり、面談が必要であったり、急な時にお願いできず、利用できませんでした。
- ・区立保育園全園を対象に民営化しているそうですが、どうしてせっかく子どもが慣れ親しんだ先生方や環境を変えなければならないのか理解できません。

②施設・その他保育サービスについて 34件

- ・子育てひろばをもっとたくさんつくってほしい。距離があるので行くのに時間がかかるし、小さな子どもを連れて行くのが大変です。
- ・キッズカフェのようなところがたくさん増えてくれるとよいと思います。
- ・サポートセンターがとても遠いので、活用する気にならない。子どもを預けられる場所も大切だが、子どもとの時間を削らなくて済むためのサービス（買物や宅配サービス）をしてもらえるとありがたいと思う。
- ・新生児の時に家庭訪問をしてくれたが（助産師さん）、1回なので数回来ていただけたら不安が減ったと思う。

③子育てしやすい環境について 32件

- ・専業主婦に対しては子育てしやすい区として受けとめられています。ぜひ共働き世帯に対しても支援の拡充をお願いします（すくすくスクールの充実、補食の復活等）。
- ・0歳児保育園が少ないことや、区役所・子育てひろばの土日利用の整備が不十分で、共働き（特に核家族）の子育てに対しての支援が少ないと思いました。
- ・できれば自分の子どもは自分でみたいし、もっと兄弟姉妹がほしいと思うが経済的にとても無理。子育てにかかるお金の心配が少なくなれば、もっと子どもを産みたいと思う。

④保育園増設について 25件

- ・認可保育園、認証保育所ともに空きがなく、働けないお母さんがたくさんいます。現状では子どもを預ける受け皿がありません。今後は幼稚園より保育園を増やしてほしいです。
- ・病院や幼稚園、保育園が一部に集中している。興宮付近にもつくってほしいです。
- ・就学前何歳であっても、何か月であっても、希望すれば100%認可保育園に入れる環境にしてほしいです。
- ・保育園の乳児（1・2歳）の定員数をもっと増やしてもらいたい。
- ・とにかく認可保育園の数を増やしてほしいです。親が“選ばれる”のではなく、親が自分の子どもを入れたい保育園を“選ぶ”環境を整えてほしいです。

⑤幼稚園について 20件

- ・なぜ区立幼稚園は預かり保育が毎日できないのですか。
- ・区立幼稚園はいずれ廃園の方向にあると聞いています。私立にはない、子どもをのびのび育てる園の方針に感謝していますので、長く残してもらいたいと思います。
- ・区立幼稚園の廃園について、行政負担が大きいのは分かるが、保育料を上げるなど段階を踏んだ上でダメなら廃園にすればよいと思います。
- ・保育園には補助金はないが、幼稚園には補助金があり、教育内容も音楽・体操など充実している。

⑥0歳児保育について 19件

- ・いまだに区立の認可保育園で0歳児クラスがないというのは、時代に合っていないと思う。区立でも0歳児保育をとり入れるべき。
- ・0歳児保育を実施する認可保育園を増やしてほしい。1歳までは家庭的な保育を、とはいっても、4月合わせでしか、ほぼ認可園には入れないため、やむなく無認可や保育ママさんに預けている人が多いが、本当は認可保育園に入りたい人が大半だと思う。
- ・保育ママについて様々な考え方があると思うので、区の方針としてそればかりを強調するのではなく、他の自治体のように、もっと色々な選択ができるようにしてほしい。
- ・0歳児保育の選択肢が少なすぎると思います。娘は運よく保育ママさんにみてもらうことができましたが、早い段階でいっぱいになってしまったそうです。

⑦保育料について 13件

- ・ファミリー・サポート・センターや病児預かりなどを利用したいと思いますが、そちらに預けて仕事に行っても収入がマイナスになってしまうので、もう少し安く利用できるとよいと思います。
- ・仕事・用事・息抜き等で、ちょっと子どもを預けるのに、とてもお金がかかる。サービスを提供してくれるのはよいが、利用者の現状に合わせた設定にしなければ、かたちだけのサービスになってしまうと思います。
- ・認可保育園の負担額が高いです。同じサービスを受けるのに利用者の金額がこんなに変わるなんて、世帯収入によって金額の差が大きすぎるような気がします。
- ・認可と認証保育所の料金の差をなくしてほしい。

(2)公園など子どもの遊び場について 133件

- ・地域にある公園（遊具）について、幼児用と学童用にわけてもらえると、土・日等遊ばせる時に安心できる。大きい子どもがいると小さい子どもは遊びづらい。
- ・プールガーデンは唯一の水遊びスポットで夏の親子（父親と）の遊び場だったのに、なくなってとても残念です。
- ・雨の日でも走り回れるような屋内施設があればよいと思います。
- ・年中公園を利用しますが、トイレ・砂場などとても整備されていて、不快な思いをしたことはありません。掃除して下さりありがとうございます。
- ・江戸川区は、街の環境がとてもよいと思います。特に、公園は緑が多く、掃除をして下さる方もいて、子育てのしやすい環境だと思います。
- ・共育プラザを時々利用させていただいていますが、職員の皆さまがとても明るく、いつも笑顔で接して下さるのでとても嬉しく安心して利用させていただいています。
- ・放課後、すすくすくスクール以外で子ども達の遊べる場がもっとたくさんあればよいと思います。
- ・共育プラザの数を増やしてほしいし、全館月曜日休みではなくて、ローテーションの休みにしてほしいです。

- ・子育てひろばのおもちゃがどれくらいの周期で消毒・除菌をされて清潔に保たれているか不安に思うことがある。

(3) 治安・地域の安全対策・交通マナーについて 69 件

- ・駅前などにパチンコ屋や水商売の店舗が多くて、塾帰りなど心配になる。治安が悪い＝江戸川区という印象がある。パトロール強化をしてほしい。
- ・道路の段差をなくしてほしい。また自転車と歩道を明確にわけて、安全な町づくりをしてほしい。
- ・西葛西駅周辺では「ブルーの自転車通行ゾーン」があるので、このラインが増え、車道・歩道・自転車道がきちんと整備されると、とてもうれしく感じます。子ども達の交通マナーの指導も希望します。
- ・ベビーカーの子ともう1人子どもを連れて出かけるのは、とても大変です。もう少し地下鉄など交通機関で乗り換えしやすくと助かります。
- ・ポイ捨て、歩きタバコ、中高生の素行が悪い、自転車と歩行者でぶつかりそうな道が多い等、子どもによくないところが多いと思う。
- ・歩きタバコや自転車での喫煙を取り締まってほしい。世田谷区のように罰金制度にしてもよいのではないかと思う。

(4) 子育てと仕事との両立・働き方等について 69 件

- ・土・日・祝日等が忙しい仕事に就いていると預けることが難しく、結局仕事を退職しなくてはならないように感じます。働く人のニーズに合わせた施設運営をしていただけると、女性も出産後仕事を辞めなくて済むのではと思います。
- ・母親の復職について、行政の助けがもっと必要だと思います。0歳や1歳の子どもを預かって下さる施設が増えれば、若い世代が増えると思います。
- ・父親の育児参加、地域参加を促進する取り組みをもっと実施してほしい。
- ・在宅ワークの支援があると嬉しい。
- ・収入が少ないので区立の保育園に入れたかったけど、まず空きがない(1・2歳)。仕事をしている人(育休中)優先では仕事は探せません。仕事を探すための環境も充実させてほしいです。
- ・母親が子どもを育てながら、時短や在宅勤務など、パートやアルバイトでなく正社員の仕事(雇用)が区内にたくさんあると嬉しい。
- ・子育て中の母親の就労支援サービスがもっと充実するとよいと思う。セミナーとかハローワークとか、子連れで参加できるスキルアップ講座とかがあると嬉しいです。

(5) 経済的負担及び助成・支援について 58 件

- ・幼稚園の入園金の補助 80,000 円は助かりますが、最初から差額だけの支払いにしてもらいたいです。まとまったお金を用意するのが大変です。
- ・高校以降の本格的にお金がかかる世代にも、部活をしている生徒への支援など何か補助があればと感じます。

- ・幼稚園の子に2万6千円／月の補助金が出るのに保育園の子にはない。0歳児の1万3千円／月の補助も0歳で仕事復帰したら打ち切りで、働いているお母さんに厳し過ぎます。
- ・子育て世代へ、家賃の免除など生活をする上で、多少なりとも手助けをしていただけるとありがたいです。
- ・他県では3人目の保育料は無料でした。3人目はもう少し優遇してほしいです。

(6)学童クラブについて 36件

- ・小学校低学年の学童が18時までという状況は、働く親にとってはあり得ないです。せめて19時までにしてほしい。高収入世帯しか利用できない民間学童ではなく誰でも使えるレベルで整えてほしいです。
- ・小学校のすくすくスクール（学童）の長期休暇時（夏休み等）の開所時間を長くしてほしい（8:00～18:00にする）。
- ・夏休みなどの長期休みの際、すくすくスクールはお昼に自宅へ一度帰らなければならないので、預り制度を充実してほしい。
- ・学童のおやつが廃止されてしまった事はとても残念です。有料でもよいので復活して下さい。
- ・すくすくスクールについて、学校の行事や都合により預かってもらえる日や時間が変更されるのは仕方ないが、もう少し融通をきかせて時間を延長してほしい。

(7)学校・教育環境について 25件

- ・葛西地区の中学校は、いわゆる「不良」の生徒が多いように思われます。学校のみではなく区でも対応し、健全化していかなければならないと思います。
- ・長期にわたり江戸川区に住んでもらうためには、義務教育での支援に重点を置くべきだと思う。
- ・区立の小中学校では教育・部活動に熱心なところとそうでないところがあるようです。区立どこもある一定のレベルを維持していただきたい。

(8)地域での子育て支援について 25件

- ・“親同士の仲間づくりを支援してくれる活動”は、特にあった方がよいと思います。近所に同じ年齢の子どもを持つ家族はいても、接する機会がないので、そういったサービスがあれば時間を見つけて利用してみたいと思います。
- ・おじいちゃん・おばあちゃんと子どもの交流の場を提供してほしい（祖父母が遠方でなかなか接する機会がないため）。小さな地域単位（例えば町ごと）での同世代親子の交流の場の提供など希望します。

(9)小児医療や緊急医療体制及び助成について 21件

- ・健康サポートセンターでの健診の受付時間が限定的で短く（同じ曜日、同じ時間）、仕事で受けられないことが多い。
- ・中学生まで医療費が無料であることはとても助かるのですが、予防接種の補助がほしいです。
- ・子どもが夜間や休日に具合が悪くなる時、大変困る。もっと対応できる小児専門の場を増やしてほしい。

(10)その他区への要望・区の対応について 16 件

- ・生活保護の見直しをしてほしい。基準や調査がわからない。自分より収入があり、身内の手助けがあっても受けていることが多い。
- ・葛西の健康サポートセンターが担当地区ですが、鹿骨の健康サポートセンターに行って予防接種や離乳食の相談をした際、地区が違うからとよい対応でなかったのがすごく嫌でした。
- ・水の放射能濃度が上がった時、近くのセンターで乳児に水が提供されたことがありました。迅速な対応をしていただきありがとうございました。

(11)ひとり親家庭・障害児に対する支援について 13 件

- ・うちの子は発達障害です。まわりの理解度は上がっているとは思いますが、どこの幼稚園・保育園でも受け入れられる体制（先生に対する勉強会など）を整えてほしいです。
- ・発達障害児を中央育成室に集めることは、朝のラッシュのバスに障害の子どもと1時間も乗って通うという選択をすることで、それがどんなに勇気のいることか考えていただけたのでしょうか。それぞれの育成室で内容を充実させていただきたいです。
- ・母子家庭のため子どもは1人きりで見ている。色んな悩みや相談を聞いてくれる、支えになってくれる支援がほしい。

(12)その他 19 件

- ・最も心配なのが災害時です。マンションですが、近所で声をかけ合うということもなかったと思います。いざという時に頼れる関係をどうつくったらいいのか、わかりません。

江戸川区子ども・子育て支援事業計画 策定のためのニーズ調査

ご記入にあたってのお願い

- ①調査票の中の「あて名のお子さん」とは、封筒に記載されているあて名のお子さんを示しています。
- ②本調査票は、「お子さん」の日常の世話を主になさっている方が回答してください。回答できない場合は、ご家族等が代わりに回答してください。
- ③調査票にご回答いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、**10月31日（木）までに**ポストに入れてください。切手は不要です。

【 お問い合わせ先 】

江戸川区子ども家庭部 子育て支援課 計画係
電話：03-5662-0659 / ファックス：03-5662-4897

あて名のお子さんご家族の状況について

問1 この調査に回答いただく方は、あて名のお子さんからみて、どなたですか。（1つに○）

1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。（数字を記入）

平成（ ）年（ ）月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、おさんは全部で何人いらっしゃいますか。（数字を記入）

※2人以上の場合は、一番小さいお子さんの生年月を記入してください。

子どもは全部で（ ）人

※2人以上の場合 → 一番小さい子は平成（ ）年（ ）月生まれ

問4 現在、あて名のお子さんといっしょに暮らしているご家族は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

※単身赴任により一時的に別居している方も、同居家族としてお答えください。

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 1. 父親 | 4. 祖父 |
| 2. 母親 | 5. 祖母 |
| 3. 兄弟姉妹 | 6. その他（ ） |

問5 日ごろ、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. みてもらえる親族や友人・知人はいない

問6 現在のお住まいの地域は、どこですか。記入例を参考に、町名を記入してください。

町名（ ）（ ）丁目 ※記入例（ 中央 ）（ 1 ）丁目

問7 現在のお住まいは、次のどれですか。（1つに○）

1. 持ち家の一戸建て（借地を含む）
2. 持ち家のマンション
3. 一戸建て借家
4. 賃貸のマンション・アパート
5. 公社・公団などの賃貸住宅
6. 都営住宅・区営住宅
7. 社宅・公務員住宅等の貸与住宅
8. その他

問8 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（1つに○）

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1. 父母ともに | 4. 主に祖父母 |
| 2. 主に父親 | 5. その他（ ） |
| 3. 主に母親 | |

あて名のおさんの保護者の就労状況について

問9 あて名のおさんの父親について、現在の就労状況をお答えください。(1つに○)

※フルタイム：雇用形態にかかわらず1週5日程度・1日8時間程度の就労

1. フルタイムで就労しており、育児・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育児・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しているが、育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない → 問9-3へ
6. これまで就労したことがない
7. 父親はいない → 4ページの問10へ

問9-1 「1～4」に○をした方にうかがいます。①1週あたりの「就労日数」・1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、②通勤にかかる時間（片道）をお答えください。（数字を記入）

※日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※通勤にかかる時間は分単位で、ない場合は「0」を記入してください。

①就労日数・時間：1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間
②通勤にかかる時間：片道（ ）分

問9-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方にうかがいます。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（1つに○）

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けたい
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問9-3 「5」または「6」（就労していない）に○をした方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。（1つに○、（ ）内は数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年以上先に、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

問9-4 「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」方は、希望する就労形態をご回答ください。（1つに○、（ ）内は数字を記入）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 2. パート・アルバイト等（フルタイム以外）
- ⇒1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間

問10 あて名のおさんの母親について、現在の就労状況をお答えください。(1つに○)

※フルタイム：雇用形態にかかわらず1週5日程度・1日8時間程度の就労

1. フルタイムで就労しており、産休・育児・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育児・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しているが、産休・育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない → 問10-3へ
6. これまで就労したことがない
7. 母親はいない → 5ページの問11へ

問10-1 「1～4」に○をした方にうかがいます。①週あたりの「就労日数」・1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、②通勤にかかる時間（片道）をお答えください。（数字を記入）

※日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※通勤にかかる時間は分単位で、ない場合は「0」を記入してください。

①就労日数・時間：1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間
②通勤にかかる時間：片道（ ）分

問10-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方にうかがいます。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（1つに○）

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けたい
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問10-3 「5」または「6」（就労していない）に○をした方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。（1つに○、（ ）内は数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年以上先に、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

問10-4 「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」方は、希望する就労形態をご回答ください。（1つに○、（ ）内は数字を記入）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 2. パート・アルバイト等（フルタイム以外）
- ⇒1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間

★5ページの問11で「2. 利用していない」に○をした方うかがいます。

問13 平日に定期的に教育・保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由としてあてはまるものすべてに○をしてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、父親か母親が就労していない等の理由で）
2. まだ子どもが小さいため（_____歳くらいになったら利用しようと考えている）
3. 子どもの祖父母や親族がみている
4. 近所の人や父母の友人・知人がみている
5. 利用したいが、教育・保育サービスに空きがない
6. 利用したいが、経済的な理由で教育・保育サービスを利用できない
7. 利用したいが、希望する時間帯の条件が合わない
8. 利用したいが、質や場所など、納得できる教育・保育サービスがない
9. その他（_____）

★すべての方うかがいます。

あて名のお子さんの「定期的」な教育・保育サービスの利用希望について

問14 利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育サービスとして、現在、「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

※利用にあたっては、一定の負担があります。（下表参照）

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けたもの）
4. 保育ママ（生後57日目～1歳未満のお子さんを家庭的な環境の中で預かるサービス）
5. 認証保育所（認可保育園ではないが、東京都が認証した保育所）
6. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設）
7. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合し、区の認定を受けた定員概ね6～19人の施設）
8. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
9. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かるサービス）
10. その他（_____）
11. 平日に定期的に利用したいサービスはない・現在は必要ない

定期的な教育・保育サービスの負担額

	平日	土・日
1 幼稚園	私立幼稚園：月額 5,000 円程度 区立幼稚園：月額 3,000 円 ※区の保護者負担軽減補助後の金額です。	土曜日：多くはお休みですが、一部実施している園もあります。 日曜日：現在実施している園はありません。
2 幼稚園の預かり保育	1回 500～1,000 円程度 各園により時間や料金は異なります。	土曜日：一部実施している園もあります。 日曜日：現在実施している園はありません。
3 認可保育園 （開所時間11時間）	平均的な世帯(もっとも多い階層の場合) ・3歳児未満：月額 19,100 円 ・3歳児：月額 12,700 円 ・4歳児以上：月額 12,600 円 ※世帯の収入額により異なります。 ※延長保育料は別途かかります。	土曜日：左記に含まず。 日曜日：現在実施していません。
4 保育ママ	基本時間：月額 17,000 円 時間外保育：1時間 400 円 (7:30～8:30、17:00～18:00)	土曜日：左記に含まず。 日曜日：現在実施していません。
5 認証保育所	3歳児未満：月額 50,000 円程度 3歳児以上：月額 45,000 円程度 ※各施設・保育時間により異なります。	土曜日：一部実施している園もあります。 日曜日：現在実施している園はありません。
6 認定こども園	園の類型や保育時間により異なりますが、幼稚園型の場合、月額 5,000～31,000 円程度 ※区の保護者負担軽減補助後の金額です。	
7 小規模な保育施設	新たな施設類型のため、現在江戸川区内にはありません。 今後の施設整備や料金などは未定です。	
8 事業所内保育所	各事業所により異なります。	
9 ファミリー・サポート・センター	1時間 800 円(基本時間 8:00～19:00) 1時間 900 円(基本時間外)	土曜日：1時間 800 円 日曜日：1時間 900 円

※施設により上記の他に給食等実費の負担があります。
※平成27年度以降の子ども・子育て支援新制度での保育料は未定です。

問15 あて名のお子さんについて、①土曜日、②日曜日・祝日に、定期的な教育・保育サービスの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。それぞれ1つに○をし、希望がある場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、(例)9時～18時のように、24時間制で記入してください。
※利用にあたっては、一定の負担があります。(8ページの表参照)

①土曜日

- 1. 利用する必要はない
 - 2. ほぼ毎週利用したい
 - 3. 月に1～2回利用したい
- 利用したい時間帯：()時～()時まで

②日曜日・祝日

- 1. 利用する必要はない
 - 2. ほぼ毎週利用したい
 - 3. 月に1～2回利用したい
- 利用したい時間帯：()時～()時まで

問15-1 ①もしくは②で、「3. 月に1～2回利用したい」に○をした方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他 ()

★「幼稚園」を利用している方にうかがいます。

問16 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望はありますか。1つに○をし、希望がある場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、(例)9時～18時のように、24時間制で記入してください。
※利用にあたっては、1回1,000～2,000円程度の負担があります。(実施の有無や金額は園により異なります)

- 1. 利用する必要はない
 - 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 - 3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- 利用したい時間帯：()時～()時まで

問16-1 「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をした方にうかがいます。
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 週に数回仕事が入るため
- 2. 買物等の用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他 ()

あて名のお子さんの「不定期の」教育・保育サービスや宿泊を伴う一時的な保育等の利用について

問17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。ある場合は、あてはまるものすべてに○をし、それぞれの1年間の利用日数(おおよそ)も記入してください。

※利用にあたっては、一定の負担があります。(下表参照)

- 1. 一時保育 ⇒ 年間 () 日
(私用など理由を問わず保育園等で一時的に子どもを保育するサービス)
- 2. 幼稚園の預かり保育 ⇒ 年間 () 日
(通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち、不定期に利用する場合のみ)
- 3. ファミリー・サポート・センター ⇒ 年間 () 日
(地域住民が子どもを預かるサービス)
- 4. 夜間保育(夜10時頃までの預かり保育) ⇒ 年間 () 日
- 5. ベビーシッター ⇒ 年間 () 日
- 6. その他 () ⇒ 年間 () 日
- 7. 利用していない

問17-1 「7. 利用していない」に○をした方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 特に利用する必要がない
- 2. 利用したいサービスが地域にない・サービスの空きがない
- 3. サービスの質に不安がある
- 4. サービスの利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
- 5. 利用料がかかる・高い
- 6. 利用料がわからない
- 7. 自分がサービス対象者になるのかわからない
- 8. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
- 9. その他 ()

不定期な教育・保育サービスの負担額

		平日
1	認可私立保育園(一時保育)	半日 2,000円、1日 4,000円程度
	認証保育所(一時預かり)	1時間 1,000円程度
2	幼稚園の預かり保育	1回 500～1,000円程度
3	ファミリー・サポート・センター	1時間 800円(基本時間外 900円)
4	認可外保育施設(夜間の一時預かり)	1時間 1,000～1,500円程度

問18 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。1つに○をし、ある場合は、あてはまるものすべてに必要な日数とその合計を記入してください。

※利用にあたっては、一定の負担があります。(10ページの表参照)

1. 利用する必要がある	
①私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	年間()日
②冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	年間()日
③不定期の就労(不定期のアルバイトや突発的な残業など)	年間()日
④その他()	年間()日
合計	年間()日
2. 利用する必要はない	

問19 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(1つに○)

1. あった(預け先がみつからなかった場合も含む)	2. なかった → 12ページの問20へ
---------------------------	----------------------

問19-1 「1. あった」に○をした方にうかがいます。この1年間の対処方法としてあてはまるものすべてに○をし、それぞれの日数(おおよそ)も記入してください。

1. 親族・知人(同居人を含む)にみてもらった	⇒ 年間()日
2. 子どもショートステイ(そよ風松島荘)を利用した	⇒ 年間()日
3. その他の宿泊付き保育サービス(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	⇒ 年間()日
4. 子どもを同行させた	⇒ 年間()日
5. 子どもだけで留守番させた	⇒ 年間()日
6. その他()	⇒ 年間()日

問19-2 「1. 親族・知人(同居人を含む)にみてもらった」に○をした方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

あて名のお子さんの子育てひろばの利用について

【子育てひろばとは、子育て相談や親同士・子ども同士の交流・情報交換の場、子育て講座や講習の開催などを行っている地域の子育ての拠点です。】

問20 あて名のお子さんは、現在、江戸川区内で実施されている以下の子育てひろばを利用していますか。(利用している子育てひろばすべてに○)

1. 共有プラザの子育てひろば 2. グリーンパレスの子育てひろば 3. 子ども家庭支援センター「こどものへや」 4. 堀江・臨海らっこルーム 5. ベーテルひろば 6. 健康サポートセンター 子育てひろば 7. 中葛西子育てひろば 8. コミュニティ会館の子育てひろば 9. 幼稚園・保育園などで行われている子育て支援事業 10. 利用していない

問20-1 「1～9」に○をした方にうかがいます。子育てひろばの利用頻度はどのくらいですか。「1～9」をあわせた、おおよその利用回数(頻度)を記入してください。

1週間あたり()回 もしくは 1カ月あたり()回程度

問21 問20の子育てひろばについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。1つに○をして、希望がある場合はおおよその利用回数(頻度)を記入してください。

※利用料金は無料です。(ベーテルひろばは、保険料など(1人1回100円)が必要)

1. 現在は利用していないが、今後利用したい	⇒ 1週間あたり()回 もしくは 1カ月あたり()回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	⇒ 1週間あたり()回 もしくは 1カ月あたり()回程度
3. 利用したいとは思わない(理由:)	

★あて名のお子さんが**5歳以上**の方のうちがいます。⇒ **5歳未満の方は、14ページの間24へ**

小学校入学後の放課後の過ごし方の希望について

問22 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をし、それぞれ希望する週あたり日数を記入してください。
また、「5. すくすくスクール学童クラブ登録」に○をした方は、利用を希望する時間も、（例）18時のように、24時間制で記入してください。

※1：「すくすくスクール」：地域の方々の協力を得て、放課後や土曜日に小学校で自由な活動ができます。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が17時まで参加でき、育成料は無料です。

※2：「すくすくスクール学童クラブ登録」：保護者が就労等により放課後留守になる家庭の児童で、出欠確認等が必要な場合、登録していただけます。放課後や土曜日に参加でき、平日は就労時間によって18時まで延長できます。登録にあたっては月額4,000円の育成料がかかります。

- | | | |
|-----------------------------|---|-------------|
| 1. 自宅 | ⇒ | 週（ ）日 |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | ⇒ | 週（ ）日 |
| 3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） | ⇒ | 週（ ）日 |
| 4. すくすくスクール ※1 | ⇒ | 週（ ）日 |
| 5. すくすくスクール学童クラブ登録 ※2 | ⇒ | 週（ ）日 |
| | → | 下校時から（ ）時まで |
| 6. その他（図書館、公園など） | ⇒ | 週（ ）日 |

問23 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をし、それぞれ希望する週あたり日数を記入してください。
また、「5. すくすくスクール学童クラブ登録」に○をした方は、利用を希望する時間も、（例）18時のように、24時間制で記入してください。

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

- | | | |
|-----------------------------|---|-------------|
| 1. 自宅 | ⇒ | 週（ ）日 |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | ⇒ | 週（ ）日 |
| 3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） | ⇒ | 週（ ）日 |
| 4. すくすくスクール ※1 | ⇒ | 週（ ）日 |
| 5. すくすくスクール学童クラブ登録 ※2 | ⇒ | 週（ ）日 |
| | → | 下校時から（ ）時まで |
| 6. その他（図書館、公園など） | ⇒ | 週（ ）日 |

★すべての方のうちがいます。

育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問24 あて名のお子さん生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについてお答えください。取得していない方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

※父子家庭の方は①のみ、母子家庭の方は②のみご回答ください。

①父親（1つに○）	②母親（1つに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない
↓ 取得していない理由 ※下の番号を選んで記入してください。（いくつでも）	↓ 取得していない理由 ※下の番号を選んで記入してください。（いくつでも）

問25へ

1. 職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

★問24で「2. 取得した（取得中である）」に○をした方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は17ページの問26へ

問25 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。父親、母親それぞれについてお答えください。

①父親（1つに○）	②母親（1つに○）
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である → 問25-6へ	2. 現在も育児休業中である → 問25-6へ
3. 育児休業中・育児休業終了時に離職した → 問26へ	3. 育児休業中・育児休業終了時に離職した → 問26へ

★問25で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。

父母の双方とも取得した方は、最後の育児休業取得者が復帰した（する）時のことをお答えください。

→ 問25-1 育児休業から職場に復帰したタイミングと状況は、次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

1. 年度初めの認可保育園入園に合わせて復帰した
2. 年度初めの認可保育園入園を希望して、1～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入園した
3. 年度初めの認可保育園入園を希望して復帰したが、実際には認可保育園には入園できなかった
4. 上記以外だった

→ 問25-2 育児休業からは、①「実際」にお子さんが何歳何カ月の時に職場復帰しましたか。また、②お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何カ月の時までとりだかったですか。（数字を記入）

- ①実際の復帰時期：（ ）歳（ ）カ月
②希望の復帰時期：（ ）歳（ ）カ月

★問25-3・4は、問25-2で「①実際の復帰時期」と「②希望の復帰時期」が異なる方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は16ページの問25-5へ

★「希望」より早く復帰した方（①実際の復帰時期が②希望の復帰時期より早い方）にうかがいます。

問25-3 希望より早く復帰した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰をする必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

★「希望」より遅く復帰した方（①実際の復帰時期が②希望の復帰時期より遅い方）にうかがいます。

問25-4 希望より遅く復帰した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

★15ページの間25で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をした方にうかがいます。

問25-5 育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。父親、母親それぞれについてお答えください。利用しなかった方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

①父親（1つに○）	②母親（1つに○）
1. 利用した	1. 利用した
2. 利用しなかった	2. 利用しなかった
↓	↓
（利用しなかった理由 ※下の番号を選んで記入してください。（いくつでも））	（利用しなかった理由 ※下の番号を選んで記入してください。（いくつでも））

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他（ ）

★15ページの間25で父母の両方もしくはどちらかが「1」または「2」に○をした方にうかがいます。

問25-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があり、また復帰時に必ず利用できるサービスがある場合に、お子さんが何歳何カ月の時まで、休暇の取得を希望しますか。（数字を記入）

（ ）歳（ ）カ月まで

問25-7 問25-6で記入した年齢が、3歳未満だった方にうかがいます。お子さんが3歳になるまで休暇を取得しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職場に休暇をとりにくい雰囲気がある
2. 仕事が忙しい
3. 仕事に早く復帰したい
4. 仕事に戻るのが難しくなる
5. 昇給・昇格などが遅れそう
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園等に預けて子どもを集団生活に慣れさせたい
8. その他（ ）

★すべての方にうかがいます。

問26 仕事をしながら安心して子育てをするために、企業などに充実・強化してほしいことは何ですか。働いていない方も、働いた場合を想定してお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 同僚や上司の理解
2. 妊娠中の通勤・就労などへの配慮(時差出勤など)
3. 産前産後休暇制度
4. 育児休業制度
5. 育児休業中の給与保障
6. 子どもの看護休暇制度
7. 子どもの行事や保護者会等のための休暇制度
8. 短時間勤務制度
9. 在宅勤務制度
10. フレックスタイム制度
11. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度
12. 残業の免除
13. 出産や子育てによる退職者の再雇用
14. 事業所内の保育施設の設置
15. その他 ()
16. わからない
17. 特にない

★ここからは、あて名のお子さんに限らず、ご家庭のすべてのお子さんについてうかがいます。

子育てや子育て環境について

問27 あなたは、子育てをどのように感じていますか。(1つに○)

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることの方が多い
4. わからない

問28 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. あなたの配偶者(パートナー)
2. あなたの親
3. その他の家族・親族
4. 友人・知人
5. 近所の人
6. 幼稚園や保育園等の教育・保育施設の職員
7. 子ども家庭支援センターの職員
8. 健康サポートセンターの職員
9. 子育てひろばの職員
10. 民生委員・児童委員
11. かかりつけの医師
12. その他 ()
13. 気軽に相談できる人はいない

問29 あなたには、同じくらい年齢の子どもを持つ親どうしの付き合いがどのくらいありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育てのことを相談したり、助けあったりする仲間がいる
2. 一緒に子どもを遊ばせたり、話しあったりする友人がいる
3. 幼稚園や保育園の送り迎えの際や子育てひろばなどで話をする人がいる
4. あまり付き合いはない

問30 子を持つ親にとって、身近な地域にどのような活動があるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育ての悩みを気軽に相談できるような活動
2. 子育てをする親同士の仲間づくりを支援してくれる活動
3. 子どもとの関わり方やしつけ方を教えてくれる活動
4. 同年代の子ども同士が交流できる活動
5. 異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる活動
6. 子どもに遊びを教えてくれる活動
7. 買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預ってくれる活動
8. ちょっとした休憩やトイレ・おむつ替え等の場を提供してくれる活動
9. 子育て家庭の家事を支援する活動
10. 交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動
11. 公園などの花壇や樹木の管理、清掃等の美化活動
12. その他 ()
13. 特にない

**江戸川区子ども・子育て支援事業計画
策定のためのニーズ調査 報告書**

平成 26 年 3 月

編集・発行 江戸川区子ども家庭部子育て支援課
〒132-8501 東京都江戸川区中央一丁目 4 番 1 号
電話：03（5662）0659 FAX：03（5662）4897

集計・分析 株式会社 コモン計画研究所
〒166-0015 東京都杉並区成田東 5-35-15
THE PLAZA-F 2 階
電話：03（3220）5415 FAX：03（3220）4417